

保健事業の実施計画書

第3期 データヘルス計画書

計画策定日：令和6年2月6日

最終更新日：令和8年2月6日

関東ITソフトウェア健康保険組合

KANTO IT SOFTWARE HEALTH INSURANCE SOCIETY

令和8年度 データヘルス計画（健康管理事業）のメニュー構成

目番号	事業名称	予算計上	目的および概要	事業対象者													
■ : Population Approach ■ : Risk Approach ■ : High Risk Approach				～20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳～			
5-1-1	特定健康診査（巡回特定健診含む）	〔継続〕	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 事業主が行う定期健診と共同実施									■ 経費は被扶養者及び任継分を計上					
5-2-1	特定保健指導（遠隔・支援室含む）	〔継続〕	【目的】 生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】 特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加									■ 被保険者・被扶養者全員（40～74歳）					
5-4-1	疾病 予 防 費	基本健診・人間ドック	〔継続〕 【目的】 受診率向上 【概要】 定期健診と同時実施、費用の一部を補助									■ 被保険者の特定健診は事業者健診として事業主が負担（16～74歳）					
		巡回女性健診	〔継続〕 【目的】 女性の配偶者の受診率向上 【概要】 婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助									■ 女性の被扶養配偶者及び30歳以上の被扶養者（16～74歳）					
		脳MR・肺CT検査	〔継続〕 【目的】 脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】 脳MR・肺CTによる検査									■ 被保険者・被扶養者（40～74歳 偶数年齢）					
		インフルエンザ予防接種費用補助	〔継続〕 【目的】 重症化予防 【概要】 全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助									■ 被保険者・被扶養者全員（0～74歳）					
		歯科健診	〔継続〕 【目的】 口腔疾病予防 【概要】 健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施									■ 被保険者・被扶養者（16～74歳）					
		胃がんリスク検査	〔継続〕 【目的】 重症化予防 【概要】 ヒロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査					■ 被保険者・被扶養者全員（30～74歳 過去のピロリ菌検査を実施者を除く）									
		生活習慣病検査（郵送検査）	〔継続〕 【目的】 女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】 郵送による生活習慣病検査実施し、費用の全額を補助									■ 被扶養者（40～74歳 直近過去2年の健診未受診者）					
		ダイエットプログラム	〔継続〕 【目的】 BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】 3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット									■ 被保険者・被扶養者全員（16～74歳 BMI23以上の人をスコープ）					
		生活習慣病予防プログラム	〔継続〕 【目的】 若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】 3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施					■ 被保険者 健診結果より選定（16～39歳）									
		糖尿病教育介入プログラム	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 集合型（宿泊・日帰り）の糖尿病教育を通じ行動変容を促し、合併症等の重症化を予防									■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）					
		糖尿病受診勧奨事業	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 HbA1c高値の未受診者を対象とする受診勧奨									■ 被保険者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）					
		糖尿病性腎症重症化予防プログラム	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援									■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）					
		高血圧症受診勧奨事業	〔継続〕 【目的】 高血圧症重症化予防 【概要】 血圧高値の未受診者を対象とする受診勧奨									■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）					
		脂質異常症受診勧奨事業	〔継続〕 【目的】 脂質異常症重症化予防 【概要】 脂質異常症の未受診者を対象とする受診勧奨					■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（30～74歳）									
	前期高齢者等保健指導プログラム	〔継続〕 【目的】 健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】 将来の生活の質を低下させないための保健指導									■ 前期高齢者（64歳～）						
5-3-1	保 健 指 導 宣 伝 費	機関誌発行	〔継続〕 【目的】 情報発信、健康意識の向上 【概要】 健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年1回発行														
		ITSコラボヘルスの開催	〔継続〕 【目的】 健康経営に関する情報発信 【概要】 事業所とのコミュニケーションを通じ、健康に配慮する文化を創造する。														
		健康企業宣言サポート事業	〔継続〕 【目的】 事業所が実践する健康経営の推進 【概要】 健康経営と相関性の高い研修及び保健事業の費用補助														
		健康企業宣言説明会	〔継続〕 【目的】 事業所が提出する申請書類の提出サポート/制度の最新情報の共有 【概要】 企業宣言事務担当者向けの説明会を開催														
		健康ポータルサイトの運営	〔継続〕 【目的】 企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】 ICTを活用した個人への情報提供やヘルスクエアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する														
		禁煙啓蒙事業	〔継続〕 【目的】 喫煙者の啓蒙 【概要】 加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減														
		受診促進事業	〔継続〕 【目的】 被扶養者健診の啓蒙 【概要】 被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う														
		後発医薬品の使用促進	〔継続〕 【目的】 後発医薬品の使用割合の向上 【概要】 後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施														
		メンタルヘルス対策	〔継続〕 【目的】 事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】 事業主、管理職や担当者向けのセミナーの開催 担当者向け相談窓口を設置														
		ポリファーマシー対策	〔継続〕 【目的】 重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】 多剤服用による有害事象リスク者へ通知を送付														

目次

STEP 1	現状を把握する	4	1-4	健康分布	41
1-1	基本情報	5	1-4-1	健康分布図－肥満によるリスク分布（男性）－	42
1-1-1	基本情報	6	1-4-2	健康分布図－肥満によるリスク分布（女性）－	43
1-1-2	保健事業の実施状況	7	1-4-3	健康分布図－問診票分析（食習慣）－	44
1-2	特定健診・保健指導	14	1-4-4	健康分布図－問診票分析（飲酒）－	45
1-2-1	実施状況等－令和５・６年度－〔被保険者〕	15	1-4-5	健康分布図－問診票分析（その他）－	46
1-2-2	実施状況等－令和５・６年度－〔被扶養者〕	17	1-4-6	健康分布図（被保険者）－BMI・腹囲－	47
1-2-3	実施状況の比較－令和５年度の実施率等－	18	1-4-7	健康分布図（被保険者）－糖尿病指標－	48
1-2-4	実施状況の比較－令和５年度の服薬状況－	19	1-4-8	健康分布図（被保険者）－血圧－	49
1-3	医療費	20	1-4-9	健康分布図（被保険者）－HDLコレステロールとLDLコレステロール－	50
1-3-1	年齢階層別医療費 男性本人家族計	21	1-4-10	健康分布図（被保険者）－AST（GOT）とALT（GPT）－	51
1-3-2	年齢階層別医療費 女性本人家族計	22	1-4-11	健康分布図（被保険者）－γ-GP（γ-GPT）と中性脂肪－	52
1-3-3	年齢階層別医療費 男性本人	23	1-4-12	健康分布図（全体）－喫煙率－	53
1-3-4	年齢階層別医療費 女性本人	24	付録2	健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等	54
1-3-5	年齢階層別医療費 男性家族	25	付録3	特定保健指導の階層化フロー	55
1-3-6	年齢階層別医療費 女性家族	26	付録4	健診検査項目の概要	56
1-3-7	診療区分別医療費 ー令和6年度－	27	1-5	後発医薬品	57
1-3-8	社会保険用疾病分類別 医科入院 男性本人	28	1-5	後発医薬品の数量シェア状況 本人家族	58
1-3-9	社会保険用疾病分類別 医科入院外 男性本人	29	STEP 2	健康課題を抽出する	59
1-3-10	社会保険用疾病分類別 医科入院 女性本人	30	2	健康課題抽出	60
1-3-11	社会保険用疾病分類別 医科入院外 女性本人	31	STEP 3	課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する	61
1-3-12	社会保険用疾病分類別 医科入院 男性家族	32	3-1	実施計画	62
1-3-13	社会保険用疾病分類別 医科入院外 男性家族	33	3-1	保健事業の実実施計画	63
1-3-14	社会保険用疾病分類別 医科入院 女性家族	34	3-2	目標	74
1-3-15	社会保険用疾病分類別 医科入院外 女性家族	35	3-2	保健事業の目標	75
1-3-16	生活習慣病 医科入院・入院外 男性本人	36			
1-3-17	生活習慣病 医科入院・入院外 女性本人	37			
1-3-18	生活習慣病 医科入院・入院外 男性家族	38			
1-3-19	生活習慣病 医科入院・入院外 女性家族	39			
付録1	社会保険用疾病分類	40			

STEP 1

現状を把握する

POINT

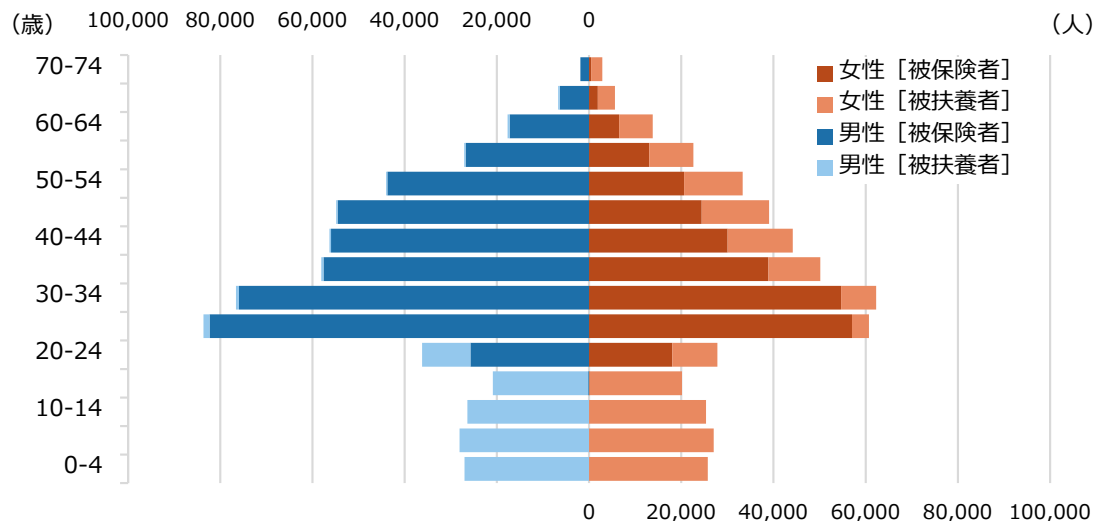
- はじめに加入者の属性、事業所の概要、健保組合がこれまで実施してきた取組を棚卸しします。何ができていて何ができていないかを整理したうえで、これまでの事業を活用する視点が大切になります。
- 健保組合の健康課題を明確にするため医療データと健診データで現状を把握し、基本分析では可能な限り、他の医療保険者や健保組合と自健保組合を比較して特徴を明確にします。

STEP 1-1

基本情報

- 1-1-2 保健事業の実施状況は、令和6年度の実施状況（実績）です。

組合コード	28370		
組合名称	関東ITソフトウェア健康保険組合		
形態	総合		
被保険者数（令和8年度予算）	735,000 人 男性 62.5% 平均年齢 39.25歳 女性 37.5% 平均年齢 39.08歳		
加入者数（令和8年度予算）	1,050,200 人		
適用事業所数（令和7年12月末現在）	7,431 社		
対象となる拠点数	-		
保険料率（令和8年度予算）※調整を含む。	92.7/1000		
	全 体	被保険者	被扶養者
■ 特定健康診査実施率（令和6年度）	80.1%	89.0%	42.1%
■ 特定保健指導実施率（令和6年度）	36.1%	36.7%	20.5%



令和8年3月末見込み			
		常 勤	非常勤
健保組合	顧問医	1 人	0 人
	保健師等	1 人	0 人
事業主	産業医	- 人	- 人
	保健師等	- 人	- 人
保健事業費		令和8年度予算額	被保険者一人当金額
■ 特定健康診査事業費		237,794 千円	324 円
■ 特定保健指導事業費		631,978 千円	860 円
■ 保健指導宣伝費		405,649 千円	552 円
■ 疾病予防費		16,838,377 千円	22,909 円
■ 体育奨励費		938,443 千円	1,277 円
■ 直営保養所費		1,778,244 千円	2,419 円
■ 契約保養所費		1,789,919 千円	2,435 円
■ 保健会館費		3,139,772 千円	4,272 円
■ その他		675,925 千円	920 円
合 計		a 26,436,101 千円	35,968 円
令和8年度予算 経常支出合計		b 396,326,914 千円	a/b= 6.67 %

- ・大規模な健保組合であるが適用事業所（窓口）数が多く、1社当りの被保険者数は平均で 95.8人（令和7年12月末現在）と、個々の事業所規模は決して大きくはない。
- ・被保険者の特定健診実施率を高値で維持している。
- ・20歳・30歳台が被保険者全体の58.4%を占め、若い被保険者構成となっている。
- ・被扶養者数は、令和7年12月末現在で312,010人（扶養率0.44）であり低い扶養割合となっている。
- ・前期高齢者である加入者数は、令和7年12月末現在で15,936人（加入率1.56%）と極めて低い構成となっている。

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	3	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～ 74	全員	0	通年 受診者数 224,150名 受診率 89.0%	・ 健診機関を設置し 受診機会の増	・ 健保補助の健診を利用していない事業所の結果データを受領できていない	5
	3	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	179,110	通年 受診者数 25,043名 受診率 42.1% (暫定値)	・ 契約健診機関を設置し 受診機会の増 ・ 過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・ 対象者の健診に対する理解不足 ・ 受診機会の不足	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準 該当者	428,135	動機付 対象者数 21,704名 終了者数 10,277名	・ 健診時における当日実施の拡充 ・ 当日実施可能な健診機関の設置 ・ 遠隔保健指導の実施 ・ 保健指導支援室による電話案内、事業所訪問 ・ 共同利用による事業所との連携強化	・ 対象者の保健指導に対する理解不足 ・ 事業所との連携不能（勤務時間中の離席に対する対応など）	4
										積極的 対象者数 30,004名 終了者数 8,337名			
										実施率 36.1%			
保健指導宣伝	1,5	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えて、それをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3,413	年3回開催 9月、12月、3月	・ 職場の健康づくりに意識が高い事業所を対象に実施 ・ 健康経営優良法人認定に係る情報の提供 ・ 外部事業者の有効利用	・ 健康づくりの企業風土への定着に向けた実践的な取組及び事業所間で共有できる好事例の不足	5
	1,5	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と関連性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	6,216	実施事業所 21社 (4,660名) 利用	・ 宣言実施事業所へメール/HPを通じた周知広報 ・ ITSコラボヘルス、健康企業宣言説明会での制度案内 ・ 健康経営優良法人（中小規模法人）認定制度の進展	・ 事業所や担当者への周知不足	3
	1,5	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	0	【宣言未参加説明会】 6月 参加数 84社 12月 参加数 106社	・ 健康企業宣言及び健康経営優良法人認定制度に関する最新の動向を共有	-	5

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	2	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	88,424	社員に事業所経由の配布 ホームページにも同時掲載	・健保が実施する保健事業の周知及び参加率の向上に寄与	-	5
	2,4,5,7	健康ポータルサイトの運営	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ～ 74	全員	130,493	登録者数 Pep Up 122,054名	・全事業所へのメール配信/機関紙/HPを通じた周知広報 ・ポケットティッシュの配布 ・Pep Upデータの共同利用情報交換会の実施 ・ウォーキングイベント以外の新しいイベントの企画・開催	・事業所や被保険者への周知広報不足	5
	2,5	ポリファーマシー通知	【目的】重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】多剤服薬による有害事象リスク者へ通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	3,325	案内送付者数 10,692通	・多剤服薬による有害事象リスク者へ通知を送付	・多剤服薬のリスクに対する理解不足	5
	2,5	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減させる	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	988	配布数 5,941社	・機関誌送付の際に事業所へポスターを配布	・事業所との連携不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	2,5	受診促進事業	【目的】被扶養者健診の啓蒙 【概要】被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う	被扶養者	全て	女	40 ～ 74	過去2年間受診履歴のない被扶養配偶者	2,389	案内送付者数 10,000通	・過去2年間に受診履歴のない被扶養配偶者の自宅へ受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足	5
	2,7	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	後発医薬品差額通知 年4回実施(6,9,12,3月) 差額通知件数 67,220件	・機関紙/HPを通じた周知広報、ジェネリックお願いシール申込フォームの設置	・事業所や被保険者への周知広報不足	5
	1,2,5	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1,372	参加者数 477名	・主に中小規模事業所を対象として案内	・事業所ごとの問題点への対応不能 ・参加者のメンタルヘルス対策に対する知識レベルの相違	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	3	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	被扶養者は配偶者と30歳以上	11,249,651	通年 受診者数 614,791名 （巡回特定健診 212名を含み、人間ドック受診者のうち脳MR検査 3,333名、肺CT検査 2,998名実施）	・若年層のドック受診機会の拡充 ・健診車での実施契約拡充	-	3
	3	巡回女性健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	224,338	春季・秋季 受診者数 17,952名	・全額健保負担 ・過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足 ・健診日が特定されることによる、受診機会の不足	4
	3	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間の健診未受診者	15,355	利用者数 1,291名	・過去2年間に受診履歴のない被扶養配偶者の自宅へ生活習慣病検査の案内送付	・対象者の健診に対する理解不足	3
	3	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1,634,601	通年 受診者数 151,296名	・健診のOPとすることによる受診者の利便性の向上	・検査により受診不可な施設がある	5
	3	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	偶数年齢	44,603	通年 受診者数 脳MR検査 2,253名 肺CT検査 1442名 （他、脳MR検査3,333名、肺CT検査2,998名はドック受診時に実施）	・健保補助により低額での受診が可能 ・一次健診との同時実施が可能	・地方での受診機会の不足 ・リスク対象者への案内不足	4
	3	胃がんリスク検査	【目的】胃がんリスク者への早期介入による重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	29,502	春季・秋季 受診者数 3,483名	・全額健保負担 ・郵送検査での実施	・事業所や担当者への周知不足 ・対象者の検査に対する理解不足	2
	3,4	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	29,994	通年 受診者数 8,640名	・全額健保負担 ・事業所での実施が可能 ・土日の実施が可能（健保会館型）	・地方での受診機会の不足 ・対象者の健診に対する理解不足	4
	8	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	333,844	10月～1月 利用者数 161,999名	・東振協を利用することで全国多数の施設で補助による接種が可能	-	4

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価）1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	5	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16～39	基準該当者	12,608	通年 案内送付 6,228通 参加者数 259名	・対象者の自宅住所へ案内送付 ・webからの参加申込 ・全額健保負担	・対象者のリスクに対する理解不足	3
	2,5	ダイエットプログラム	【目的】BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	-	-	-	-	-
	4,5,6	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型(宿泊・日帰り)の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	11,280	案内送付 3,037通 参加者数 52名	・webからの参加申込 ・全額健保負担 ・参加者との信頼関係の構築	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	3
	4,6	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病並びに糖尿病性腎症重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16～74	基準該当者	21,934	通年 案内送付 748通 参加者数 674名 参加率 83.4%	・全額健保負担 ・電話で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足 ・事業所との連携不足	4
	4,6	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	10,705	通年 【電話勧奨】 案内送付 591通 通院開始者数 185名 通院率 31.3% 【文書勧奨】 案内送付 615通 通院開始者数 169名 通院率 27.5%	・受診がないと思われる者に電話、または文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	3
	4	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	4,661	通年 案内送付 5,649通 通院開始者数 1,078名 通院率 19.1%	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	3
	4	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39～74	基準該当者	4,635	通年 案内送付 5,168通 通院開始者数 758名 通院率 13.5%	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	3

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

1-1-2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	2,4,5,6	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	64 ～74	基準 該当者	7,832	9月～3月 案内送付 2,723通 参加者数 226名 参加率 8.3%	・レセプトや健診結果をもとに階層化し、事業所を通じて案内を送付。 ・訪問または電話で指導を実施	・対象者への周知不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	2
体育奨励	8	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	9,186	9月～10月 参加チーム数 204チーム	・事業所間交流の推進 ・加入者の健康増進	－	3
	8	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	246,380	6月・9月～11月 参加者数 73,061名	・加入者の健康増進	－	3
	8	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	7,925	7月・8月 参加者数 587名	・加入者の健康増進	－	4
	8	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	7,141	11月・12月 参加チーム数 202チーム	・事業所間交流の推進 ・加入者の健康増進	－	3
	8	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区での日帰りウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	14,057	5月・11月・3月 参加者数 1,631名	・加入者の健康増進	－	4
	8	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ戦後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1,853	9月～10月 参加チーム数 58チーム	・事業所間交流の推進 ・加入者の健康増進	－	2

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	8	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区での日帰りハイキング	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	672	9月 雨天のため中止 参加者数 0名	・ 加入者の健康増進	－	1
	8	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	3,074	2月 参加チーム数 344チーム	・ 加入者の健康増進	－	2
	8	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人及び事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	8,401	6月（事業所対抗団体戦） 参加チーム数 36チーム 10月（個人対抗戦） 参加者数 133名	・ 加入者の健康増進	－	4
	8	ゴルフ利用補助	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者被扶養者（配偶者に限る）	全て	男女	16 ～74	全員	30,713	通年 利用者数 6,428名	・ 加入者の健康増進	－	3
	8	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	10,861	7月・8月、12～3月 利用者数 7,008名	・ 加入者の健康増進	－	1
	8	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	220,138	スポーツクラブ 利用者数 201,274名 スポーツ施設 利用グループ数 1,065グループ	・ 加入者の健康増進	－	2
	8	乗馬レッスン利用補助	【目的】健康増進 【概要】心身に有効な効果がある乗馬体験の奨励	被保険者被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	320	通年 利用者数 74名	・ 加入者の健康増進	－	1
保健会館	8	健康増進セミナーの開催	【目的】健康増進 【概要】心肺機能や体力の向上による疾病予防やストレス解消などの効果を期待した講習会を開催	被保険者被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	861	6月・10月・1月 参加者数 188名	・ 加入者の健康増進	－	5

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対 象 者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
直営保養所	8	直営保養施設	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュを目的とした宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1,852,121	通年 利用者数 56,409名	・ 加入者の健康増進	－	4
契約保養所	8	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】心身のリフレッシュを目的とした提携契約施設の宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1,063,649	通年 利用者数 92,399名	・ 加入者の健康増進	－	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

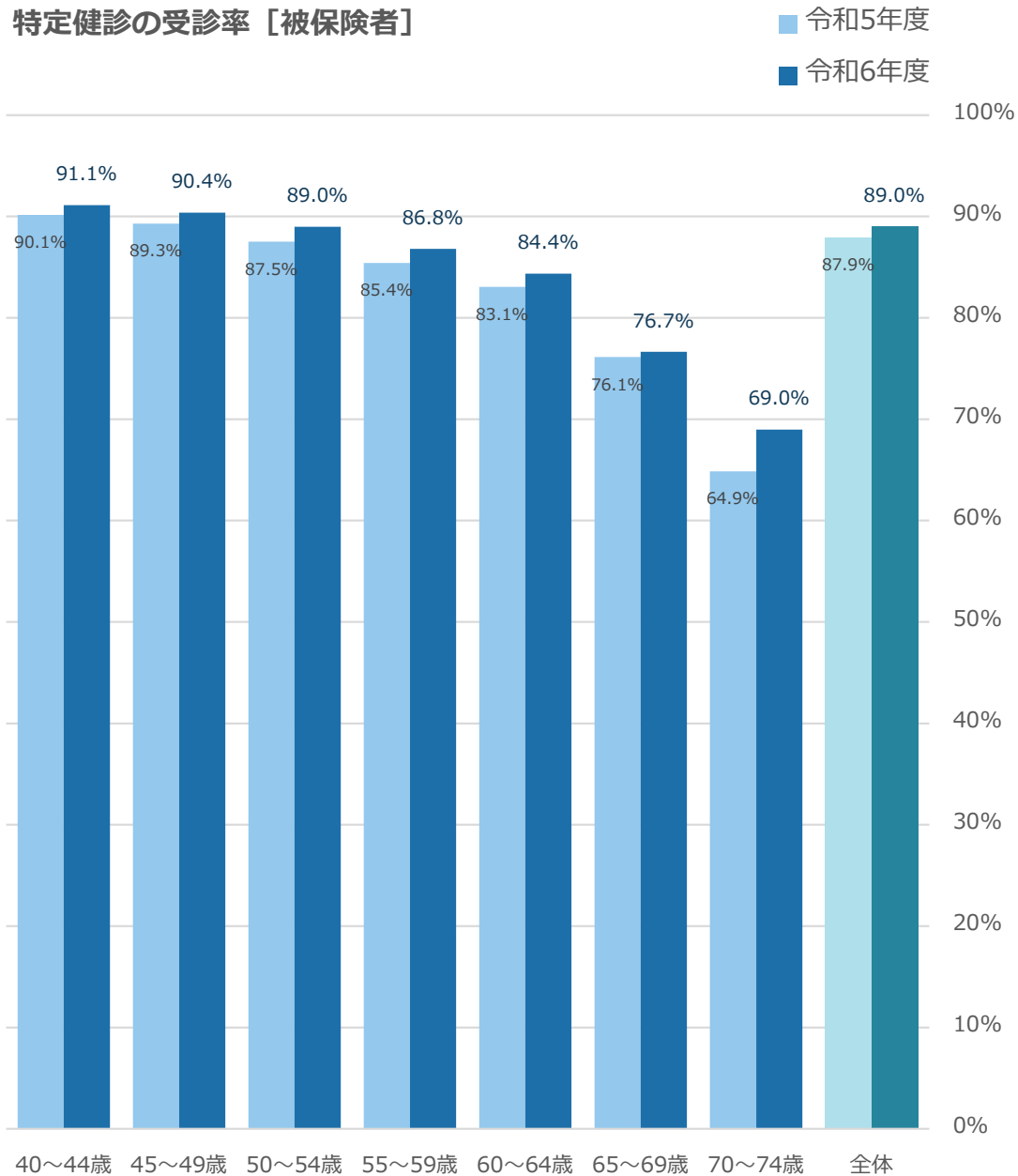
注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

STEP 1-2

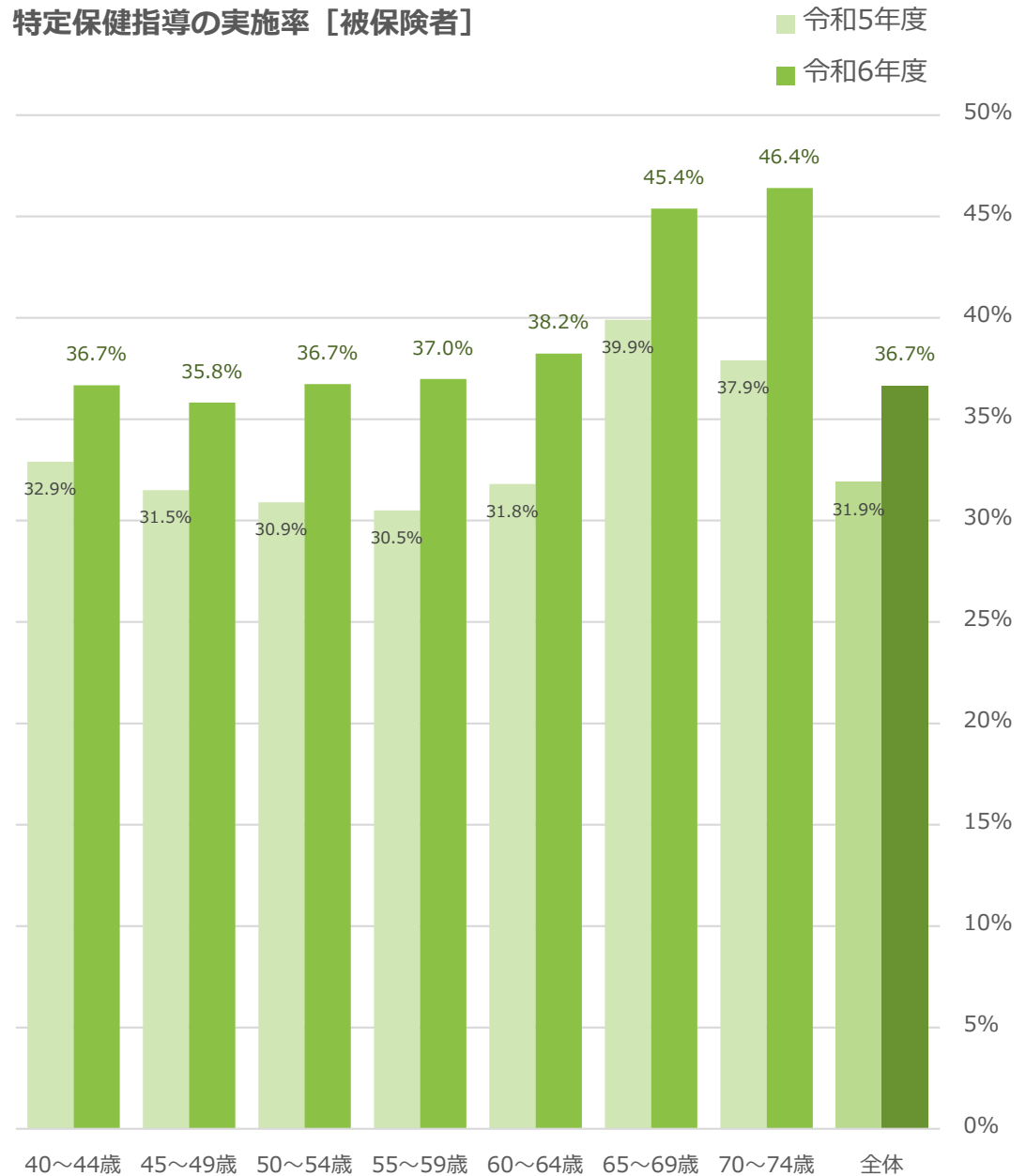
特定健診・保健指導

1-2-1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和5・6年度 – [被保険者]

特定健診の受診率 [被保険者]

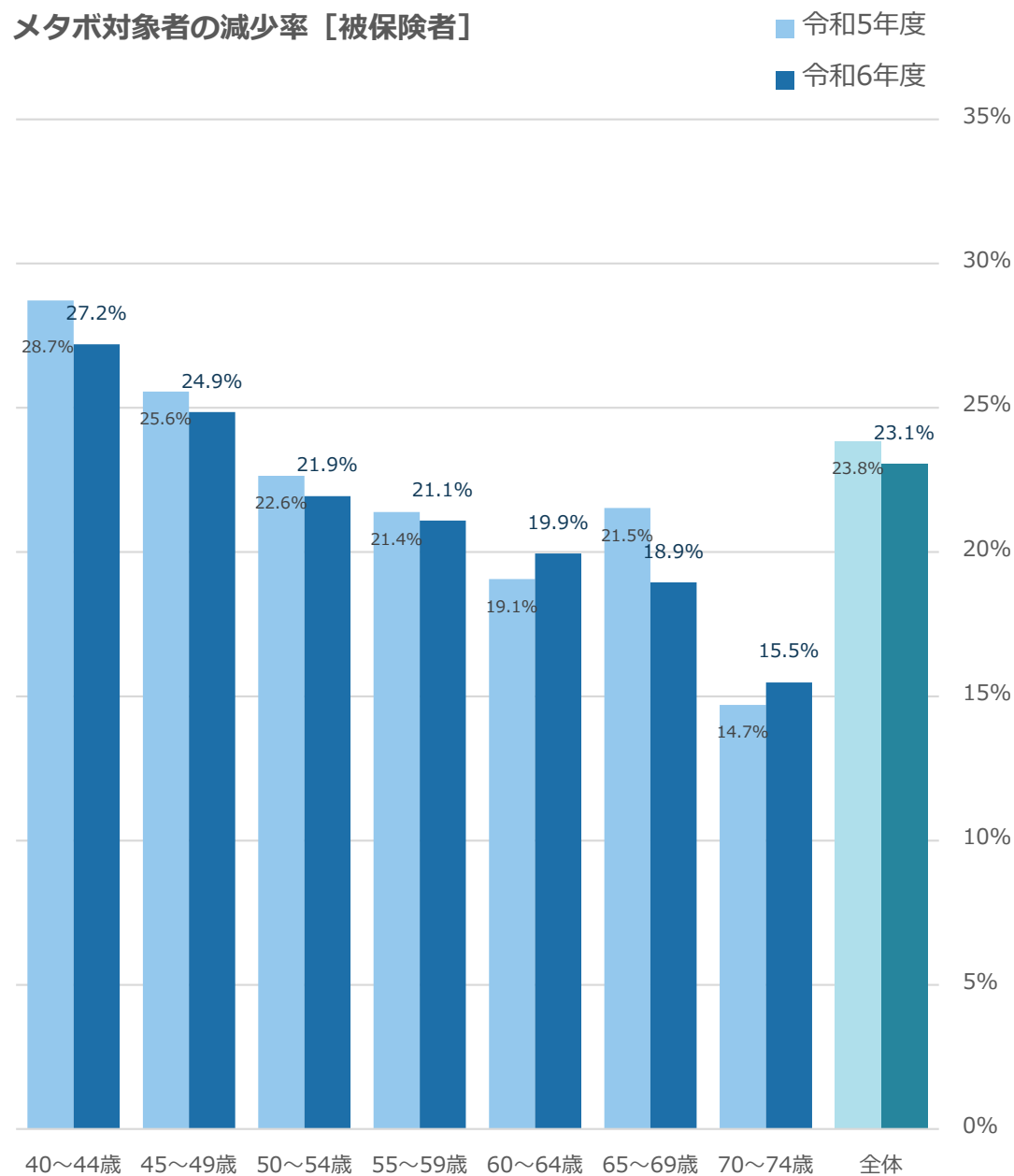


特定保健指導の実施率 [被保険者]

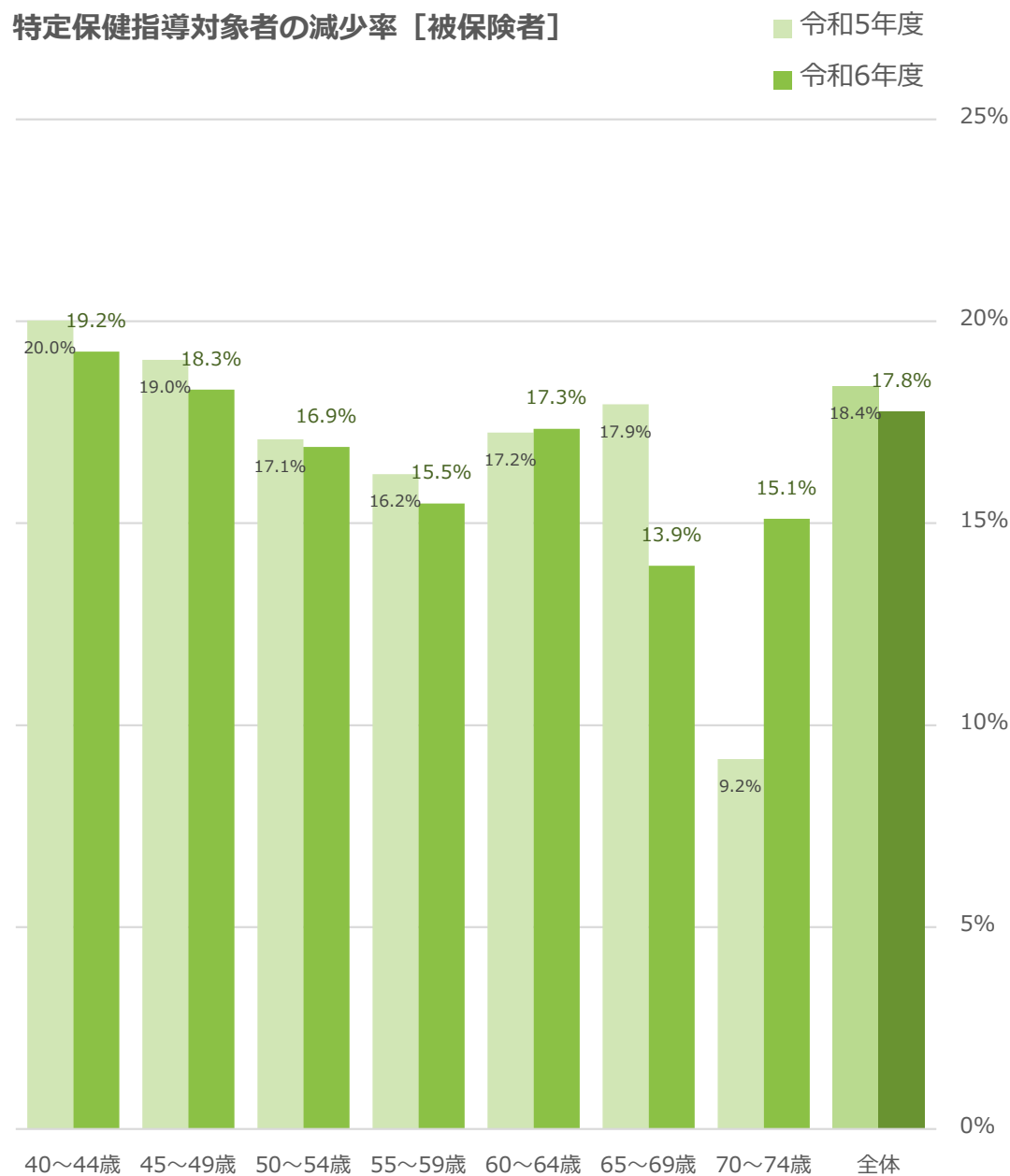


1-2-1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和5・6年度 – 〔被保険者〕

メタボ対象者の減少率〔被保険者〕

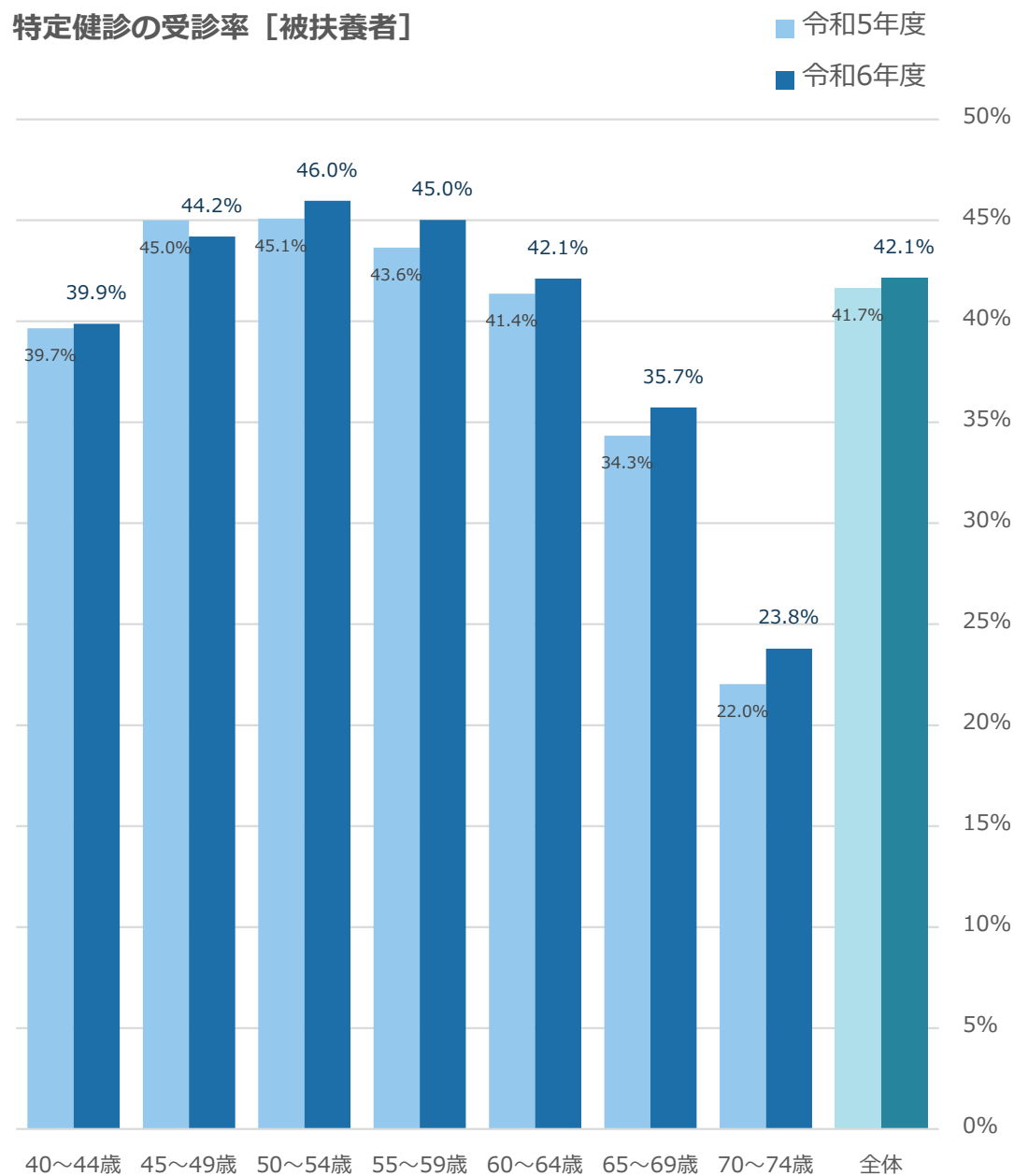


特定保健指導対象者の減少率〔被保険者〕

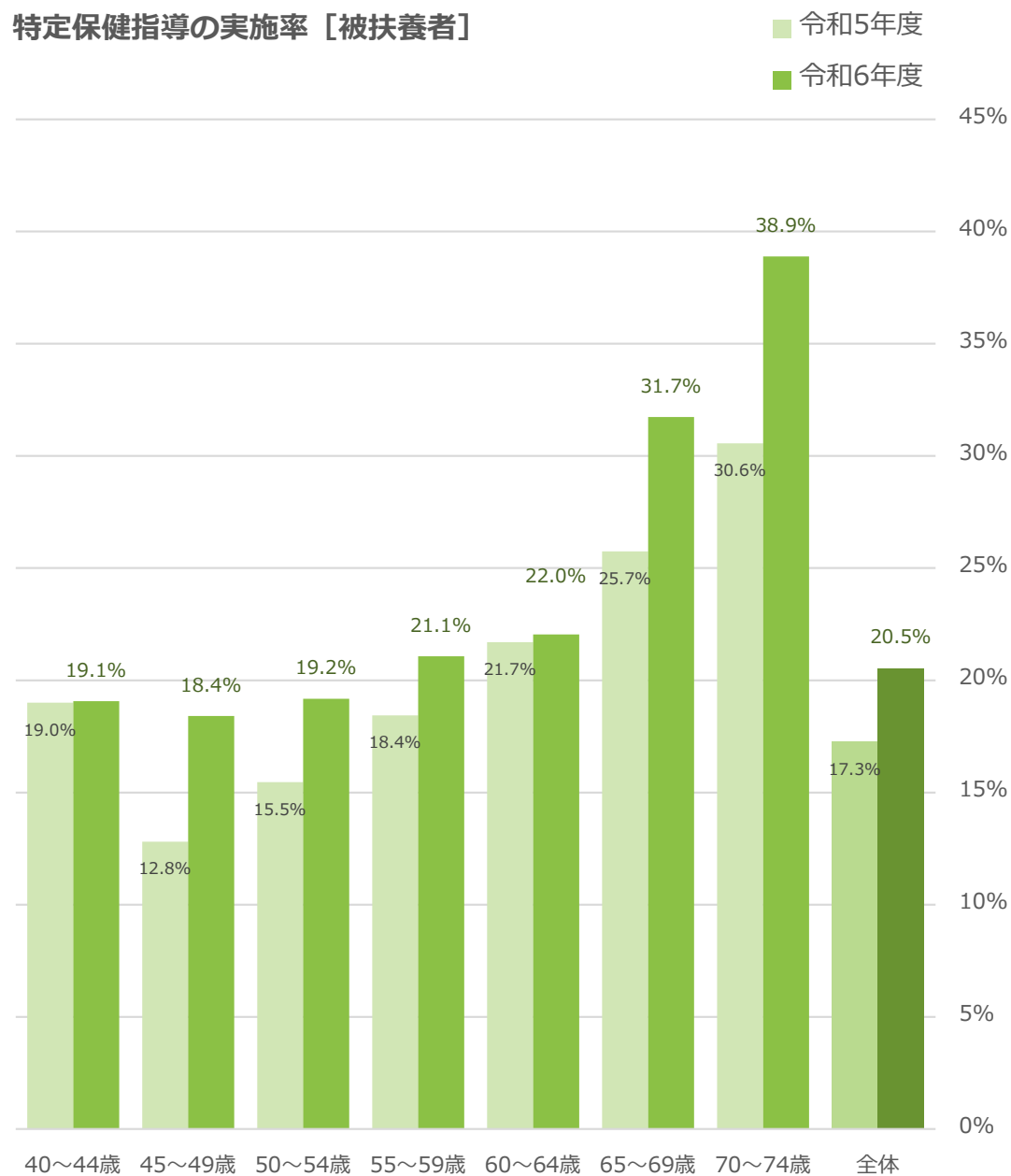


1-2-2 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和5・6年度 – [被扶養者]

特定健診の受診率 [被扶養者]

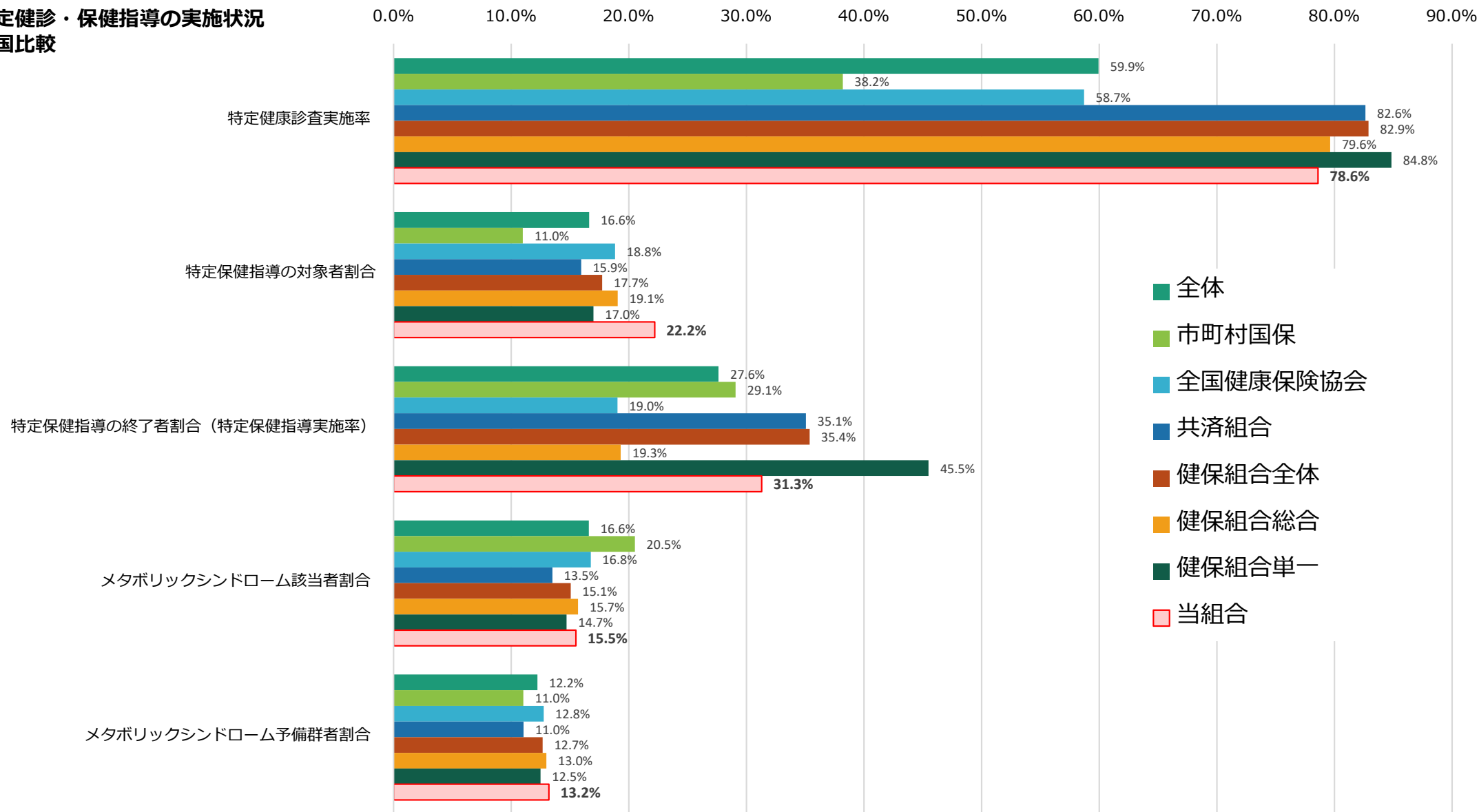


特定保健指導の実施率 [被扶養者]



1-2-3 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和5年度の実施率等 –

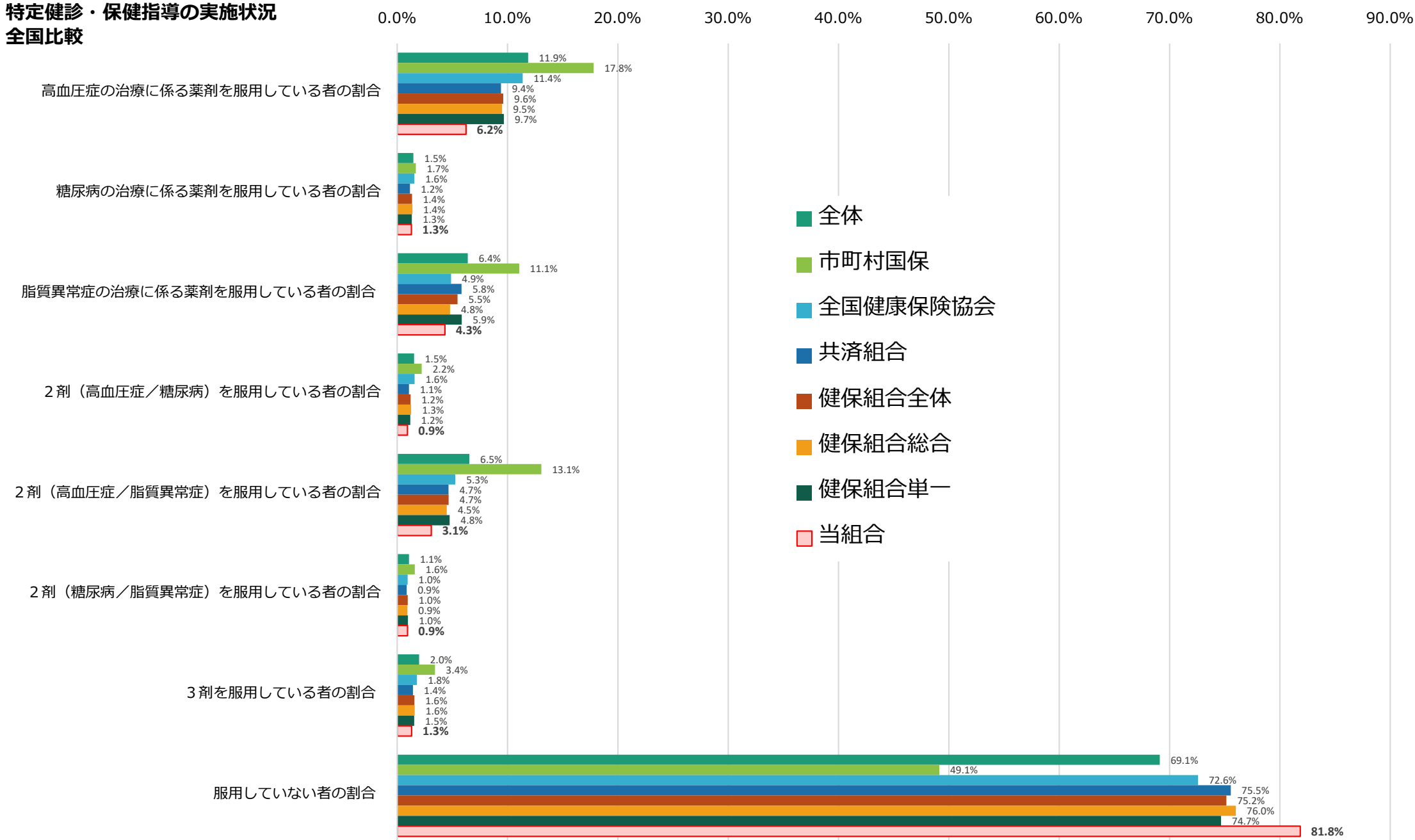
特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



- 特定健診・特定保健指導の実施率は全体（■）と比べると高いが、健保組合全体（■）と比べると低い。
- 特定保健指導の終了者割合は健保組合総合（■）に比べて高い。

1-2-4 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和5年度の服薬状況 –

特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



STEP 1-3

医療費

- 分析対象の医療費は、令和6年4月から令和7年3月診療分のレセプトを集計したもの。
- システムによる分析対象レセプトは、電子レセによるものを客体としている。
- 前年度と比較したシートには対象年度を表示
- 社会保険表章用疾病分類については「付録1」を参照（40頁）

【計算定義と説明】

「医療費」 診療報酬点数×10円。

「1人当たり医療費」 医療費÷加入者（加入者は算出対象ごとの加入者の総数）で計算。円未満端数を四捨五入。
また、複数診療月分の1人当たり医療費を計算する場合、分母の加入者数は対象期間に1度でも在籍していた人数を用いて計算。グラフ・表内で「1人当医療費」と表記

「受療率」 実患者数÷加入者。小数点以下第3位四捨五入。グラフ・表内で「受療率」と表記

「1件当たり日数」 日数÷レセプト件数で計算。小数点以下第3位四捨五入。グラフ・表内で「1件当日数」と表記

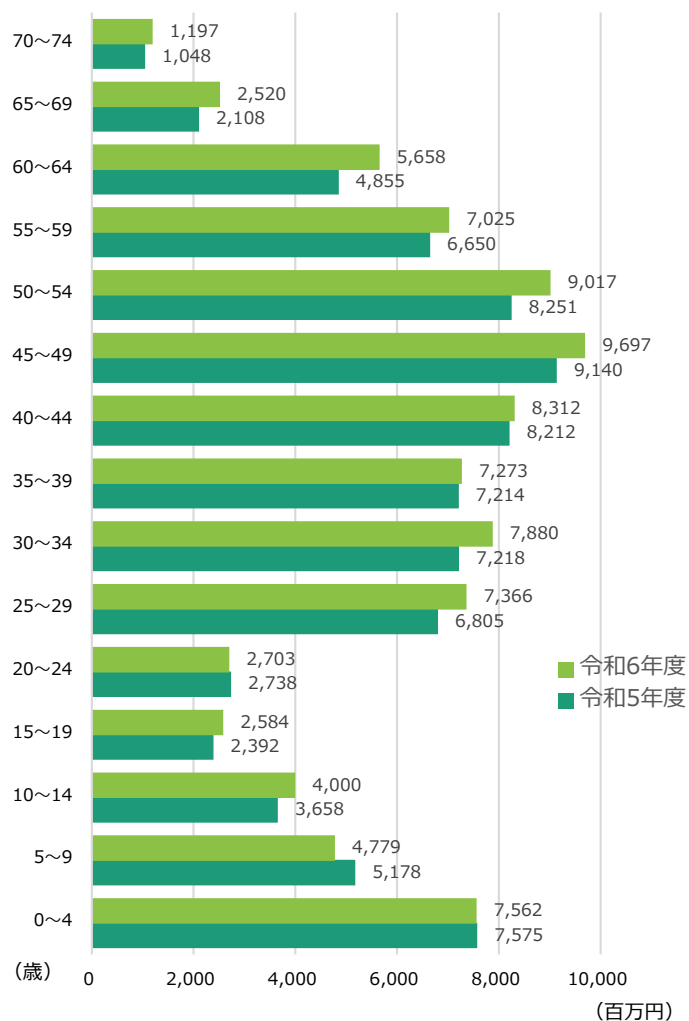
「1日当たり医療費」 医療費÷日数で計算。円未満端数を四捨五入。調剤の場合は、日数がないため未計算。グラフ・表内で「1日当医療費」と表記

【分析客体の簡易表示】

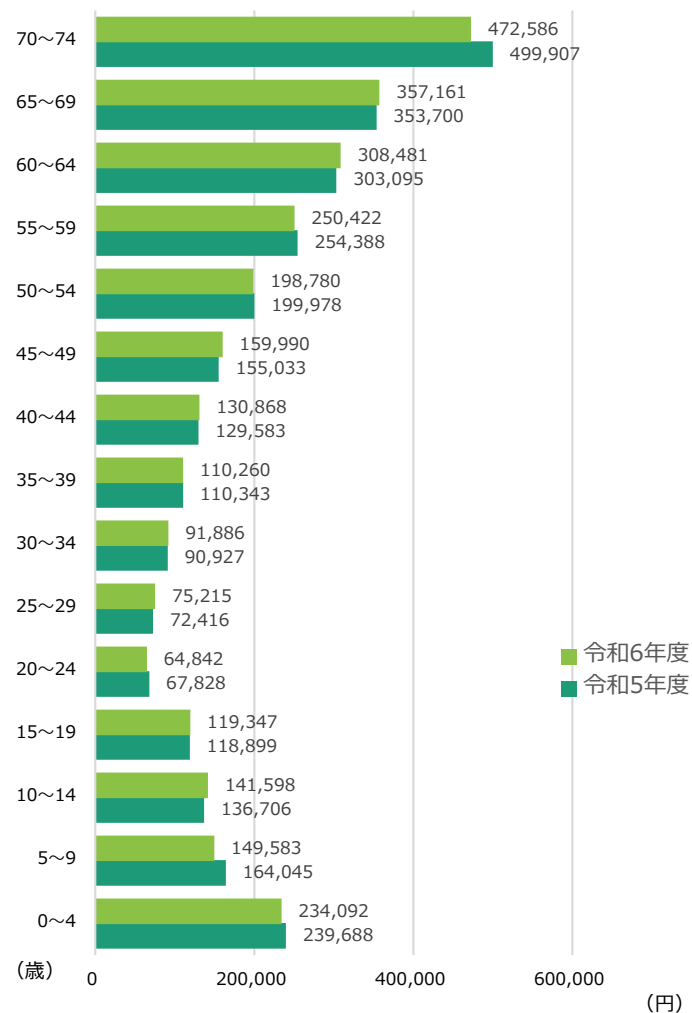
頁右上にラベルは、当該頁の分析対象となっている客体を示しています。

入院外	医科での通院	入院	医科での入院	歯科	歯科での入院通院	調剤	処方箋に基づく調剤
本人	被保険者本人	家族	被扶養者家族	男性		女性	女性

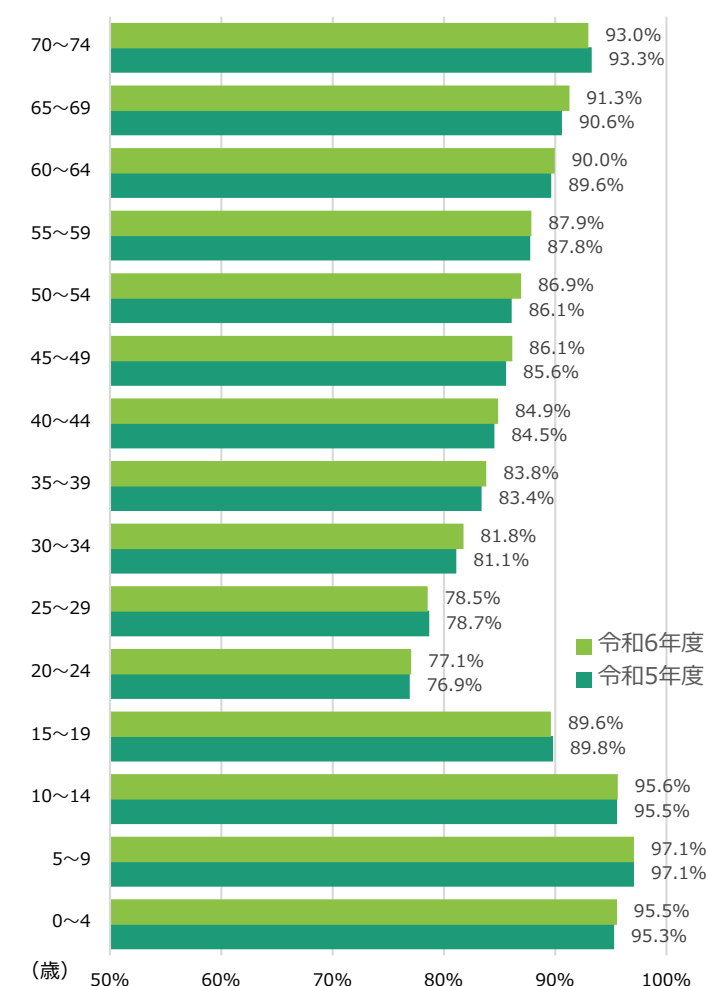
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受療率 男性

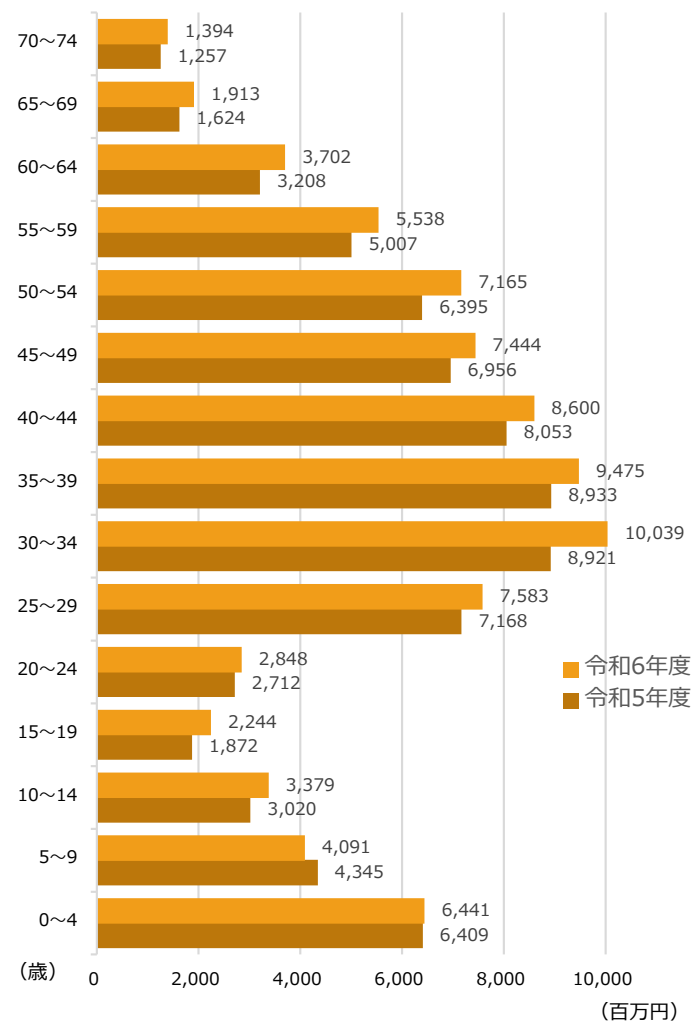


- 医療費総額、受療率においては、ほとんどの年齢階層で前年を上回っている。
- 60歳以上では医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに1人当たり医療費、受療率が高くなる。

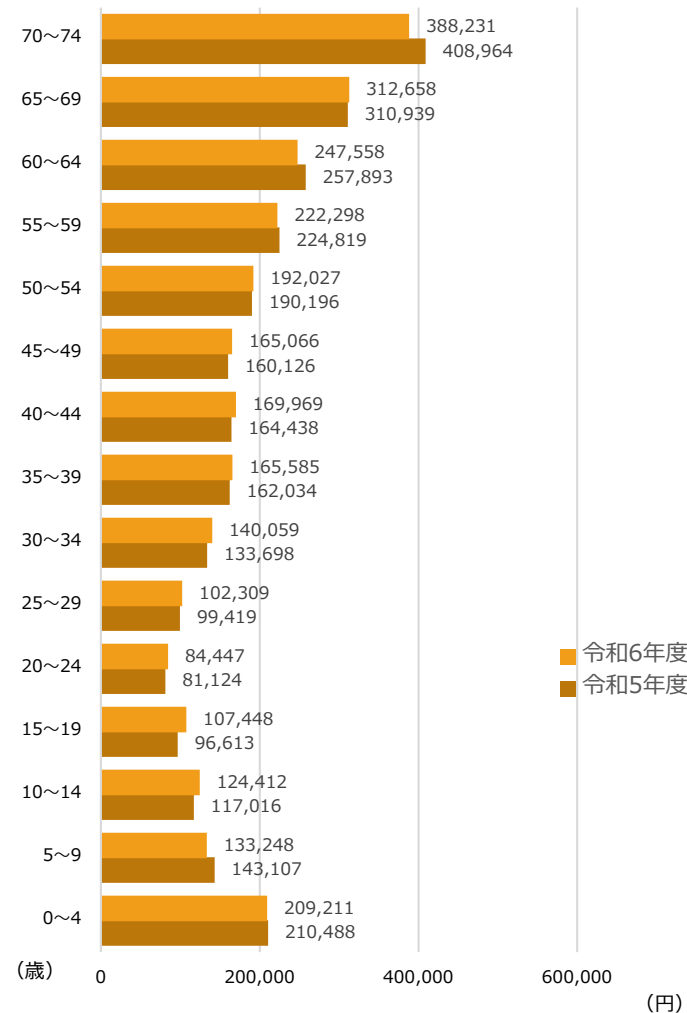
1-3-2 年齢階層別医療費 女性本人家族計

入院外	歯科	本人	
入院	調剤	家族	女性

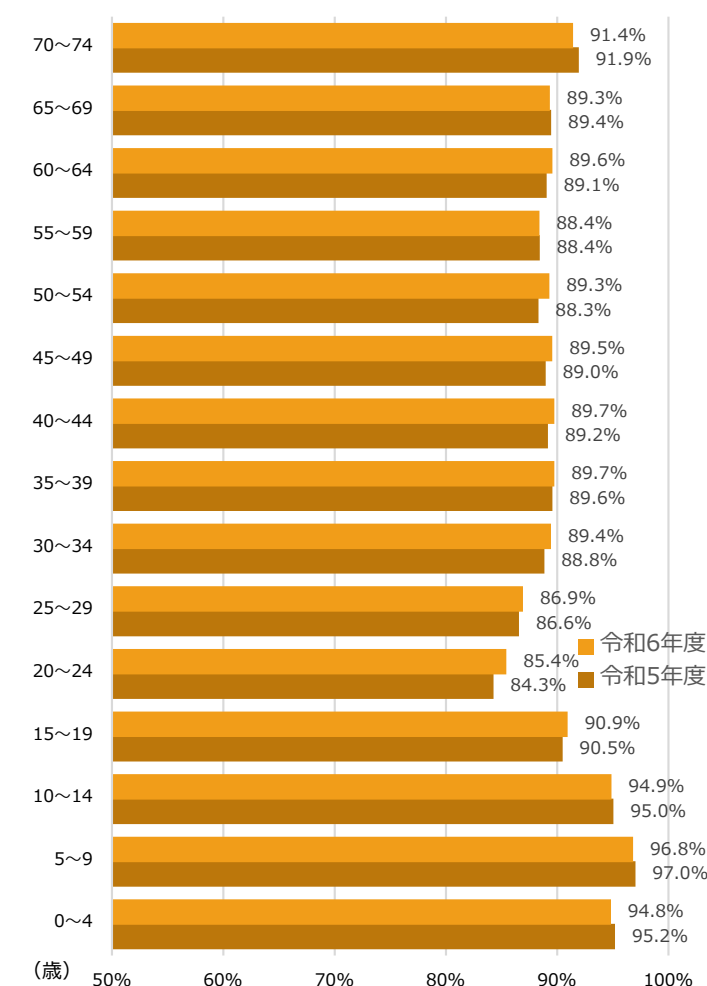
医療費総額 女性



1人当医療費 女性



受療率 女性

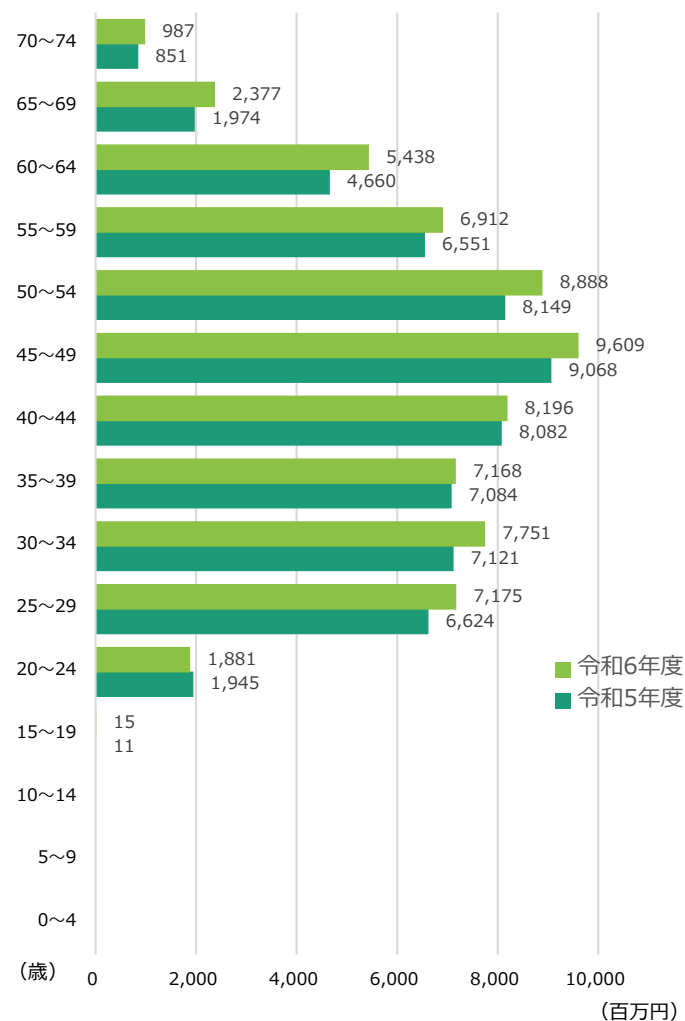


- 医療費総額はほぼすべての年齢階層で前年を上回っている。
- 60歳以上では医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに1人当たり医療費が高くなる。

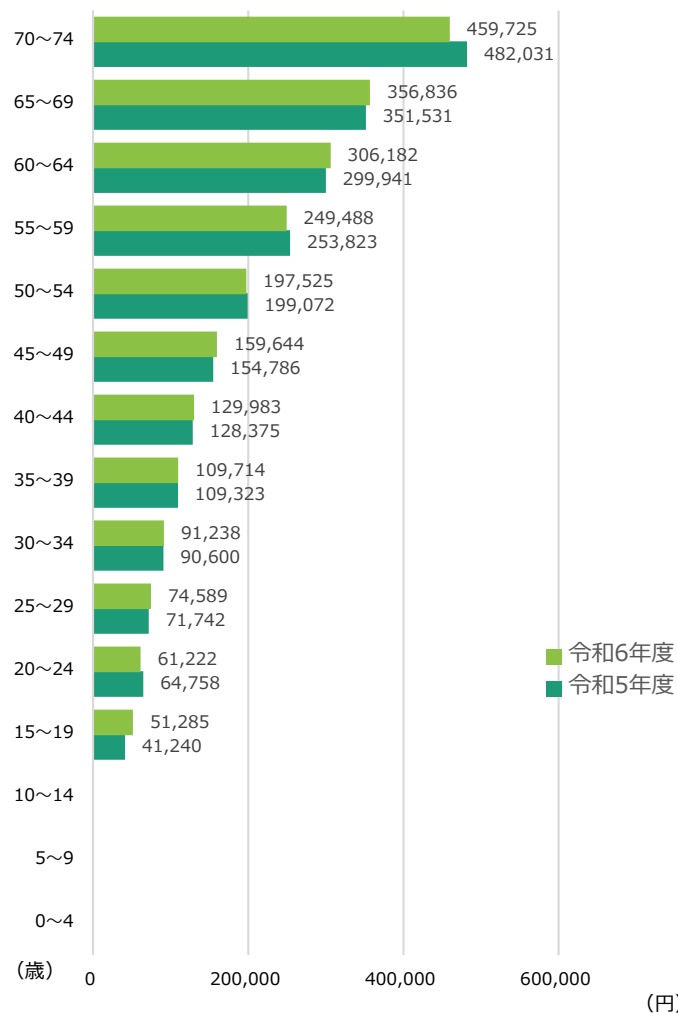
1-3-3 年齢階層別医療費 男性本人

入院外	歯科	本人	男性
入院	調剤		

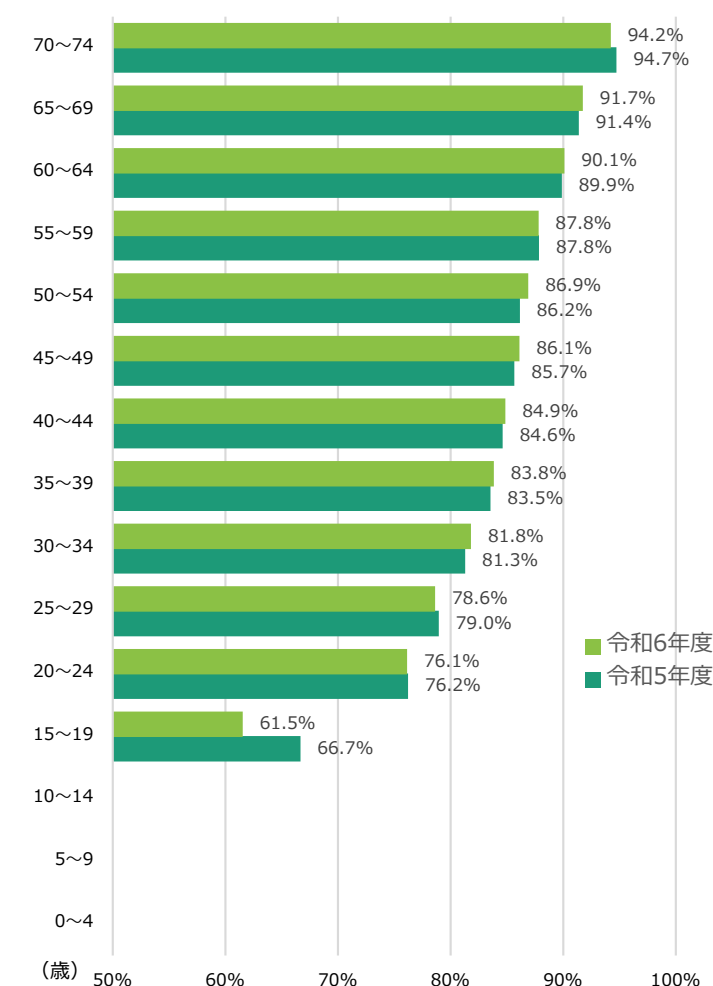
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受療率 男性

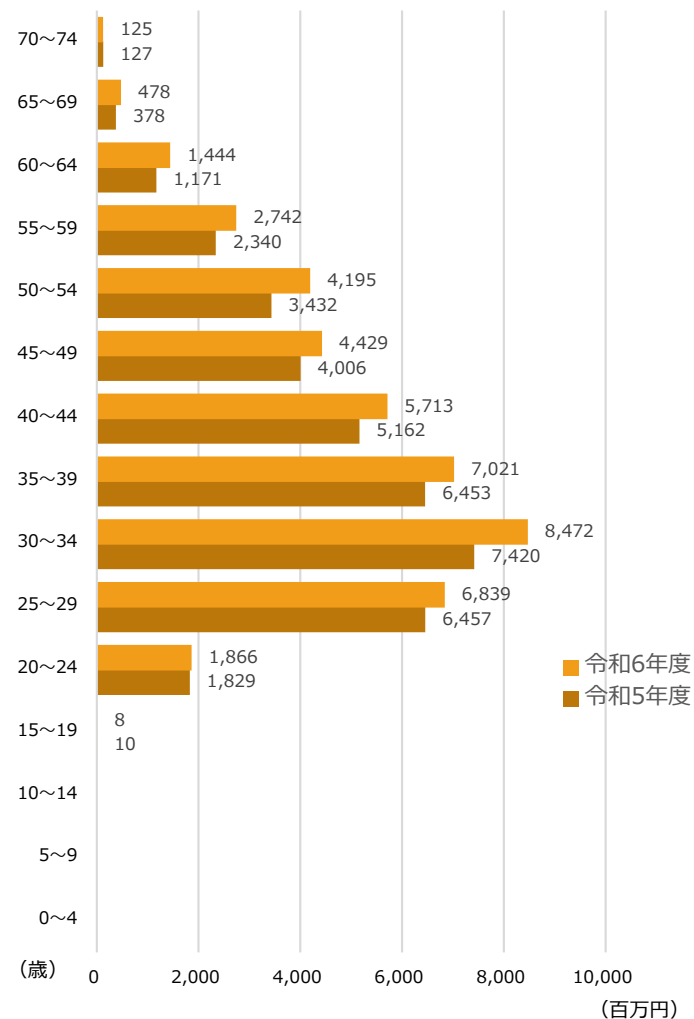


- 医療費総額が20~24歳を除く年齢階層で前年を上回っている。
- 60歳以上では医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに1人当たり医療費、受療率が高くなる。

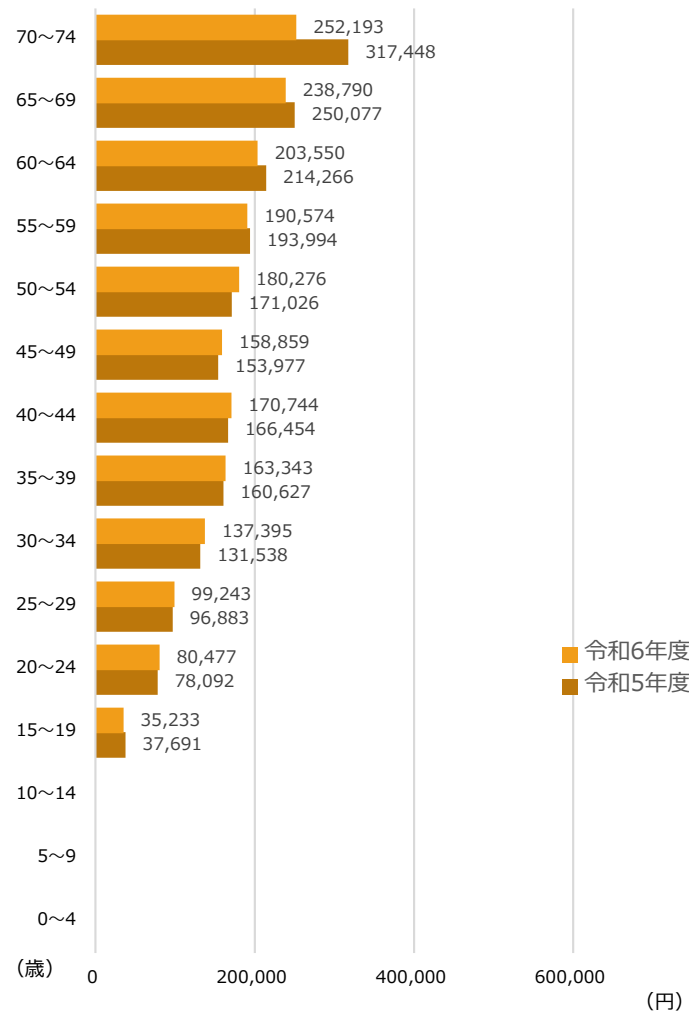
1-3-4 年齢階層別医療費 女性本人

入院外	歯科	本人	
入院	調剤		女性

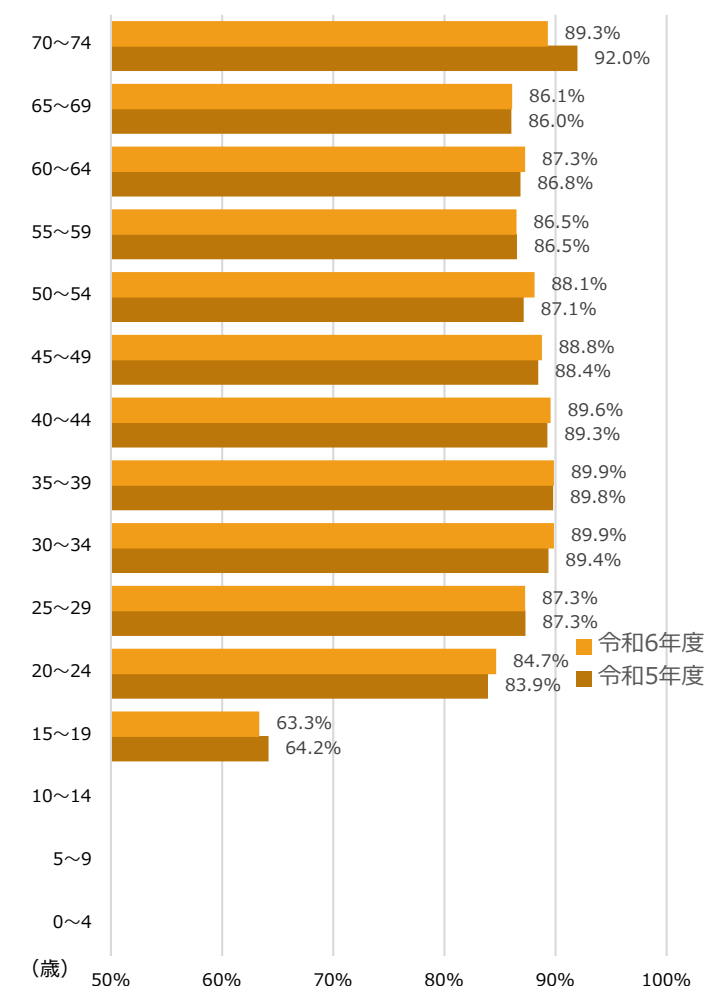
医療費総額 女性



1人当医療費 女性

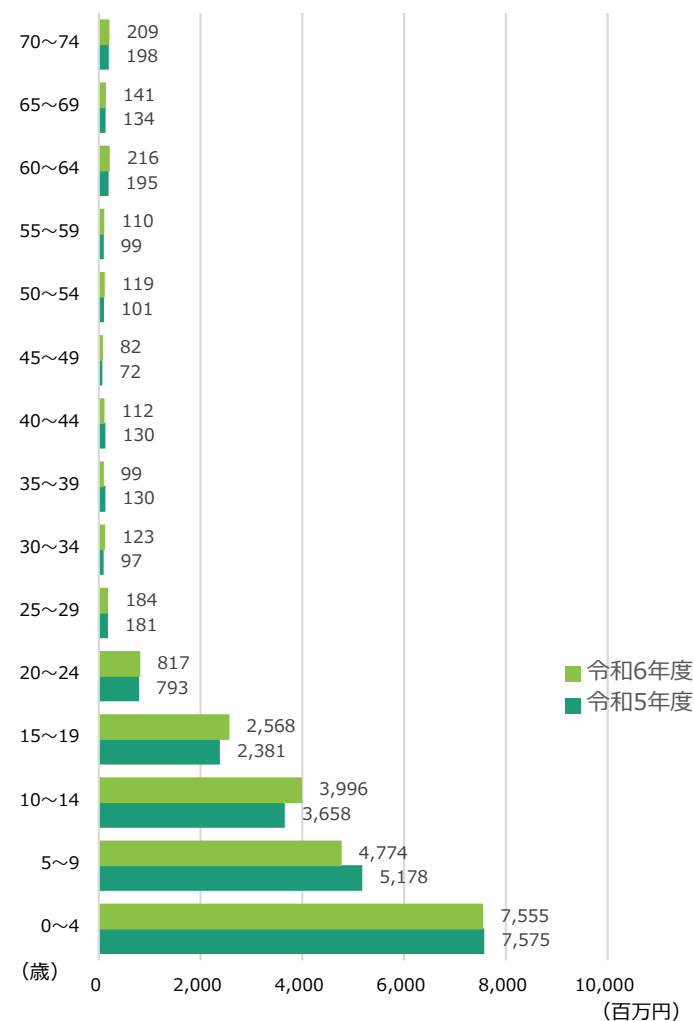


受療率 女性

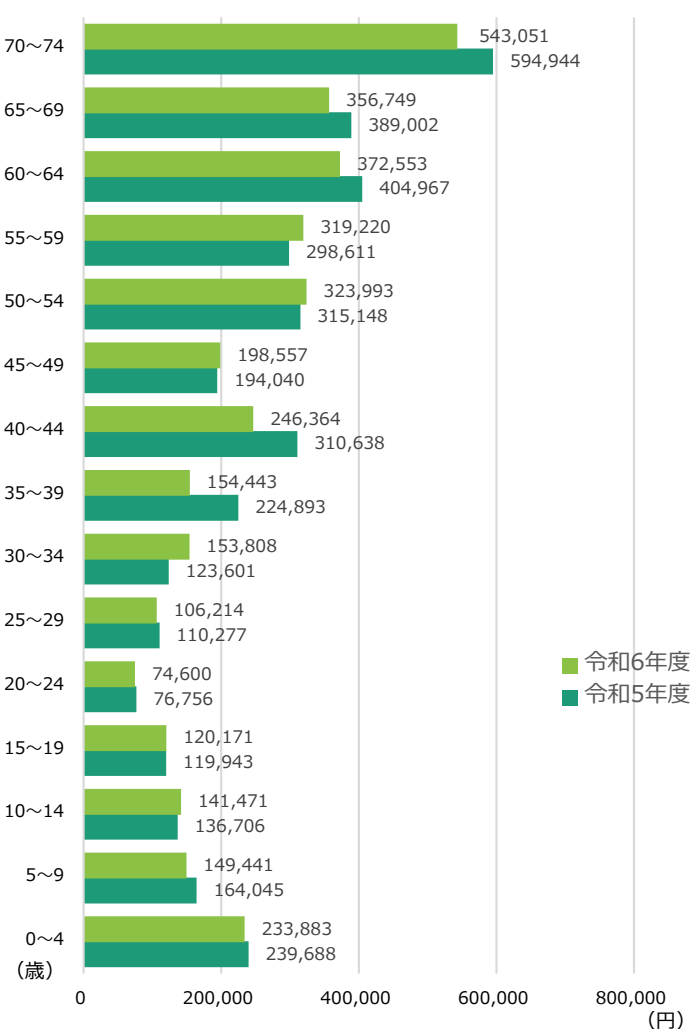


■ 医療費総額はほぼすべての年齢階層で前年を上回っている。

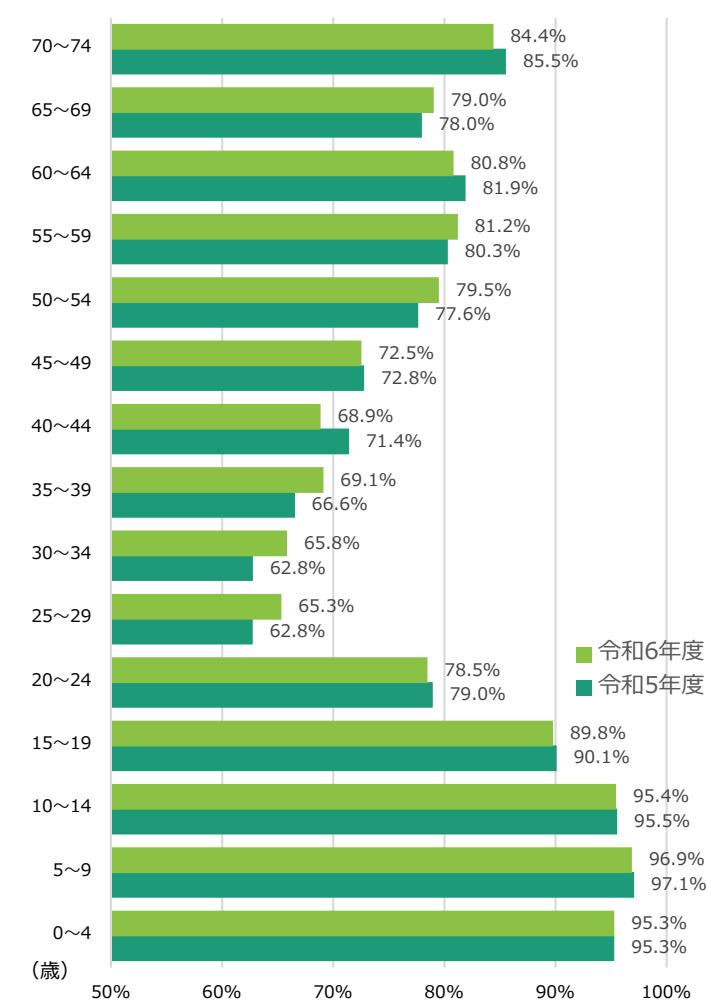
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受療率 男性

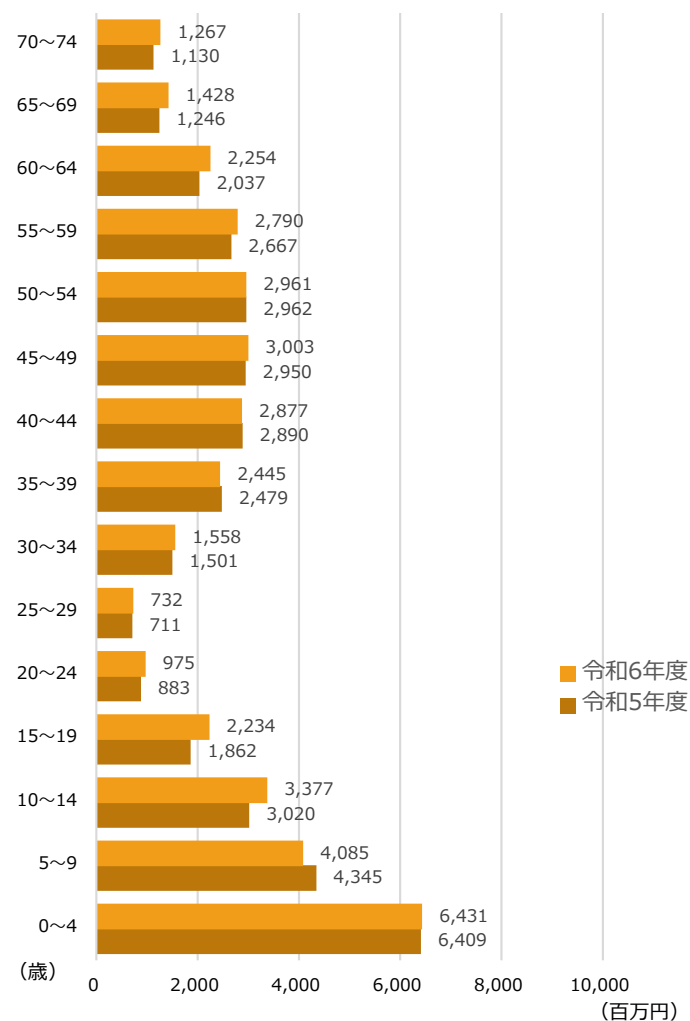


- 20歳以上の統計客体数が少ないことから、1人当たり医療費及び受療率にばらつきが見られる。
- 0~9歳までの受療率が極めて高く、医療費総額の約58%を占める。

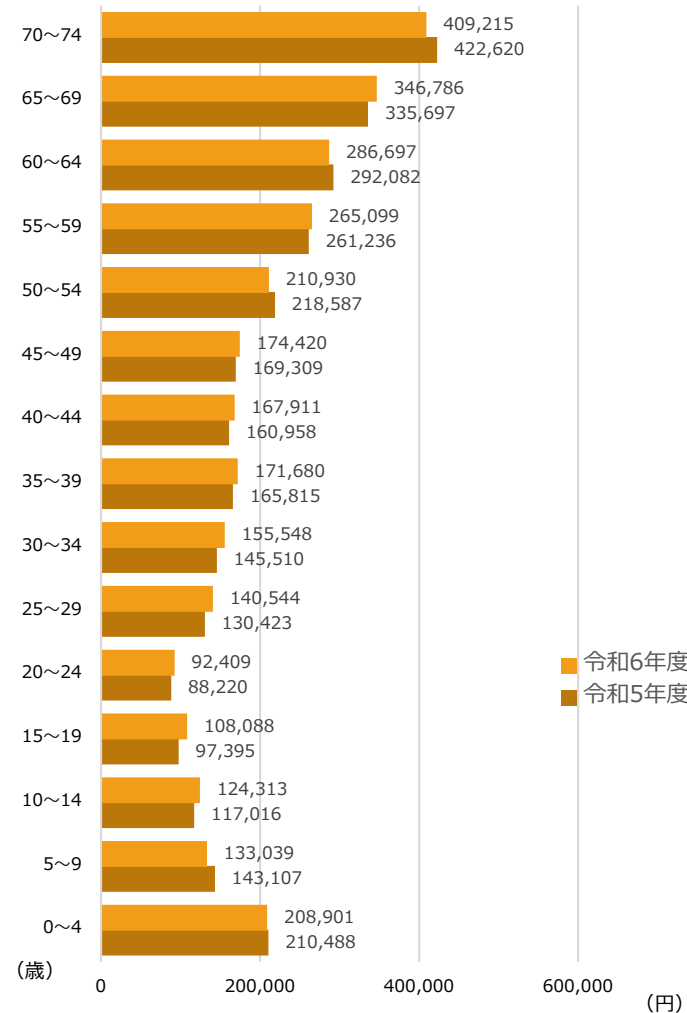
1-3-6 年齢階層別医療費 女性家族

入院外	歯科		
入院	調剤	家族	女性

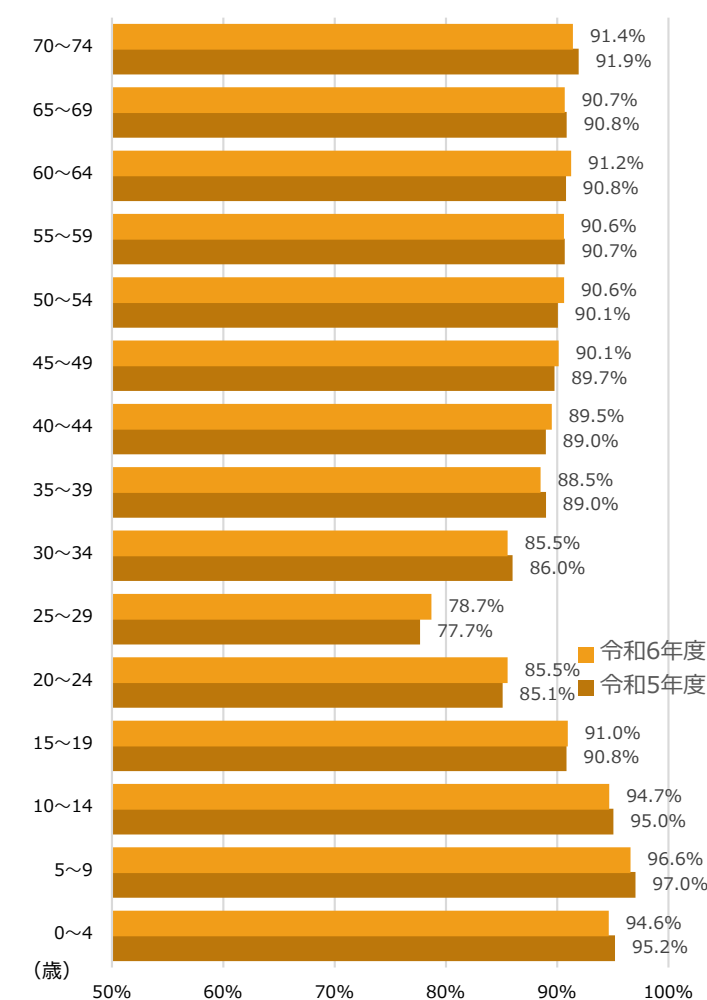
医療費総額 女性



1人当医療費 女性



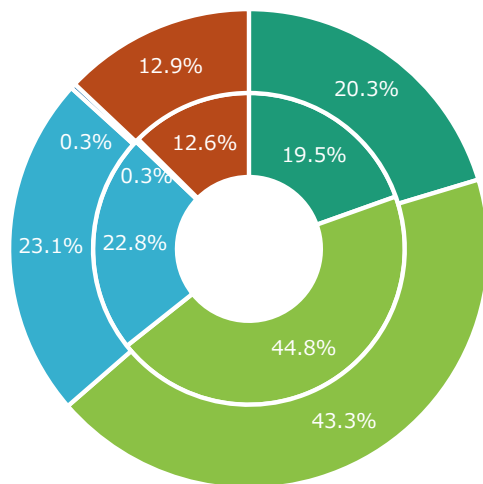
受療率 女性



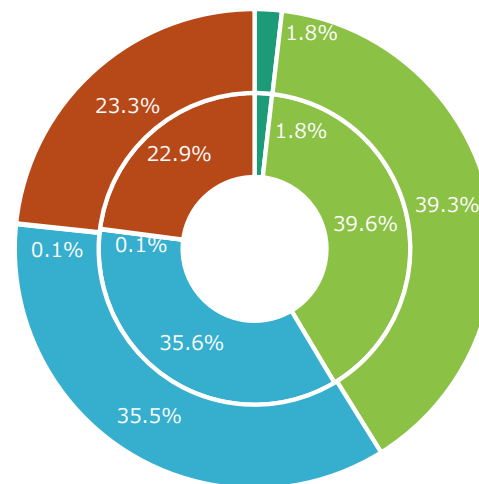
- 0~9歳までの受療率が高い傾向にあり、医療費総額の約27%を占める。
- 医療費総額はほとんどの年齢階層で前年を上回っている。

診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受療率		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総計	106.3%	169,372,947,230	101.4%	146,033	100.1%	87.4%	99.4%	0.89	100.0%	14,706
医科・入院	110.6%	34,432,070,320	105.4%	29,687	102.2%	3.83%	100.3%	7.06	103.1%	72,558
医科・入院外	102.8%	73,334,217,330	98.0%	63,229	100.0%	82.11%	99.9%	1.32	96.6%	8,735
調剤	107.7%	39,117,133,310	102.7%	33,727	100.6%	74.15%	-	-	-	-
歯科・入院	116.9%	586,105,230	111.5%	505	113.6%	0.12%	95.2%	3.90	103.7%	93,508
歯科・入院外	109.3%	21,903,421,040	104.2%	18,885	102.4%	48.66%	97.9%	1.41	103.2%	8,293

医療費総額の診療区分割合



受療率の診療区分割合



内側：令和5年度
外側：令和6年度

■ 医科・入院
■ 医科・入院外
■ 調剤
■ 歯科・入院
■ 歯科・入院外

■ 医療費総額・受療率は前年度に比べ増加している。

疾病19分類	本人/男性 [入院]					
	医療費総額按分 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	155,723,951	1.25%	3,612	0.32%	10.26	73,374
02:新 生 物	1,460,427,235	11.73%	7,591	0.66%	7.64	90,335
03:血液・造血器・免疫障害	467,179,711	3.75%	4,592	0.25%	11.22	99,222
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,215,619,457	9.76%	10,983	0.92%	9.17	81,088
05:精神・行動障害	61,672,517	0.50%	2,568	0.21%	13.77	48,637
06:神経系疾患	328,831,073	2.64%	5,872	0.53%	10.34	66,515
07:眼・付属器疾患	233,526,388	1.88%	1,373	0.16%	8.13	76,916
08:耳・乳様突起疾患	67,186,200	0.54%	349	0.05%	7.07	76,915
09:循環器系疾患	3,196,442,465	25.67%	12,549	0.82%	9.64	93,242
10:呼吸器系疾患	679,807,710	5.46%	6,830	0.65%	9.03	80,575
11:消化器系疾患	1,745,120,844	14.01%	12,414	1.29%	8.27	78,417
12:皮膚・皮下組織疾患	62,277,399	0.50%	2,769	0.23%	11.63	64,625
13:筋骨格系・結合組織疾患	337,466,381	2.71%	5,023	0.43%	9.83	78,155
14:腎尿路生殖器系疾患	355,791,411	2.86%	4,146	0.36%	9.09	78,640
15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-
16:周産期発生病態	-	-	-	-	-	-
17:先天奇形変形・染色体異常	69,309,283	0.56%	617	0.04%	8.48	125,892
18:他に分類されないもの	574,785,358	4.62%	7,441	0.61%	9.79	80,424
19:損傷・中毒・外因性	1,433,767,483	11.51%	6,659	0.67%	8.01	92,535
22:重症急性呼吸器症候群など	8,086,343	0.06%	5,606	0.61%	8.61	81,229
総計	12,453,021,210	100.00%	101,007	-	-	-

■ 医療費総額は循環器系疾患(高血圧系疾患、心疾患、脳血管疾患等)、消化器系疾患の順で上位を占める。

1-3-9 社会保険用疾病分類別 医科入院外 男性本人

疾病19分類	本人/男性 [入院外]					
	医療費総額按分 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	1,468,179,854	5.29%	12,111	24.48%	1.40	15,694
02:新 生 物	1,528,187,503	5.50%	11,446	13.86%	1.44	24,796
03:血液・造血器・免疫障害	1,537,138,455	5.54%	10,288	6.47%	1.72	35,293
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3,364,788,548	12.12%	22,737	23.53%	1.28	16,107
05:精神・行動障害	980,114,155	3.53%	5,610	10.13%	1.35	7,545
06:神経系疾患	1,859,956,381	6.70%	12,392	14.27%	1.38	11,922
07:眼・付属器疾患	1,421,908,098	5.12%	6,545	24.80%	1.17	9,865
08:耳・乳様突起疾患	165,834,856	0.60%	1,346	6.27%	1.31	8,743
09:循環器系疾患	1,494,208,436	5.38%	16,617	15.82%	1.28	16,829
10:呼吸器系疾患	3,294,465,637	11.86%	19,553	51.93%	1.22	10,521
11:消化器系疾患	3,878,865,242	13.97%	24,516	32.71%	1.35	15,310
12:皮膚・皮下組織疾患	1,626,896,323	5.86%	10,971	23.17%	1.32	11,933
13:筋骨格系・結合組織疾患	1,447,983,549	5.21%	13,292	19.13%	1.63	12,498
14:腎尿路生殖器系疾患	883,211,340	3.18%	9,461	12.12%	1.51	18,075
15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-
16:周産期発生病態	-	-	-	-	-	-
17:先天奇形変形・染色体異常	73,155,300	0.26%	664	1.01%	1.43	16,111
18:他に分類されないもの	1,697,438,033	6.11%	14,193	25.98%	1.38	14,941
19:損傷・中毒・外因性	806,038,908	2.90%	5,263	10.51%	1.84	12,278
22:重症急性呼吸器症候群など	239,411,245	0.86%	4,273	26.07%	1.24	9,842
総計	27,768,042,394	100.00%	201,296	-	-	-

■ 入院外では、医療費総額で消化器系疾患が最上位となった。

1-3-10 社会保険用疾病分類別 医科入院 女性本人

		本人	
入院			女性

疾病19分類	本人/女性 [入院]					
	医療費総額按分 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	103,285,683	1.35%	3,033	0.59%	6.97	58,376
02:新 生 物	1,592,606,449	20.81%	9,645	1.09%	6.36	98,350
03:血液・造血器・免疫障害	264,913,665	3.46%	6,489	1.34%	6.64	58,241
04:内分泌・栄養・代謝疾患	310,893,573	4.06%	5,708	0.85%	7.45	65,543
05:精神・行動障害	37,215,310	0.49%	1,986	0.25%	10.05	52,989
06:神経系疾患	205,539,053	2.69%	4,390	0.52%	8.92	65,754
07:眼・付属器疾患	80,315,613	1.05%	967	0.11%	8.55	73,173
08:耳・乳様突起疾患	32,997,083	0.43%	323	0.05%	6.59	81,072
09:循環器系疾患	703,953,802	9.20%	6,313	0.69%	8.34	77,803
10:呼吸器系疾患	275,527,366	3.60%	4,875	0.75%	7.21	70,173
11:消化器系疾患	777,240,141	10.16%	12,072	2.17%	6.81	62,589
12:皮膚・皮下組織疾患	39,943,500	0.52%	2,670	0.43%	7.98	59,610
13:筋骨格系・結合組織疾患	274,777,681	3.59%	5,400	0.98%	7.12	60,039
14:腎尿路生殖器系疾患	469,247,106	6.13%	5,483	1.27%	5.85	59,780
15:妊娠・分娩・産じょく	1,044,421,750	13.65%	6,854	2.22%	5.48	42,255
16:周産期発生病態	1,019,624	0.01%	176	0.08%	5.81	30,850
17:先天奇形変形・染色体異常	43,957,939	0.57%	409	0.05%	6.82	88,116
18:他に分類されないもの	411,829,645	5.38%	6,841	1.26%	6.75	63,061
19:損傷・中毒・外因性	977,171,862	12.77%	7,211	1.10%	6.60	82,434
22:重症急性呼吸器症候群など	6,906,567	0.09%	4,290	0.65%	7.11	72,996
総計	7,653,763,414	100.00%	95,135	-	-	-

■ 医療費総額は新生物、妊娠・分娩・産じょくが上位となっている。この傾向は前年と同様。入院日数は精神系疾患によるものが長くなっている。

1-3-11 社会保険用疾病分類別 医科入院外 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院外]					
	医療費総額按分 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	550,014,681	2.78%	11,969	29.68%	1.41	13,033
02:新 生 物	1,639,952,630	8.30%	17,292	27.39%	1.34	17,926
03:血液・造血器・免疫障害	633,442,838	3.20%	10,911	14.63%	1.43	19,614
04:内分泌・栄養・代謝疾患	2,115,315,174	10.70%	24,934	27.53%	1.47	17,565
05:精神・行動障害	724,724,920	3.67%	6,379	13.22%	1.35	7,209
06:神経系疾患	1,034,002,542	5.23%	10,521	16.20%	1.39	10,352
07:眼・付属器疾患	949,956,346	4.81%	6,217	33.65%	1.15	7,535
08:耳・乳様突起疾患	126,391,548	0.64%	1,476	8.48%	1.32	7,171
09:循環器系疾患	501,332,852	2.54%	10,522	13.91%	1.31	17,549
10:呼吸器系疾患	2,183,852,945	11.05%	19,099	56.27%	1.24	9,288
11:消化器系疾患	1,940,466,023	9.82%	21,598	37.66%	1.37	12,885
12:皮膚・皮下組織疾患	1,099,864,225	5.56%	11,148	34.20%	1.27	9,069
13:筋骨格系・結合組織疾患	1,113,040,250	5.63%	13,750	21.05%	1.61	12,724
14:腎尿路生殖器系疾患	3,079,402,053	15.58%	21,897	33.96%	1.43	13,700
15:妊娠・分娩・産じょく	115,714,598	0.59%	2,429	4.58%	1.73	10,834
16:周産期発生病態	1,037,083	0.01%	41	0.21%	1.83	6,068
17:先天奇形変形・染色体異常	53,203,070	0.27%	654	1.49%	1.43	12,415
18:他に分類されないもの	1,317,581,919	6.67%	16,073	32.85%	1.37	13,060
19:損傷・中毒・外因性	452,408,010	2.29%	4,988	12.77%	1.70	11,277
22:重症急性呼吸器症候群など	134,115,295	0.68%	4,067	25.66%	1.26	9,447
総計	19,765,819,001	100.00%	215,964	-	-	-

■ 前年同様、腎尿路生殖器系疾患が医療費総額において最上位となった。

1-3-12 社会保険用疾病分類別 医科入院 男性家族

疾病19分類	家族/男性 [入院]					
	医療費総額按分 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	135,557,815	2.63%	8,659	0.97%	9.29	65,502
02:新 生 物	160,151,556	3.11%	3,824	0.25%	9.15	88,534
03:血液・造血器・免疫障害	206,073,002	4.00%	8,549	0.40%	14.42	76,877
04:内分泌・栄養・代謝疾患	174,397,880	3.38%	10,849	0.94%	11.46	60,481
05:精神・行動障害	46,831,999	0.91%	5,113	0.23%	19.93	39,845
06:神経系疾患	147,687,280	2.86%	8,610	0.53%	14.83	48,716
07:眼・付属器疾患	57,050,902	1.11%	3,859	0.21%	16.07	54,499
08:耳・乳様突起疾患	90,938,127	1.76%	2,416	0.26%	9.75	65,006
09:循環器系疾患	426,144,855	8.27%	8,253	0.40%	13.58	72,351
10:呼吸器系疾患	615,354,377	11.93%	14,944	1.75%	8.45	65,470
11:消化器系疾患	335,827,947	6.51%	11,971	0.89%	12.69	58,027
12:皮膚・皮下組織疾患	64,865,565	1.26%	7,528	0.77%	10.81	54,227
13:筋骨格系・結合組織疾患	258,603,516	5.02%	5,434	0.40%	13.82	53,501
14:腎尿路生殖器系疾患	124,341,918	2.41%	5,093	0.43%	10.70	68,065
15:妊娠・分娩・産じょく	2,267,914	0.04%	143	0.05%	5.49	48,927
16:周産期発生病態	1,041,238,850	20.19%	11,705	1.45%	8.58	66,725
17:先天奇形変形・染色体異常	563,135,409	10.92%	10,226	0.63%	9.55	97,309
18:他に分類されないもの	236,233,780	4.58%	10,073	0.92%	11.39	58,700
19:損傷・中毒・外因性	461,483,226	8.95%	7,307	1.04%	6.31	74,682
22:重症急性呼吸器症候群など	7,793,606	0.15%	8,899	1.39%	6.91	70,605
総計	5,155,979,522	100.00%	153,456	-	-	-

- 主に周産期発生病態、呼吸器系疾患、先天奇形変形・染色体異常の疾病が上位となった。
- 入院日数は精神系疾患によるものが長くなっている。

1-3-13 社会保険用疾病分類別 医科入院外 男性家族

疾病19分類	家族/男性 [入院外]					
	医療費総額按分 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	456,787,895	5.09%	15,222	48.93%	1.66	6,897
02:新 生 物	83,058,540	0.93%	2,888	5.89%	1.45	16,766
03:血液・造血器・免疫障害	236,713,731	2.64%	7,154	4.99%	1.60	35,183
04:内分泌・栄養・代謝疾患	620,314,495	6.91%	10,935	9.46%	1.50	26,977
05:精神・行動障害	333,311,178	3.71%	5,986	9.62%	1.36	9,079
06:神経系疾患	185,076,017	2.06%	5,749	5.59%	1.44	15,202
07:眼・付属器疾患	499,084,251	5.56%	9,780	44.89%	1.31	6,462
08:耳・乳様突起疾患	167,177,389	1.86%	6,809	27.78%	1.58	6,191
09:循環器系疾患	97,028,131	1.08%	6,068	5.08%	1.43	27,806
10:呼吸器系疾患	2,809,660,604	31.29%	40,380	78.00%	1.45	6,830
11:消化器系疾患	368,580,275	4.11%	11,983	21.81%	1.53	12,306
12:皮膚・皮下組織疾患	1,309,082,876	14.58%	21,287	55.66%	1.46	6,513
13:筋骨格系・結合組織疾患	292,373,002	3.26%	6,132	12.51%	1.68	12,122
14:腎尿路生殖器系疾患	72,206,139	0.80%	4,288	8.59%	1.57	15,423
15:妊娠・分娩・産じょく	1,490,162	0.02%	73	0.14%	1.32	14,496
16:周産期発生病態	140,564,302	1.57%	2,174	1.96%	1.34	28,843
17:先天奇形変形・染色体異常	201,092,740	2.24%	4,307	5.47%	1.40	18,621
18:他に分類されないもの	482,979,624	5.38%	13,241	36.06%	1.52	9,584
19:損傷・中毒・外因性	576,633,300	6.42%	9,132	29.69%	1.61	7,734
22:重症急性呼吸器症候群など	45,541,514	0.51%	7,259	35.95%	1.56	8,262
総計	8,978,756,167	100.00%	190,848	-	-	-

■ 乳幼児や義務教育の者が7割を占めることから、風邪や喘息などによる呼吸系疾患が上位を占めている。医療費総額の約31%を呼吸器系疾患が占める。

1-3-14 社会保険用疾病分類別 医科入院 女性家族

疾病19分類	家族/女性 [入院]					
	医療費総額按分 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	216,443,927	2.43%	8,365	0.83%	9.80	70,686
02:新 生 物	1,068,767,595	11.98%	10,456	0.85%	7.97	91,057
03:血液・造血器・免疫障害	353,363,255	3.96%	10,839	0.93%	10.55	72,657
04:内分泌・栄養・代謝疾患	475,685,112	5.33%	12,899	1.14%	10.95	61,974
05:精神・行動障害	113,835,750	1.28%	7,202	0.43%	16.91	40,809
06:神経系疾患	292,483,878	3.28%	9,856	0.72%	14.36	46,235
07:眼・付属器疾患	155,880,831	1.75%	4,229	0.25%	13.30	71,954
08:耳・乳様突起疾患	61,759,281	0.69%	1,552	0.15%	10.99	65,975
09:循環器系疾患	961,081,860	10.77%	12,505	0.77%	12.61	69,529
10:呼吸器系疾患	613,215,375	6.87%	12,079	1.32%	9.36	64,563
11:消化器系疾患	709,606,357	7.95%	17,291	1.74%	10.76	56,787
12:皮膚・皮下組織疾患	86,394,362	0.97%	7,899	0.62%	12.44	59,062
13:筋骨格系・結合組織疾患	441,277,887	4.95%	8,596	0.82%	10.71	61,842
14:腎尿路生殖器系疾患	268,484,523	3.01%	7,334	0.85%	9.23	63,135
15:妊娠・分娩・産じょく	420,678,129	4.72%	3,776	1.07%	5.70	46,267
16:周産期発生病態	986,249,706	11.05%	6,122	0.81%	7.79	71,093
17:先天奇形変形・染色体異常	412,488,291	4.62%	5,126	0.27%	10.49	96,842
18:他に分類されないもの	469,789,107	5.27%	12,698	1.22%	10.47	61,689
19:損傷・中毒・外因性	802,660,349	9.00%	9,011	1.01%	8.14	77,493
22:重症急性呼吸器症候群など	11,549,411	0.13%	7,984	1.03%	7.89	72,758
総計	8,921,694,986	100.00%	175,820	-	-	-

■ 医療費総額では新生物が最上位となったが、受療率は前年とは異なり、消化器系疾患が最上位となった。

1-3-15 社会保険用疾病分類別 医科入院外 女性家族

疾病19分類	家族/女性 [入院外]					
	医療費総額按分 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	644,357,977	3.94%	15,475	39.66%	1.59	9,315
02:新 生 物	1,078,209,157	6.59%	13,929	18.54%	1.42	18,664
03:血液・造血器・免疫障害	373,267,961	2.28%	10,914	10.87%	1.53	21,707
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,420,978,452	8.69%	21,741	21.06%	1.44	17,197
05:精神・行動障害	440,851,784	2.70%	8,035	10.02%	1.38	9,989
06:神経系疾患	689,990,920	4.22%	12,210	12.23%	1.48	12,261
07:眼・付属器疾患	968,790,868	5.92%	10,779	43.14%	1.25	7,778
08:耳・乳様突起疾患	228,365,712	1.40%	4,610	19.68%	1.52	6,514
09:循環器系疾患	457,170,992	2.79%	13,315	12.44%	1.38	18,023
10:呼吸器系疾患	3,281,556,623	20.06%	31,959	68.54%	1.40	7,468
11:消化器系疾患	1,284,282,267	7.85%	22,668	31.87%	1.47	12,417
12:皮膚・皮下組織疾患	1,528,213,140	9.34%	20,357	47.58%	1.42	8,159
13:筋骨格系・結合組織疾患	911,600,806	5.57%	15,120	20.00%	1.73	11,360
14:腎尿路生殖器系疾患	973,618,378	5.95%	13,898	20.91%	1.53	13,223
15:妊娠・分娩・産じょく	34,373,953	0.21%	997	2.19%	1.70	9,706
16:周産期発生病態	112,829,411	0.69%	998	1.07%	1.39	25,059
17:先天奇形変形・染色体異常	215,228,191	1.32%	2,845	3.67%	1.45	18,348
18:他に分類されないもの	1,051,569,788	6.43%	18,515	35.13%	1.48	11,856
19:損傷・中毒・外因性	584,591,099	3.57%	7,507	21.32%	1.73	8,618
22:重症急性呼吸器症候群など	77,301,243	0.47%	5,473	27.98%	1.48	9,028
総計	16,357,148,720	100.00%	251,345	-	-	-

■ 男性家族同様、乳幼児や義務教育の者が約4割いることから、風邪や喘息などの呼吸系疾患が上位を占めている。

生活習慣病	本人/男性 [入院]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	367,060,093	0.29%	9.94	82,271
高血圧症	675,072,457	0.45%	10.44	84,450
脂質異常症	537,474,799	0.36%	8.92	88,561
虚血性心疾患	471,733,473	0.17%	8.07	128,382
脳血管障害	238,710,393	0.12%	14.90	61,905
動脈疾患	197,312,417	0.06%	10.80	125,608
慢性腎臓病(CKD)	53,893,890	0.06%	10.54	90,494
肝疾患	5,210,726	0.05%	9.16	54,597

生活習慣病	本人/男性 [入院外]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	717,948,473	6.65%	1.24	17,088
高血圧症	598,661,254	9.07%	1.26	14,659
脂質異常症	756,320,660	11.85%	1.22	12,699
虚血性心疾患	133,010,180	1.73%	1.47	20,560
脳血管障害	113,452,154	1.66%	1.29	14,773
動脈疾患	82,792,336	1.41%	1.66	19,028
慢性腎臓病(CKD)	223,991,577	0.81%	2.73	27,840
肝疾患	150,048,313	3.75%	1.19	13,865

- 入院の医療費按分・受療率は高血圧症が最上位となった。
- 入院の一日あたり医療費においては、虚血性心疾患が最上位となった。
- 入院外の受療率においては、脂質異常症がどれよりも高い。

生活習慣病	本人/女性 [入院]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	63,580,673	0.10%	9.57	75,669
高血圧症	123,232,051	0.22%	9.39	75,593
脂質異常症	82,338,168	0.13%	8.74	72,719
虚血性心疾患	41,824,524	0.03%	7.33	104,450
脳血管障害	147,185,190	0.06%	12.84	83,233
動脈疾患	31,228,479	0.04%	8.15	100,894
慢性腎臓病(CKD)	7,451,531	0.02%	9.17	74,324
肝疾患	84,236	0.02%	7.07	69,799

生活習慣病	本人/女性 [入院外]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	165,251,747	3.20%	1.27	17,832
高血圧症	137,347,798	4.17%	1.25	13,229
脂質異常症	197,646,445	6.44%	1.24	12,156
虚血性心疾患	22,967,859	0.71%	1.39	22,883
脳血管障害	36,405,465	1.00%	1.26	14,501
動脈疾患	64,669,831	1.66%	1.39	15,715
慢性腎臓病(CKD)	30,159,105	0.34%	1.93	29,777
肝疾患	28,082,592	1.38%	1.24	13,186

- 入院の医療費按分は脳血管障害が最上位となった。
- 入院外の受療率においては、脂質異常症が最上位となった。

生活習慣病	家族/男性 [入院]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	20,479,169	0.04%	14.15	59,806
高血圧症	50,203,001	0.10%	16.13	62,366
脂質異常症	31,877,999	0.05%	16.18	43,617
虚血性心疾患	21,258,731	0.04%	11.54	73,924
脳血管障害	13,247,097	0.04%	19.74	40,140
動脈疾患	6,614,906	0.03%	14.53	73,548
慢性腎臓病(CKD)	6,602,630	0.02%	18.34	49,625
肝疾患	507,633	0.01%	7.95	58,842

生活習慣病	家族/男性 [入院外]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	15,331,914	0.72%	1.48	24,066
高血圧症	10,807,892	0.87%	1.54	36,483
脂質異常症	10,572,095	0.91%	1.40	36,843
虚血性心疾患	4,220,110	0.24%	1.73	27,426
脳血管障害	4,387,441	0.27%	1.40	20,550
動脈疾患	3,767,330	0.27%	1.97	22,533
慢性腎臓病(CKD)	8,498,480	0.12%	3.60	29,683
肝疾患	2,518,771	0.29%	1.29	12,655

■ 男性本人と同様に、入院の医療費按分・受療率ともに高血圧症が最上位となっている。

生活習慣病	家族/女性 [入院]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	79,031,197	0.15%	12.57	66,542
高血圧症	161,218,785	0.27%	13.73	63,691
脂質異常症	118,503,093	0.18%	13.50	61,627
虚血性心疾患	54,998,886	0.06%	11.49	73,872
脳血管障害	130,394,170	0.08%	18.10	51,961
動脈疾患	26,355,782	0.04%	12.59	91,532
慢性腎臓病(CKD)	16,941,173	0.04%	11.79	81,047
肝疾患	1,628,256	0.02%	15.40	44,604

生活習慣病	家族/女性 [入院外]			
	医療費按分 (円)	受療率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	125,355,846	3.14%	1.33	16,715
高血圧症	116,137,199	4.63%	1.35	15,761
脂質異常症	146,171,359	6.09%	1.30	12,939
虚血性心疾患	22,086,031	0.87%	1.49	20,002
脳血管障害	34,725,007	1.20%	1.35	15,532
動脈疾患	39,204,908	1.51%	1.57	15,052
慢性腎臓病(CKD)	44,798,958	0.35%	2.89	28,373
肝疾患	16,486,368	1.14%	1.30	13,340

- 女性本人とは異なり、入院における医療費按分は高血圧症が最上位となった。
- 女性家族の入院外における1件あたり日数と1日あたり医療費は慢性腎臓病(CKD)がどれよりも高い。

付録 1 社会保険用疾病分類

- 異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関（WHO）が作成した分類が、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（ICD）」です。
- 現在、我が国では、**ICD-10**（2013）に準拠した「疾病、傷害及び死因分類」を作成し、統計法に基づく統計調査に使用するほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用しています。
- ICD-10の分類の構成（基本分類表）は全22章から構成されており、レセプト分析システムではこの分類に従い分析を行っています。

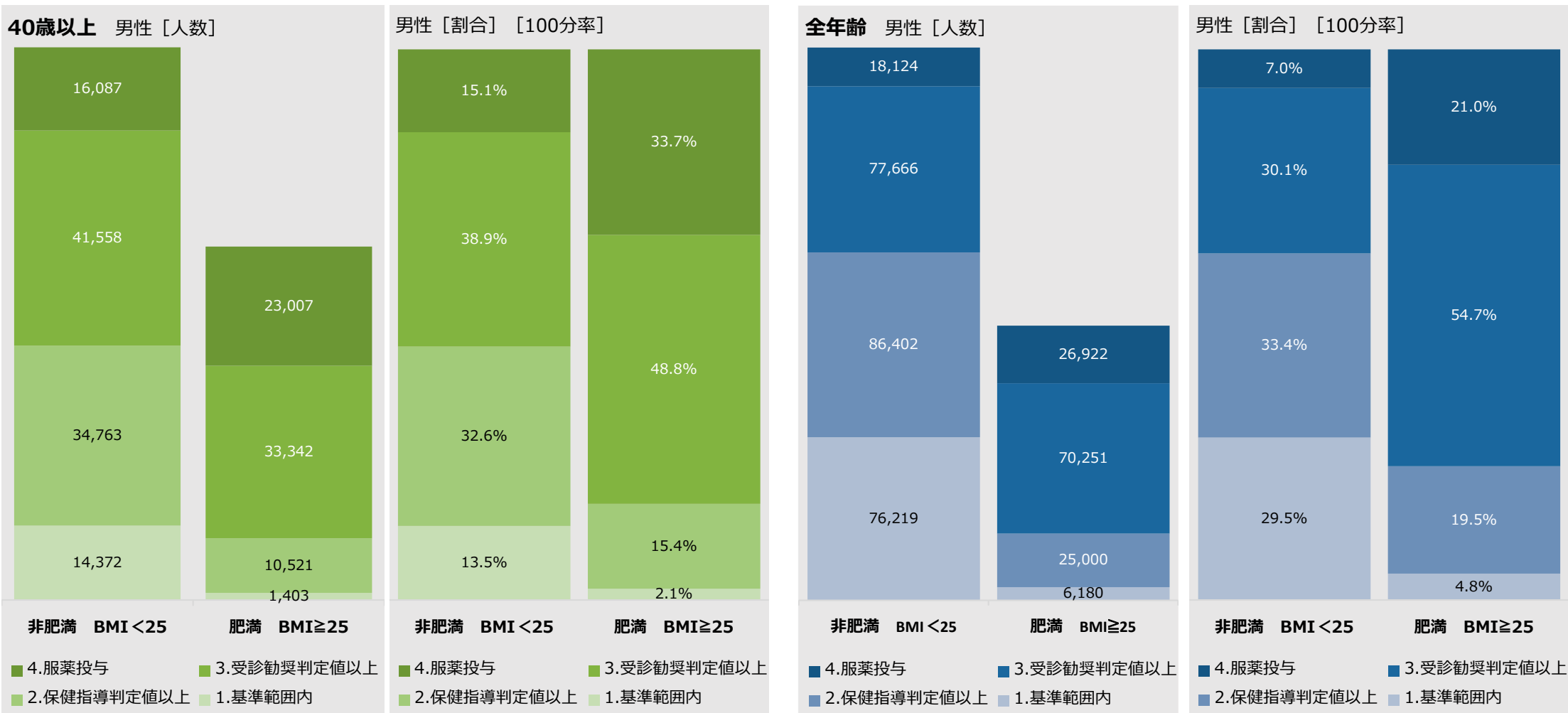
章	分類	大分類の例
第1章	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、主として性的伝播様式をとる感染症、真菌症などその他
第2章	新生物	悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物などその他
第3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	栄養性貧血、凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態、免疫機構の障害などその他
第4章	内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害、糖尿病、栄養失調、
第5章	精神及び行動の障害	症状性を含む器質性精神障害、統合失調症、妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害などその他
第6章	神経系の疾患	中枢神経系の炎症性疾患、神経系のその他の変性疾患、挿間性及び発作性障害などその他
第7章	眼及び付属器の疾患	眼瞼、涙器及び眼窩の障害、強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害、水晶体の障害などその他
第8章	耳及び乳様突起の疾患	外耳疾患、中耳及び乳様突起の疾患、耳のその他の障害などその他
第9章	循環器系の疾患	急性リウマチ熱、高血圧性疾患、虚血性心疾患、肺性心疾患及び肺循環疾患、脳血管疾患などその他
第10章	呼吸器系の疾患	急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、上気道のその他の疾患、喘息などその他
第11章	消化器系の疾患	食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患、ヘルニア、非感染性腸炎及び非感染性大腸炎などその他
第12章	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、水疱症、皮膚炎及び湿疹、蕁麻疹及び紅斑などその他
第13章	骨格系及び結合組織の疾患	関節障害、全身性結合組織障害、軟部組織障害、骨障害及び軟骨障害などその他
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患、腎不全、尿路結石症、乳房の障害などその他
第15章	妊娠、分娩及び産じょく	流産に終わった妊娠、主として妊娠に関連するその他の母体障害、分娩の合併症などその他
第16章	周産期に発生した病態	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児などその他
第17章	先天奇形、変形及び染色体異常	神経系の先天奇形、染色体異常、他に分類されないものなどその他
第18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候、その他の症状及び徴候、検査の異常所見、診断名の記載がないものなどその他
第19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷などその他の損傷、熱傷及び腐食、凍傷、薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒などその他
第22章	特殊目的用コード	重症急性呼吸器症候群[SARS]、コロナウイルス感染症2019など

STEP 1-4

健康分布

- 分析対象の健診情報は、**令和6年4月から令和7年3月までの**健診結果を集計したものです。
- 結果の線グラフ「該当率」の閾値は受診勧奨値（BMIは特定保健指導の選定基準値）を基準としています。
- 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等については「付録2」を参照（54頁）
- 特定保健指導の階層化フローについては「付録3」を参照（55頁）
- 健診検査項目の概要については「付録4」を参照（56頁）

1-4-1 健康分布図 –肥満によるリスク分布（男性）–



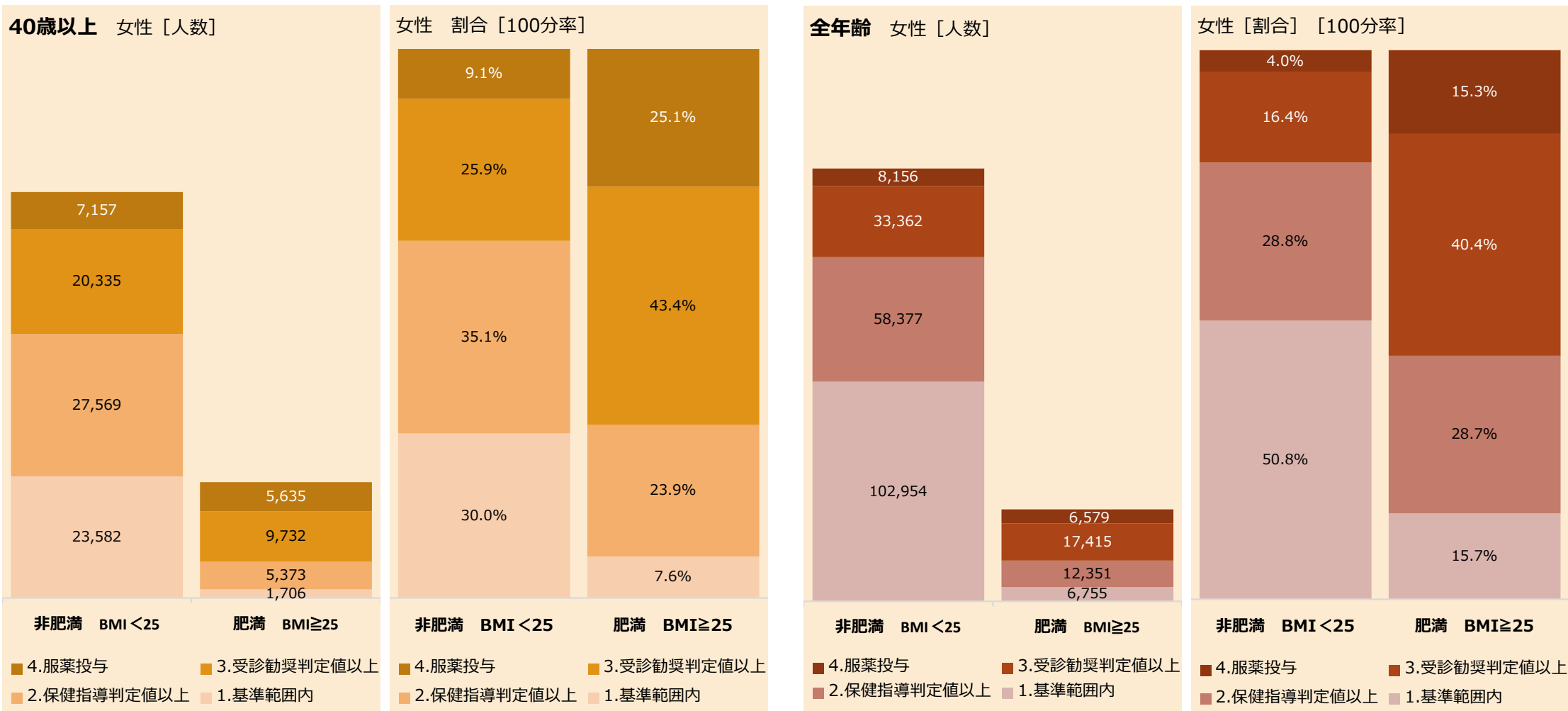
注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

注) 検査項目（収縮期血圧・拡張期血圧・中性脂肪・LDLコレステロール・GOT・GPT・γ-GTP・空腹時血糖・HbA1c）のうち、1つでも受診勧奨判定値に該当する者は3.受診勧奨判定値以上に計上

注) 検査項目のうち、1つでも保健指導判定値に該当する者は2.保健指導判定値以上に計上

- 特定健診対象者（40歳以上）の問診票及び健診結果の分析から、非肥満では「服薬投与」と「受診勧奨判定値以上」の者の割合が5割強を占めているが、肥満では8割強を占めている。
- 40歳以上の非肥満と肥満では「基準範囲内」の割合に約6倍の開きがある。
- 40歳以上と全年齢を比較すると肥満、非肥満ともに「基準範囲内」の割合が約2倍、肥満は「服薬投与」の割合が約13ポイントの差がある。

1-4-2 健康分布図 –肥満によるリスク分布（女性）–



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

注) 検査項目 (収縮期血圧・拡張期血圧・中性脂肪・LDLコレステロール・GOT・GPT・γ-GTP・空腹時血糖・HbA1c) のうち、1つでも受診勧奨判定値に該当する者は3.受診勧奨判定値以上に計上

注) 検査項目のうち、1つでも保健指導判定値に該当する者は2.保健指導判定値以上に計上

- 40歳以上の非肥満と肥満では「基準範囲内」の割合に約4倍の開きがある。
- 全年齢の非肥満では「基準範囲内」の者が5割強、肥満では「基準範囲内」の者が2割弱を占め、男性と比べその割合はかなり高くなっている。
- 40歳以上と全年齢を比較すると肥満、非肥満ともに「基準範囲内」の割合が約1.7倍、肥満は「服薬投与」の割合が約10ポイントの差がある。

1-4-3 健康分布図 – 問診票分析（食習慣） –

食事を噛んで食べるときの状態	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:何でも	446,711	89.3%	293,291	89.8%	182,722	88.8%	476,013	89.4%	311,957	90.1%	197,761	89.0%	509,718	89.7%
2:かみにくい	51,544	10.3%	31,912	9.8%	22,397	10.9%	54,309	10.2%	32,781	9.5%	23,625	10.6%	56,406	9.9%
3:ほとんどかめない	1,946	0.4%	1,496	0.5%	565	0.3%	2,061	0.4%	1,568	0.5%	703	0.3%	2,271	0.4%

人と比較して食べるのが速い	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:速い	167,979	33.7%	126,853	38.9%	52,067	25.4%	178,920	33.7%	136,674	39.6%	56,368	25.5%	193,042	34.1%
2:ふつう	273,522	54.9%	170,401	52.3%	119,266	58.2%	289,667	54.6%	178,608	51.7%	128,673	58.1%	307,281	54.2%
3:遅い	56,985	11.4%	28,437	8.7%	33,669	16.4%	62,106	11.7%	30,060	8.7%	36,437	16.5%	66,497	11.7%

就寝2時間以内の食事が週3回以上ある	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	151,968	30.5%	110,081	33.8%	53,981	26.3%	164,062	30.9%	118,136	34.2%	59,954	27.1%	178,090	31.4%
2:いいえ	346,410	69.5%	215,555	66.2%	150,979	73.7%	366,534	69.1%	227,186	65.8%	161,492	72.9%	388,678	68.6%

朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日	107,298	21.4%	54,666	16.7%	61,131	29.7%	115,797	21.7%	58,145	16.8%	66,212	29.8%	124,357	21.9%
2:時々	286,306	57.2%	189,600	58.0%	116,417	56.6%	306,017	57.5%	201,561	58.2%	125,654	56.6%	327,215	57.6%
3:ほとんど摂取しない	106,681	21.3%	82,478	25.2%	28,184	13.7%	110,662	20.8%	86,622	25.0%	30,245	13.6%	116,867	20.6%

朝食抜きが週3回以上ある	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	195,232	39.2%	139,909	43.0%	69,847	34.1%	209,756	39.5%	145,600	42.2%	73,953	33.4%	219,553	38.8%
2:いいえ	303,139	60.8%	185,749	57.0%	135,104	65.9%	320,853	60.5%	199,582	57.8%	147,417	66.6%	346,999	61.2%

■ 令和5年度と同様に、朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取を毎日している人の割合は男女で13ポイントの差がある。

1-4-4 健康分布図 – 問診票分析（飲酒） –

令和 5 年度まで

お酒を飲む頻度	令和 4 年度		令和 5 年度											
			男性		女性		計							
1:毎日	82,343	14.9%	59,152	16.4%	22,271	9.9%	81,423	13.9%						
2:時々	235,582	42.6%	163,541	45.3%	93,718	41.6%	257,259	43.9%	令和6年度より回答選択肢変更					
3:ほとんど飲まない	235,685	42.6%	138,548	38.4%	109,090	48.5%	247,638	42.2%						
飲酒日の一日当りの飲酒量	令和 4 年度		令和 5 年度											
			男性		女性		計							
1:1合未満	256,456	52.1%	144,624	44.2%	123,159	62.5%	267,783	51.1%						
2:1～2合未満	145,790	29.6%	104,295	31.9%	50,668	25.7%	154,963	29.6%						
3:2～3合未満	61,646	12.5%	51,643	15.8%	17,410	8.8%	69,053	13.2%						
4:3合以上	28,467	5.8%	26,491	8.1%	5,947	3.0%	32,438	6.2%						

令和 6 年度から

お酒を飲む頻度							令和 6 年度					
							男性		女性		計	
1:毎日	令和6年度より回答選択肢変更						37,613	9.9%	14,305	5.9%	51,918	8.3%
2:週5～6日							24,900	6.5%	10,358	4.3%	35,258	5.7%
3:週3～4日							37,223	9.7%	18,157	7.5%	55,380	8.9%
4:週1～2日							73,514	19.3%	41,225	17.0%	114,739	18.4%
5:月に1～3日							77,843	20.4%	48,991	20.2%	126,834	20.3%
6:月に1日未満							59,902	15.7%	39,983	16.5%	99,885	16.0%
7:やめた							5,643	1.5%	5,152	2.1%	10,795	1.7%
8:飲まない（飲めない）							65,202	17.1%	63,979	26.4%	129,181	20.7%
飲酒日の一日当りの飲酒量							令和 6 年度					
							男性		女性		計	
1:1合未満							133,814	38.2%	123,140	57.3%	256,954	45.5%
2:1～2合未満							118,489	33.8%	60,841	28.3%	179,330	31.7%
3:2～3合未満							58,660	16.8%	20,804	9.7%	79,464	14.1%
4:3合以上							29,322	8.4%	7,914	3.7%	37,236	6.6%
5:5合以上							9,836	2.8%	2,034	0.9%	11,870	2.1%

■ （令和 6 年度問診票）飲酒日の一日当りの飲酒量が 3 合以上の人の割合は男女で4.7ポイントの差、 5 合以上の人は男女で1.9ポイントの差がある。

1-4-5 健康分布図 – 問診票分析（その他） –

睡眠で休養が十分とれている	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	326,233	65.5%	211,419	64.9%	129,256	63.1%	340,675	64.2%	221,929	64.3%	138,059	62.4%	359,988	63.5%
2:いいえ	172,002	34.5%	114,143	35.1%	75,659	36.9%	189,802	35.8%	123,288	35.7%	83,319	37.6%	206,607	36.5%

20歳のときから体重10kg以上増加	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	184,182	37.0%	148,417	45.6%	48,333	23.6%	196,750	37.1%	160,832	46.6%	55,210	24.9%	216,042	38.1%
2:いいえ	314,130	63.0%	177,216	54.4%	156,606	76.4%	333,822	62.9%	184,454	53.4%	166,197	75.1%	350,651	61.9%

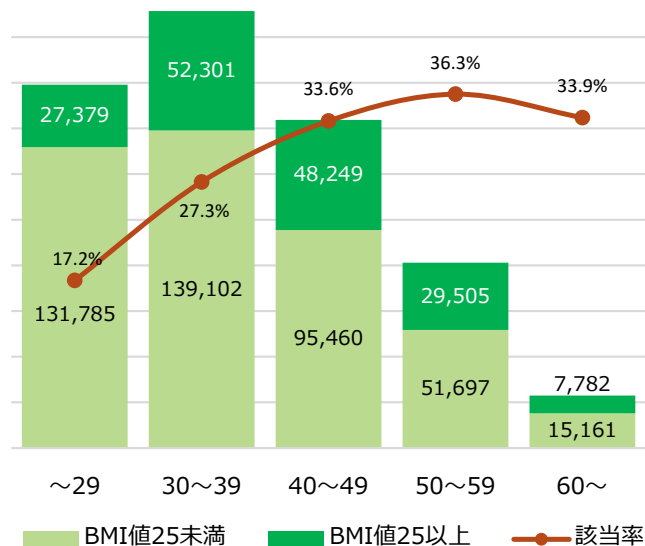
1回30分以上の運動を週2日以上、1年実施	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	106,555	21.4%	84,077	25.8%	34,031	16.6%	118,108	22.3%	93,571	27.1%	38,458	17.4%	132,029	23.3%
2:いいえ	391,929	78.6%	241,630	74.2%	170,985	83.4%	412,615	77.7%	251,772	72.9%	183,028	82.6%	434,800	76.7%

歩行などを1日1時間以上実施	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	180,555	36.2%	130,296	40.0%	75,304	36.7%	205,600	38.8%	143,265	41.5%	83,580	37.7%	226,845	40.0%
2:いいえ	317,754	63.8%	195,332	60.0%	129,607	63.3%	324,939	61.2%	201,995	58.5%	137,827	62.3%	339,822	60.0%

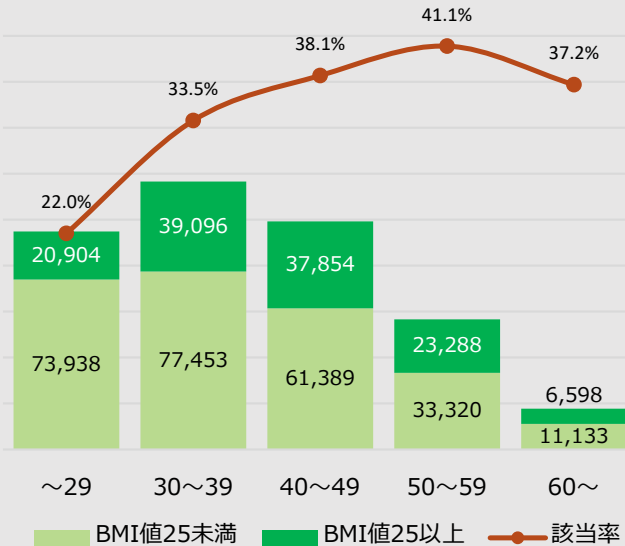
同年齢の同性より歩くのが速い	令和4年度		令和5年度						令和6年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	259,488	52.1%	184,521	56.7%	96,033	46.9%	280,554	52.9%	199,771	57.9%	106,781	48.2%	306,552	54.1%
2:いいえ	238,902	47.9%	141,164	43.3%	108,941	53.1%	250,105	47.1%	145,529	42.1%	114,669	51.8%	260,198	45.9%

- 20歳のときより体重が10kg以上増加している者の割合は全体では約38%だが、男性約47%に対して女性では約25%と性別による差は大きい。

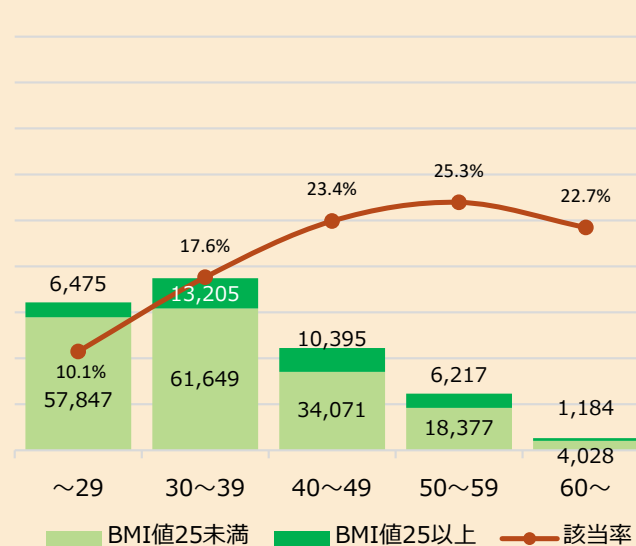
BMI分布 被保険者全体



BMI分布 男性

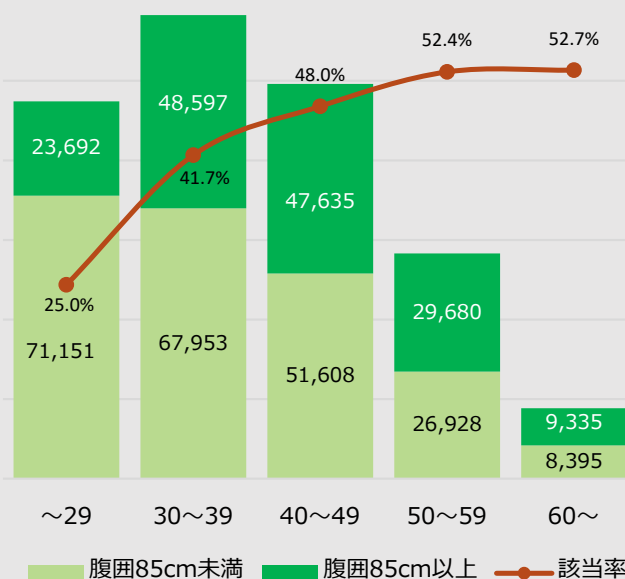


BMI分布 女性

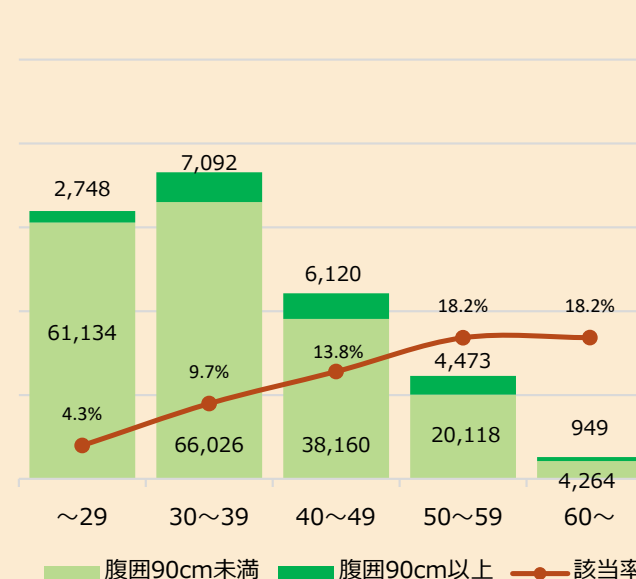


- BMI25以上の該当率は男女ともに50歳台がピークになっている。
- 男性は30歳台からBMI25以上の該当率が増加し、3割弱の人がBMI25以上、4割強の人が腹囲85cmを超えている。
- 女性の該当率は男性と比較して、BMI25を超えている人は1/2程度、腹囲では1/3～1/6程度と総じて該当率は低い。

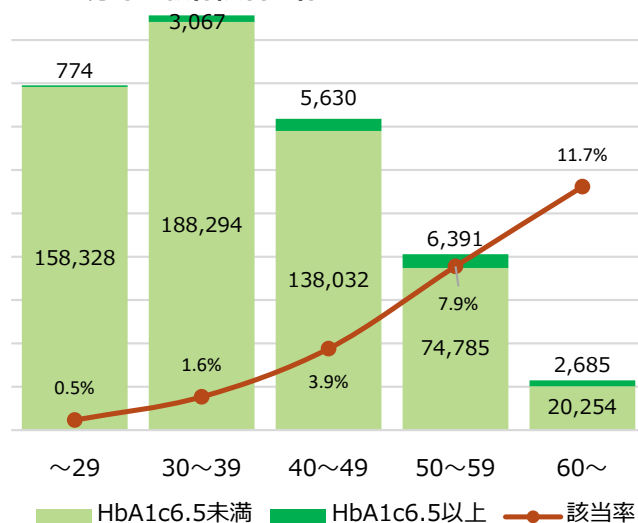
腹囲分布 男性



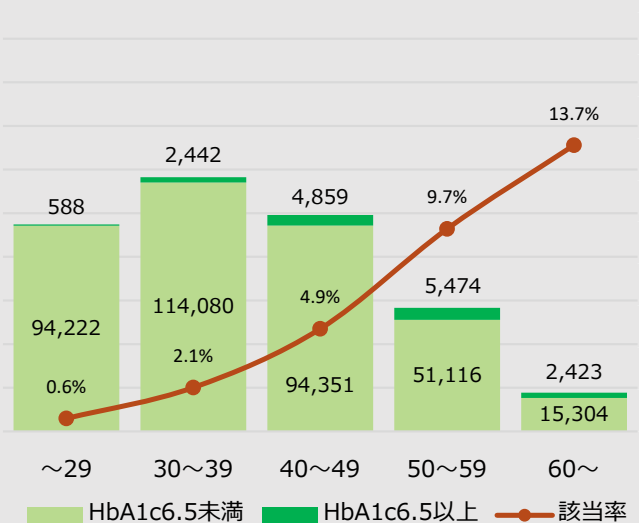
腹囲分布 女性



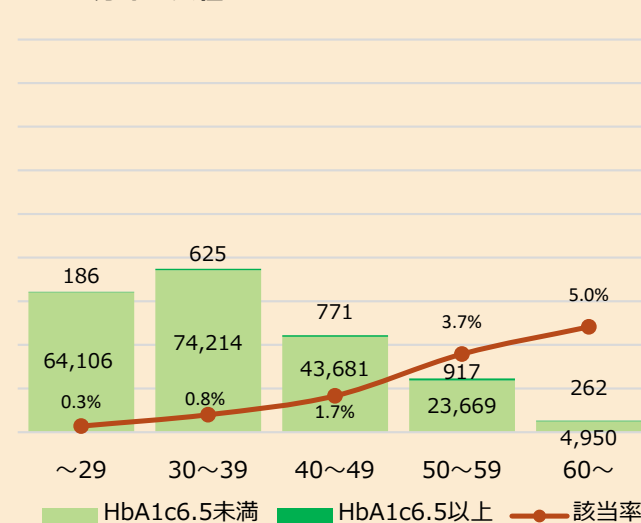
HbA1c 分布 被保険者全体



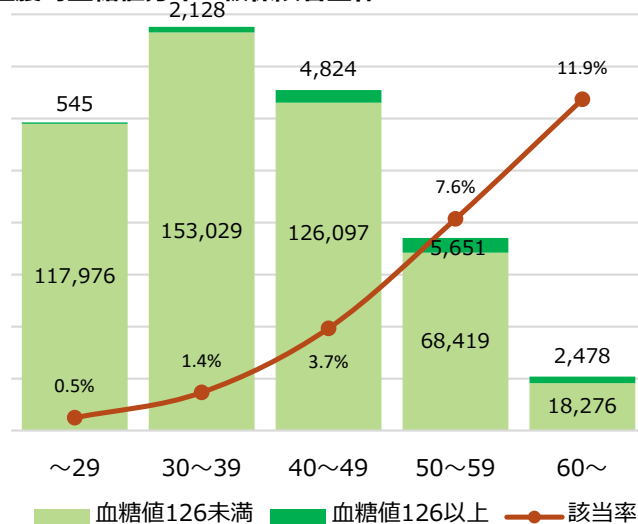
HbA1c 分布 男性



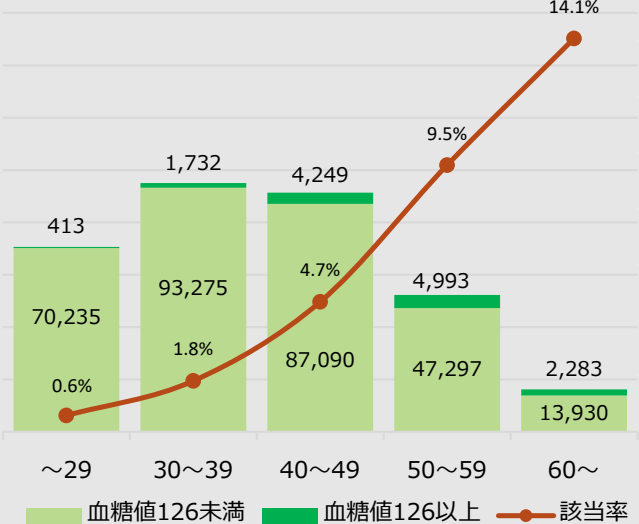
HbA1c 分布 女性



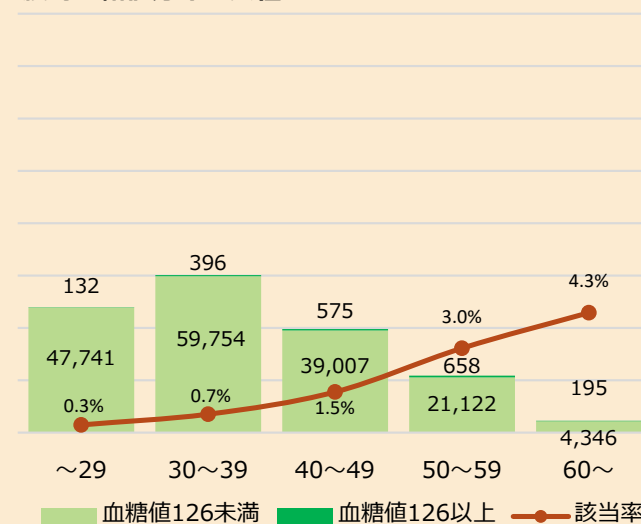
空腹時血糖値分布 被保険者全体



空腹時血糖値分布 男性

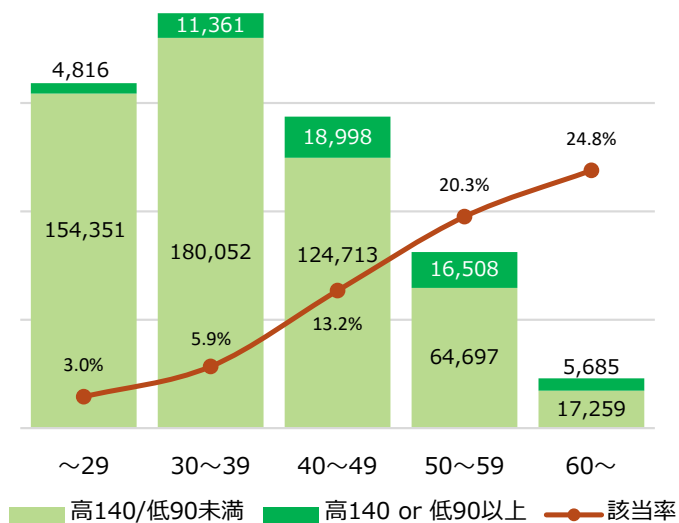


空腹時血糖値分布 女性

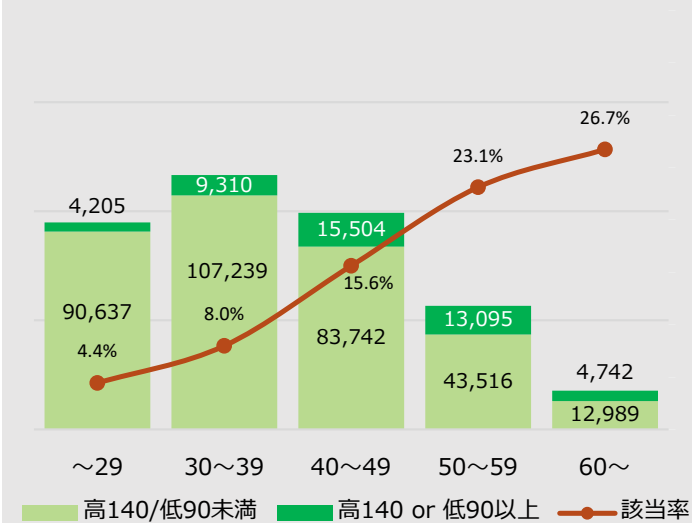


■ 糖尿病の指標は男女ともに年代が上がるにつれて高くなる傾向であるが、50歳台を境に急激に高くなる。その傾向は男性により強く現れている。

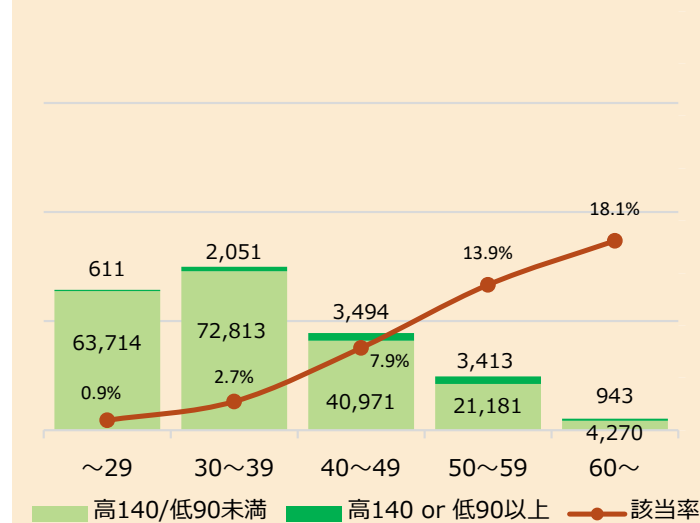
収縮又は拡張期 高値分布 被保険者全体



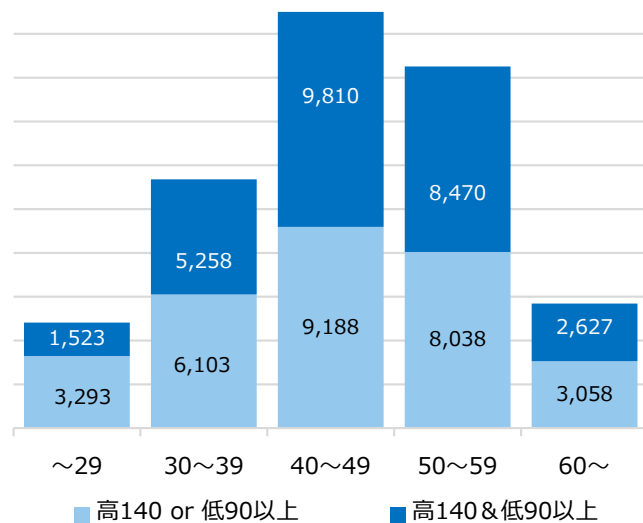
収縮又は拡張期 高値分布 男性



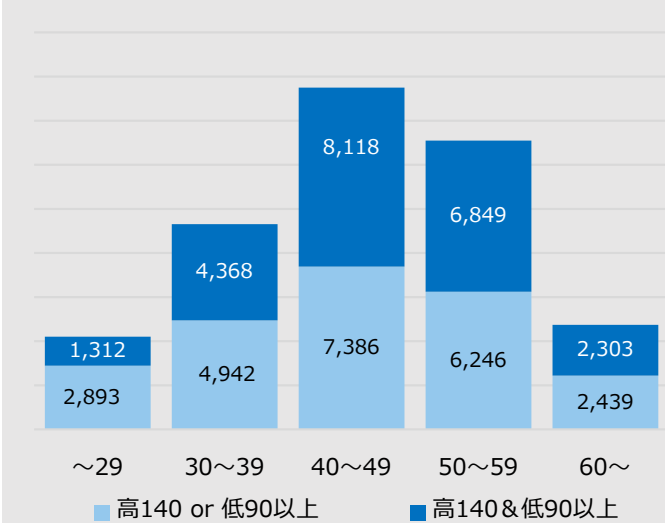
収縮又は拡張期 高値分布 女性



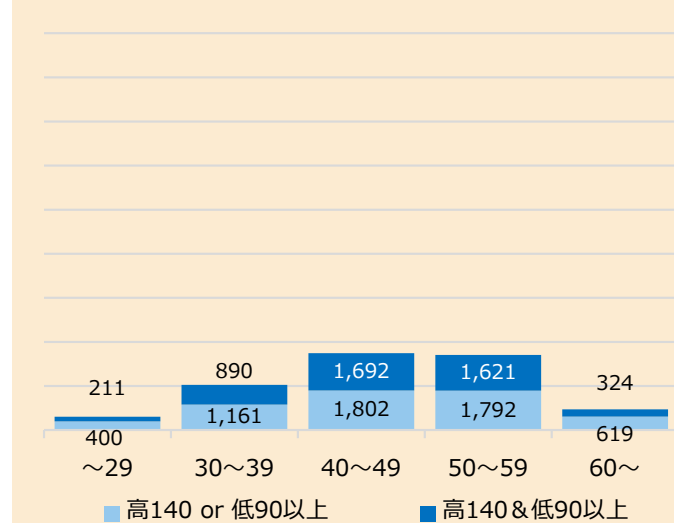
高値者の分布 被保険者全体



高値者の分布 男性



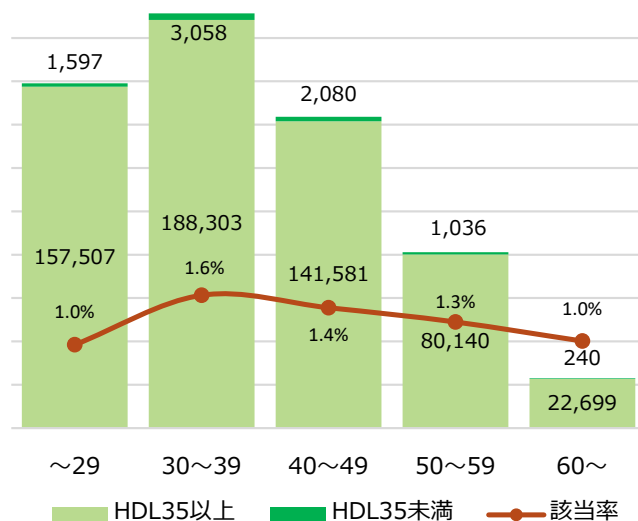
高値者の分布 女性



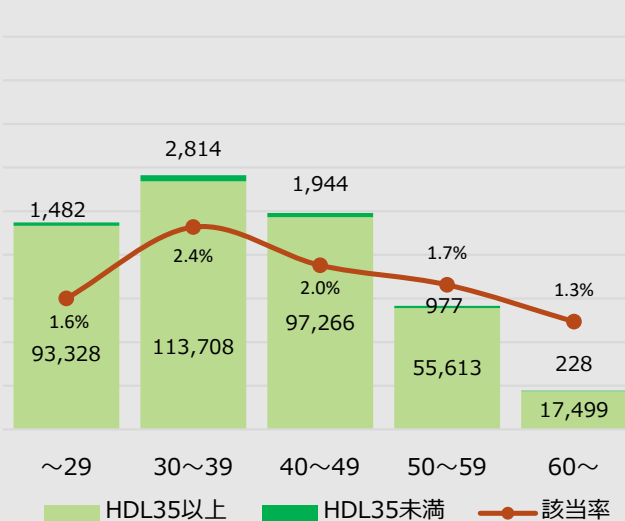
■ 該当率は、40歳台から伸びはじめる。（上グラフ）

■ 上グラフの受診勧奨値に該当した者のうち、収縮・拡張（上下）ともに基準値を上回る者はほとんどの年代で約半数見られる。（下グラフ）

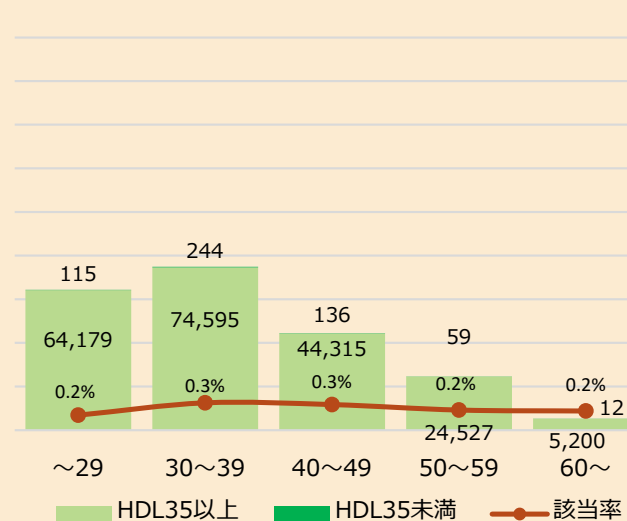
HDL 分布 被保険者全体



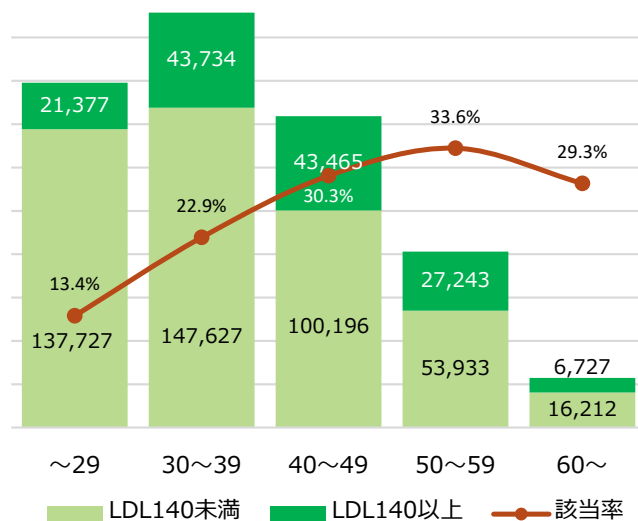
HDL 分布 男性



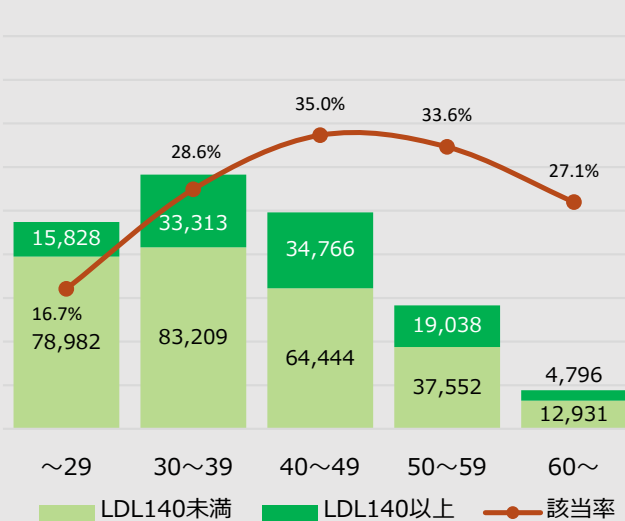
HDL 分布 女性



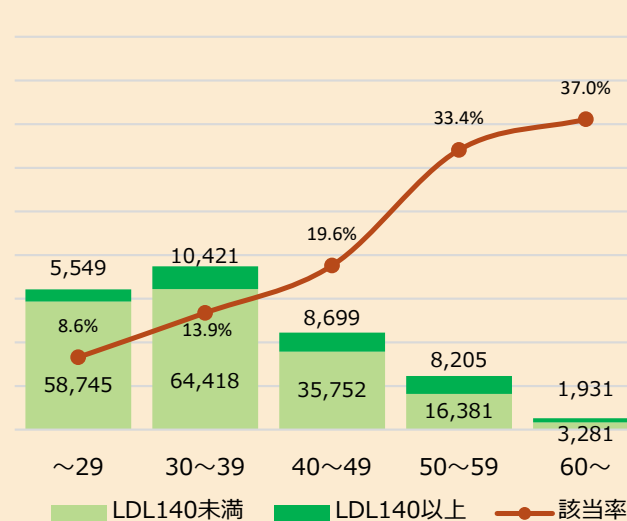
LDL 分布 被保険者全体



LDL 分布 男性

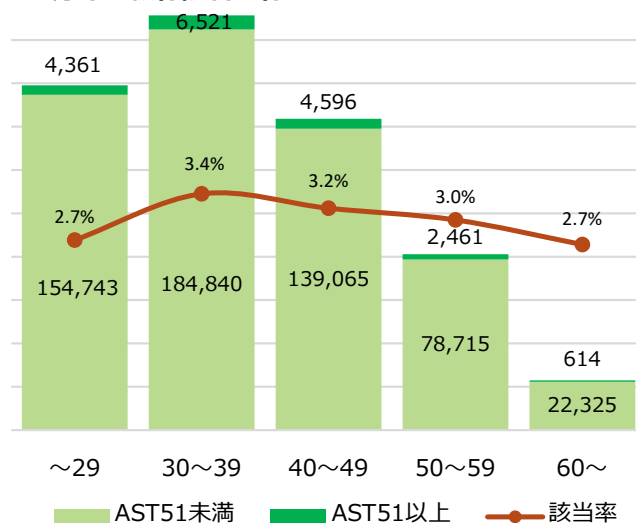


LDL 分布 女性

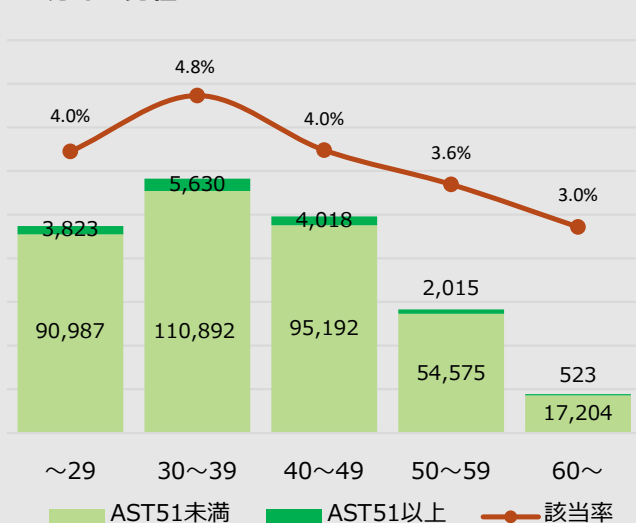


■ 受診勧奨値に該当する者は男女ともにHDLと比べてLDLに多く、男性では40歳台をピークに該当率は減少しているが女性では50歳台を境に急増している。

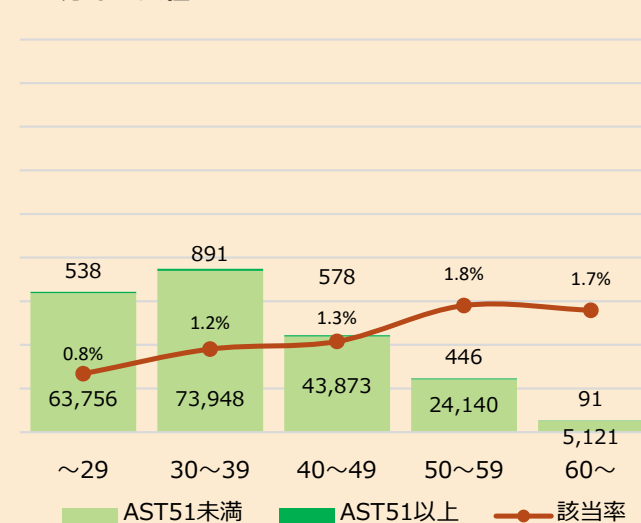
AST 分布 被保険者全体



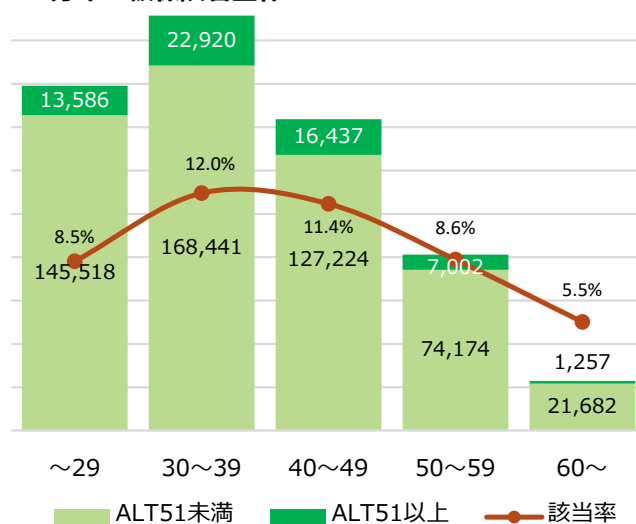
AST 分布 男性



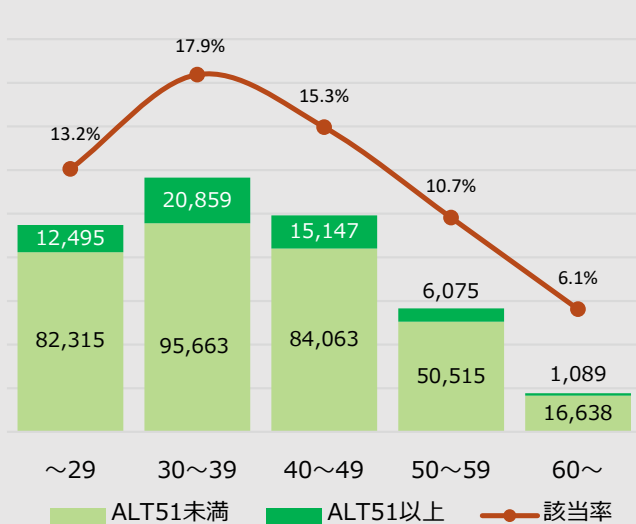
AST 分布 女性



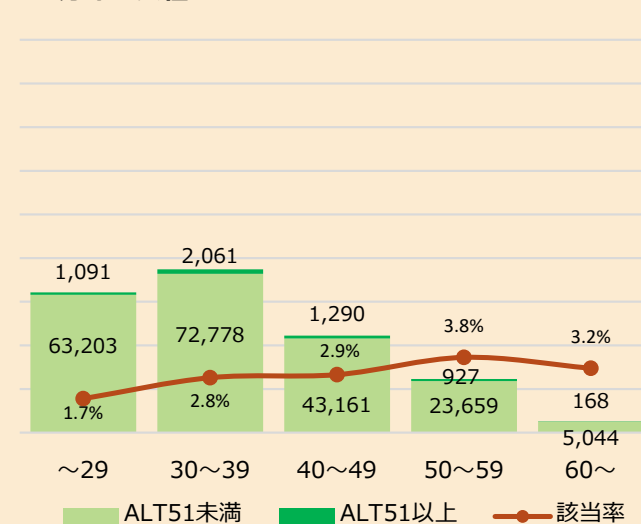
ALT 分布 被保険者全体



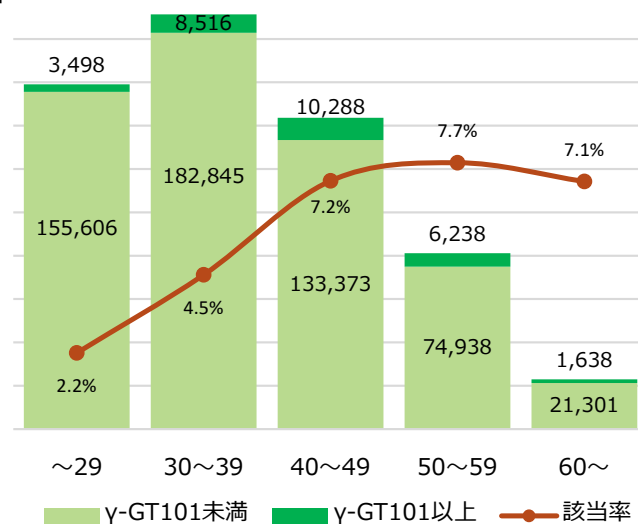
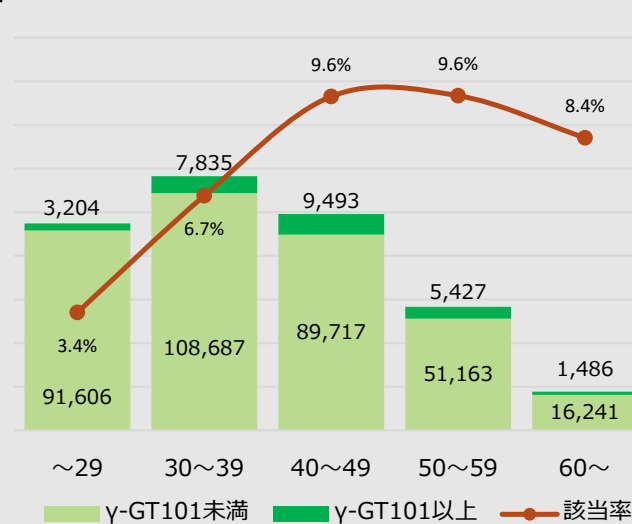
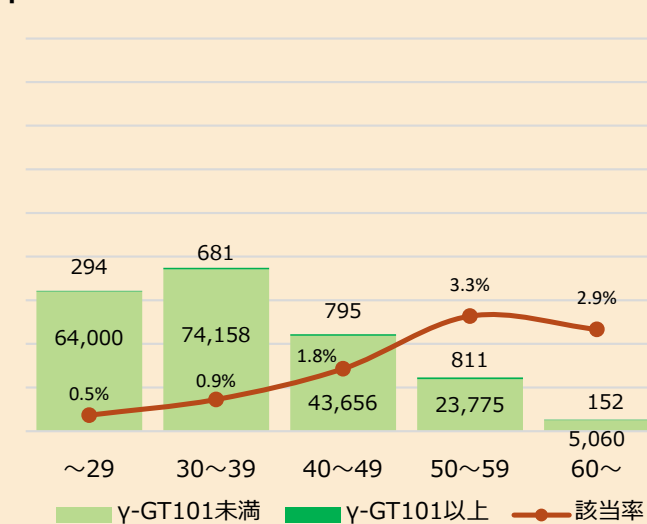
ALT 分布 男性



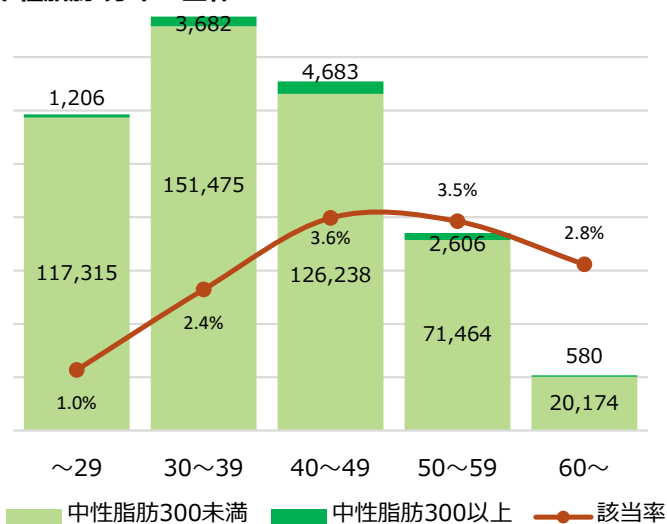
ALT 分布 女性



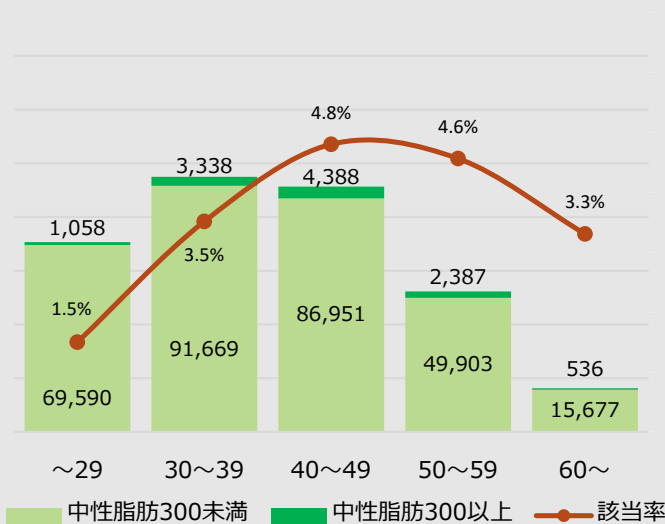
■ ASTと比べALTでは受診勧奨値を超えて該当する者が多いが、女性では両者に大きな差異はなく、男性ではいずれも30歳台をピークに逡減する。女性の該当率は男性に比べてどちらも低い。

γ -GT 分布 全体 γ -GT 分布 男性 γ -GT 分布 女性

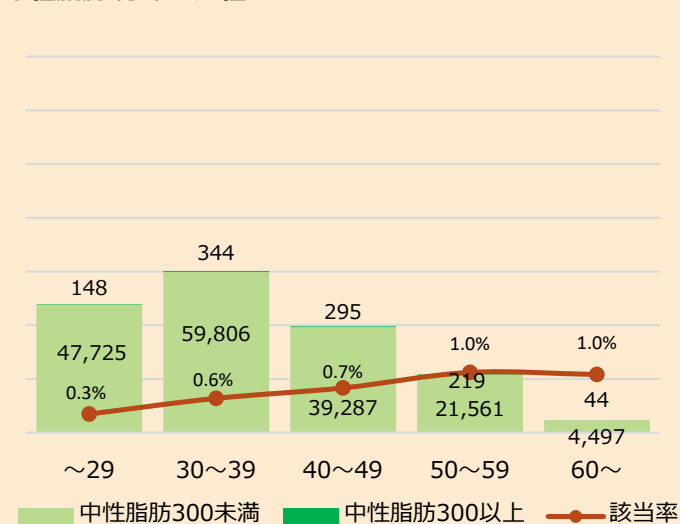
中性脂肪 分布 全体



中性脂肪 分布 男性



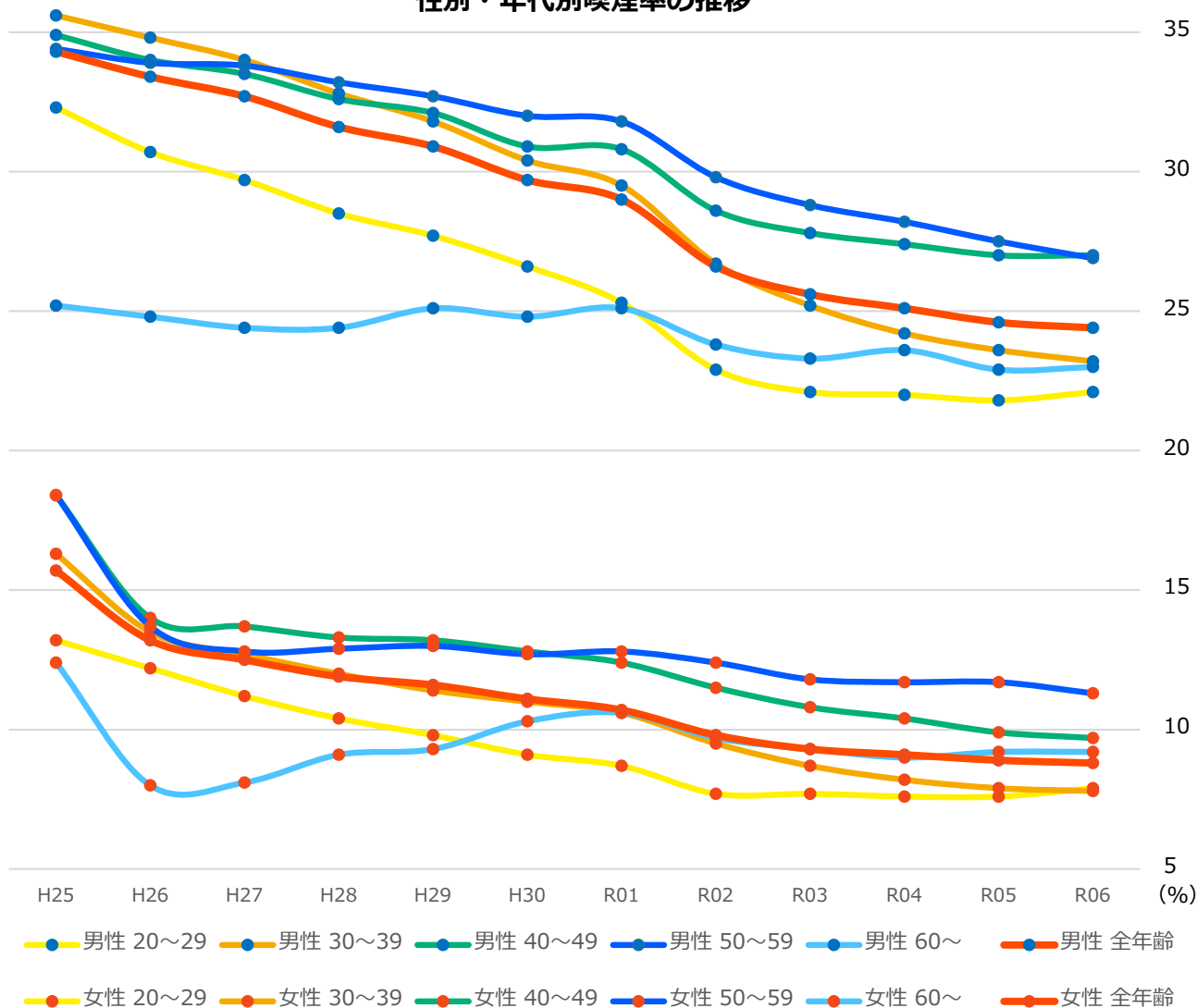
中性脂肪 分布 女性



■ γ -GT 及び中性脂肪ともに、男性の該当率は女性と比較すると非常に高い。

1-4-12 健康分布図（全体）－喫煙率－

性別・年代別喫煙率の推移



喫煙者数と喫煙率 男性 令和6年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20～29	20,977	73,784	94,761	22.1%	21.8%
30～39	27,141	89,683	116,824	23.2%	23.6%
40～49	26,862	72,722	99,584	27.0%	27.0%
50～59	15,309	41,572	56,881	26.9%	27.5%
60～	4,180	14,416	18,596	22.5%	22.9%
計	94,469	292,177	386,646	24.4%	24.6%

喫煙者数と喫煙率 女性 令和6年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20～29	5,122	59,565	64,687	7.9%	7.6%
30～39	6,226	73,885	80,111	7.8%	7.9%
40～49	5,500	51,432	56,932	9.7%	9.9%
50～59	3,900	30,489	34,389	11.3%	11.7%
60～	879	8,893	9,772	9.0%	9.2%
計	21,627	224,264	245,891	8.8%	8.9%

- 令和6年度問診票からみた喫煙率は、ほとんどの年代で前年度と同率または減少している。
- 全体の喫煙率は令和5年度で18.5%、令和6年度で18.4%となった。

付録 2

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等

- 厚生労働省より公開された「標準的な健診・保健指導プログラム【令和6年度版】」に記載されている、主な健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値と、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）による特定保健指導の基準値は次のとおりです。（※基準値を用いた特定保健指導の階層化は付録4を参照）

項目名	保健指導判定値	特定保健指導実施基準値	受診勧奨判定値	単位
腹囲	－	男性 85 以上 女性 90 以上	－	cm
BMI	－	25以上	－	－
収縮期血圧	130 以上	130 以上	140 以上	mmHg
拡張期血圧	85 以上	85 以上	90 以上	mmHg
空腹時中性脂肪	150 以上	150 以上	300 以上	mg/dL
随時中性脂肪	175 以上	175 以上	300 以上	mg/dL
HDLコレステロール	39 以下	40 未満	34 以下	mg/dL
LDLコレステロール	120 以上	－	140 以上	mg/dL
空腹時血糖	100 以上	100 以上	126 以上	mg/dL
HbA1c（NGSP）	5.6 以上	5.6 以上	6.5 以上	%
AST（GOT）	31 以上	－	51 以上	U/L
ALT（GPT）	31 以上	－	51 以上	U/L
γ-GT（γ-GTP）	51 以上	－	101 以上	U/L

付録 3 特定保健指導の階層化フロー

- 特定健診の結果より特定保健指導の対象と判定された方を動機付け支援（リスク低）対象者、積極的支援（リスク高）対象者に、それぞれ階層化します。
- 健康状態を把握し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に実施できるように、医師や保健師、管理栄養士がさまざまな働きかけやサポートを行います。

STEP 1 内臓脂肪蓄積のリスクを判定	
1	腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上
2	腹囲は上記未満だが、BMI〔体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）〕が25以上
※ 1 の場合、内臓脂肪面積を測定したときは、内臓脂肪面積の測定が優先されます。 ※ いずれにも該当しなければ特定保健指導は対象外です。	

STEP 2 検査結果、質問票から追加リスク数をカウント	
1 血糖 ※	空腹時血糖：100mg/dl以上 又は HbA1c：5.6%以上
2 脂質	空腹時中性脂肪：150mg/dl以上 又は 随時中性脂肪：175mg/dl以上 又は HDL（善玉）コレステロール：40mg/dl未満
3 血圧	収縮期血圧：130mmHg以上 又は 拡張期血圧：85mmHg以上
4 喫煙歴	1から3のうち、1つ以上に該当した場合にカウントします
※ 1の項目を測定している場合は、空腹時血糖値を優先とします。	

STEP 3 保健指導のレベルをグループ分け			
STEP1	STEP2		保健指導の内容
1のリスクに該当した場合 （腹囲測定）	1～4のリスク数が	2つ以上	積極的支援
		1つ	動機付け支援
		0	情報提供
2のリスクに該当した場合 （BMI）	1～4のリスク数が	3つ以上	積極的支援
		1つ又は2つ	動機付け支援
		0	情報提供
※ 65歳以上の方は、積極的支援レベルに該当しても、動機づけ支援を行います。			

STEP 4 特定保健指導レベルに合わせたご案内を送付します。	
情報提供	● 健康的な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣を見直すきっかけとなるような、基本的な情報を提供します。
動機付け支援（リスク低）	● 初回面談 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス ● 実践 3ヶ月以上、自身で「行動目標」に向けて生活習慣改善 ● 実績評価 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認
積極的支援（リスク高）	● 初回面談 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス ● 継続支援 3ヶ月以上、「行動目標」に向けて生活習慣改善の実施メールや電話などで生活習慣の改善のための支援を継続 ● 実績評価 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認
※ 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士又は実務経験のある看護師）がサポートします。	

付録 4 健診検査項目の概要

- 「**中性脂肪**」 体内にある4種類の脂質の一種です。中性脂肪は砂糖やでんぷんなどの糖質、炭水化物などが主な原料で肝臓でつくられます。これらの原料を多く取りすぎると、皮下脂肪の主成分として蓄積されます。血液中の中性脂肪やコレステロールが増えすぎる（高脂血症）と、動脈硬化の危険が高まります。中性脂肪が余分になり、血液に増加してくると、動脈硬化を進める一因になります。中性脂肪の測定は、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）を予防するための大切な検査です。中性脂肪の基準値30～149mg/dlですが、食後30分ぐらいから上昇し始め、4～6時間後に最も高くなります。検査は早朝空腹時に行ないます。
- 「**HDLコレステロール**」 血液中のコレステロールや中性脂肪などが、たんぱく質と結びついたものをリポたんぱくといいます。一般に、コレステロールを多く含んでいるリポたんぱくとして「HDL」と「LDL」があります。HDLコレステロールは、血管内壁にへばりついて動脈硬化を引き起こすコレステロールを引き抜いて、肝臓まで運ぶ働きをしています。このことから「善玉コレステロール」とも呼ばれています。
- 「**LDLコレステロール**」 LDLは、肝臓でつくられたコレステロールを各臓器に運ぶ働きをしている低比重リポたんぱくのことです。LDLコレステロールは、細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となるため「悪玉コレステロール」と呼ばれています。LDLコレステロールの値が140mg/dl以上の場合は、生活習慣の改善が必要です。
- 「**血糖**」 血糖とは、一般には血液中のブドウ糖のことを意味します。ブドウ糖は、エネルギー源として利用されているため、血液中のブドウ糖（血糖）は一定の濃度に保たれています。そのコントロールを行っているインスリンが不足したり、あるいはインスリンの働きが弱くなったりすると、血液中に多量の糖が存在することになってしまいます。血糖を調節しているインスリンが不足すると、血液中にブドウ糖があふれて「高血糖」になります。血糖の検査は、糖尿病の有無、その治療や管理の指標として欠かせません。「空腹時血糖値」が126mg/dl以上、または「食後血糖値」が200mg/dl以上であれば、糖尿病の疑いが濃厚です。糖尿病は慢性の病気ですので、根気よく治療を続けることが大切です。食事療法、運動療法、インスリン療法で血糖コントロールをよくして合併症を防ぐことが重要です。
- 「**HbA1c**」 HbA1c（グリコヘモグロビン）とは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと、血液中のブドウ糖が結合したものです。糖化ヘモグロビンともいい、血糖値が高いほどHbA1cが形成されやすくなるので、糖尿病患者では血液中に顕著な増加がみられます。血糖値は常に変化しますが、グリコヘモグロビンは濃度が安定しています。ヘモグロビンの寿命は約4ヶ月であるため、グリコヘモグロビンの値を調べれば、過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を知ることができます。血糖値は検査前の食事や飲酒、それに検査時間によって変動するのに対し、HbA1c値はほとんど影響を受けないという特徴があります。糖尿病を治療中の人で高値の場合は、血糖コントロールが上手くいっていないということであり、食事療法を守るのはもちろん、適度な運動を行なうなど、生活スタイルから見直す必要があります。
- 「**BMI**」 BMIとは、体格指数を表し国際的にも認められている、肥満・やせの基準です。BMI値は、大人のみに適応するもので、その体格判定基準は、
・18.5未満 やせ /・18.5～25未満 標準 /・25～30未満 肥満 /・30以上 高度肥満
となっており、25以上を肥満としています。なお、日本肥満学会では、日本人の標準値を男女ともに22としています。これは、統計的に疾患が最も発生しにくく長生きできる数値を標準値として採用したものです。BMIの大きい太った人は、糖尿病や心臓病などの発病率が高くなります。
- 「**AST/ALT**」 AST・ALTは肝細胞に多く含まれている酵素です。肝臓が悪くなると肝細胞が破壊され、そこに含まれている酵素が血液中に放出されますので、数値が高くなります。ASTは心臓の筋肉や骨格筋等にも含まれていますので、激しい運動や筋肉に炎症がある場合や心筋梗塞（急性期）の場合にも増加します。
- 「**γ-GTP**」 γ-GTPは胆道系酵素のひとつで、肝臓や胆道に障害があると、血液中の値が高くなります。また、飲酒状態を敏感に反映することから、アルコール性肝疾患の診断・経過観察の指標となります。その他、薬剤性肝障害でも値が上昇します。

STEP 1-5

後発医薬品

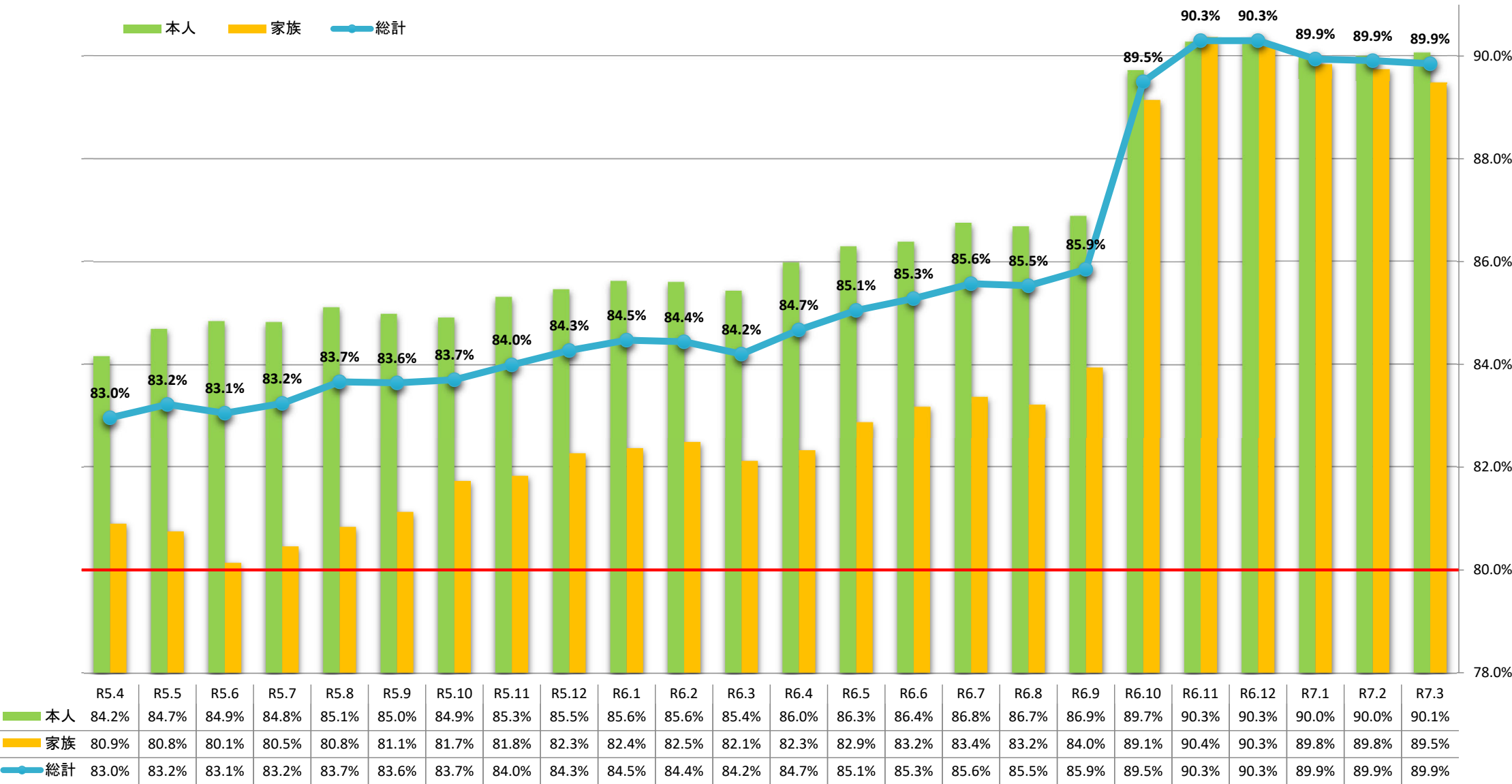
【計算定義】

数量シェア = 後発医薬品の数量 ÷ (後発医薬品がある先発医薬品の数量 + 後発医薬品の数量)

1-5-1 後発（ジェネリック）医薬品の数量シェア状況 本人家族

		本人	男性
	調剤	家族	女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 強制+任継



注）国が定めている後発医薬品の使用割合の目標は80%（赤線）

■ 令和6年10月より後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）への選定療養制度が開始となったことに伴い、使用割合が顕著に伸びている。

STEP 2

健康課題を抽出する

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

1-1-1	特定健診の受診率は直近（令和4年度）実績で77.8%となっており、国の設定した基準値85%に届いていない。 特に被扶養者の特定健診受診率は著しく低い状況となっている。
1-3-12 1-3-16 1-4-6	生活習慣病に係る医療費、特に外来は糖尿病が高い値を示している。 HbA1c及び血糖の値は、年齢が上がるにつれて高くなるが、その上昇率は50代で急激に高くなる。
1-4-1 1-4-2 1-4-5	男性では40歳以上だけでなく、若年層においてもBMIや腹囲が基準値以上の者が多くみられる。 40歳以上の肥満群では、男性98%・女性91.5%が保健指導判定値以上となっており、何らかの生活習慣病を保有していることが示唆される。
1-3-13 1-3-21	女性では本人家族共に、入院における医療費で新生物が最も高い。女性特有の健康課題に対する取り組みが、乳がん・子宮頸がん検診以外は十分に実施されていない。
1-3-11 1-4-6 1-4-7 1-4-8	虚血性心疾患や脳血管障害は入院医療費の多くを占めているが、健診結果よりこれらの発症要因である糖尿病、高血圧症及び脂質異常症の基準値を超える者が多くいる。

対策の方向性

被保険者：事業所とのコラボヘルスを推進し、特定健診未受診者への適切な受診勧奨を事業所から直接働きかけることで、よりダイレクトに対象者へアプローチする。
被扶養者：2年間未受診者への受診促進に加え、第2期事業（令和4年度）からの生活習慣病検査事業をはじめとした受診促進を継続して実施、紙媒体だけでなく健康ポータルサイトからの受診勧奨を行うなど、複数の方法を組み合わせて健診受診の必要性を訴求する。

糖尿病の重症化予防事業として、引き続き「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」「糖尿病教育介入プログラム」「糖尿病受診勧奨（保健指導あり）」「糖尿病受診勧奨（インバウンド）」を対象者のリスクレベルに応じて効果的・効率的に実施する。

若年層からの生活習慣病対策として、肥満解消を目的に適切な食事・運動習慣を身に付ける施策を実施する。
若年層のハイリスク者を対象とした「生活習慣病予防プログラム」の他、ポピュレーションアプローチとしてウォーキングイベントや食事や体重の記録を用いたイベントを企画・実施する。

女性の健康施策として、乳がん・子宮頸がん検診を含む婦人科検査（健康診査のオプションとして実施）や、巡回女性健診の受診促進に更に注力する。
また「女性の健康」等に関するeラーニングを健康ポータルサイト上で実施し、リテラシー向上を図るなど、女性特有の健康課題に対する取り組みを推進する。

血糖、血圧及び脂質の受診勧奨値を基準に対象者を抽出選定し、糖尿病・高血圧・脂質異常症の未治療・未受診者や治療中断者に対し、これまでの実施効果を踏まえ受診勧奨事業を継続して実施する。

特 徴

基本情報

- ・適用事業所の1社当りの被保険者数は89.1人（令和5年12月末現在）と、個々の事業所規模は大きくない。
- ・20～30歳台が被保険者全体の58.8%を占める、若い被保険者構成となっている。

棚卸し

- ・被扶養者の特定健診受診率が著しく低い。

対策検討時に留意すべき点

- ・加入者及び事業所拠点が多く、健保組合が全ての被保険者に個々に接することは現実的ではないが、コラボヘルスで構築した協力関係を生かし、社員のモチベーションアップや企業の生産性向上にも寄与するコラボヘルス体制の構築と、コラボヘルスを通じた質の高い保健事業の提供を引き続き行う。
- ・被扶養者が受診しやすい仕組みと周知広報に注力する。巡回女性健診は全国に健診会場を設け、婦人科検査を含む全ての費用を補助している。未受診者への受診勧奨には従来からのリーフレット送付の他、健康ポータルサイトを利用した広報を実施し、多方面からアプローチする。

STEP 3

課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する

STEP 3-1

実施計画

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康 診査事業	3	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・目標受診率 88.5% ・全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し	・目標受診率 89.0%	・目標受診率 90.0% ・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・目標受診率 91.0%	・目標受診率 92.0%	・目標受診率 93.2%
	3	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・目標受診率 46.0% ・被扶養者の登録住所等を考慮した健診機関との契約と見直し ・2年間未受診者への効果的なアプローチの実施	・目標受診率 46.5%	・目標受診率 47.0% ・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・目標受診率 48.0%	・目標受診率 49.0%	・目標受診率 50.0%
特定保健 指導事業	4	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	基準 該当者	1	・目標実施率 31.9% ・初回面接当日実施と遠隔保健指導の強化 ・事業所との共同利用による実施率の向上	・目標実施率 32.5%	・目標実施率 33.0% ・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・目標実施率 33.5%	・目標実施率 34.1%	・目標実施率 34.6%

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導宣伝	1, 5	既存	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	- 事業所の健康課題の共有 - 健康情報の共同利用による保健指導/保健事業の推進 - 健康経営優良法人認定に係る情報の提供 - コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への広報	- 健康経営を取り巻く制度動向を捉え、より実践的な協働を実施するための事業内容を検討 - 事業所間の意見交換等の交流を図るため、集合型のコラボヘルスを開催	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施
	1, 5	既存	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	30社以上がサポート事業を利用 - 企業宣言実施事業所を対象にした研修補助 - 健康経営優良法人をとるための研修内容を提供	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、事業内容を検討	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施
	1, 5	既存	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	600社以上が宣言実施 - 説明会等を通じた制度広報 - 健康優良企業認定に向けたサポート実施	700社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	800社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	900社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	1000社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	1100社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導宣伝	2 既存	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年1回発行	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	- 加入者目線に立った、分かりやすく且つ見やすい誌面づくり - 疾病予防、健康増進に係る情報の効率的な発信	従来通りの事業を継続	- 従来通りの事業を継続 - 発行を年1回に変更	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	2, 4, 5, 7 既存	健康ポータルサイトの運営	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ～74	全員	1	- 登録率 15% - 事業所との共同利用の推進 - ウォーキングラリー等の健康増進イベント実施	- 登録率 17% - 従来通りの事業を継続	- 登録率 19% - 従来通りの事業を継続 - これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	- 登録率 21% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	- 登録率 23% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	- 登録率 25% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施
	2, 5 新規	ポリファーマシー通知	【目的】重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】多剤服薬による有害事象リスク者へ通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	- 通知発送数 5,000通 - 最大削減効果額のうち、20%の薬剤費削減	従来通りの事業を継続	- 従来通りの事業を継続 - これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施
	2, 5 既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減させる	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	- ポスター等の事業所への送付 - ITSコラボヘルスと健康企業宣言参加事業所を対象とした禁煙セミナー開催 - 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	従来通りの事業を継続	喫煙率の変動やeラーニングのアンケート結果を基に事業の検証及び見直しを実施	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導宣伝	2,5	既存	受診促進事業	【目的】被扶養者健診の啓蒙 【概要】被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う	被扶養者	全て	女性	40～74	過去2年間受診履歴のない被扶養配偶者	1	- 過去2年間に健診受診履歴のない被扶養配偶者に受診案内送付 - 送付数 10,000通	- 従来の事業を継続 - 健診受診履歴のない被扶養配偶者に受診案内送付	中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来の事業を継続	従来の事業を継続
	2,7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1	後発医薬品使用割合83%	後発医薬品使用割合83.5%	後発医薬品使用割合84%	後発医薬品使用割合84.5%	後発医薬品使用割合85%	後発医薬品使用割合85%
	1,2,5	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	- 事業所のニーズを優先的に取り入れ、対面及びWEBにてセミナーを開催 - 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	従来通りの事業を継続	- アンケートの集計結果を分析し、セミナー対象者や内容について検討 - 事業所担当者向け相談窓口を設置	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来の事業を継続	従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
 注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	3 既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	被扶養者 は配偶者と 30歳以上	1	- 受診率 80.6% - 全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し	受診率 80.8%	- 受診率 81.1% - 中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	- 受診率 81.3% - 前年度の検討内容に基づき、事業を実施	受診率 81.5%	受診率 81.7%
	3 既存	巡回女性健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	- 受診者数 20,000人 - 健診機会を捉えた効果的な健診案内と受診勧奨の実施 2年間未受診者への効果的なアプローチの実施 - 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	受診者数 21,000人	- 受診者数 22,000人 - 中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	- 受診者数 23,000人 - 前年度の検討内容に基づき、事業を実施	受診者数 24,000人	受診者数 25,000人
	3 既存	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間の健診未受診者	1	- 案内発送数 10,000人 - 申込者数 対象者の20% - 案内発送者の健診受診率 10%	従来の事業を継続	中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来の事業を継続	従来の事業を継続
	3 既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	- 婦人科健診の重要性を広報 - 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	従来の事業を継続	中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来の事業を継続	従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病 予防	3	既存	脳MR・肺CT検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	偶数年齢	1	・受診環境の整備と拠点の検証	・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続
	3	既存	胃がんリスク検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	・実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施	・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続
	3, 4	既存	歯科健診	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・実施者 10,000人 ・実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施 ・健保会館及び地方での会場型歯科健診を実施	・実施者 10,000人 ・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続
	8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・予防接種受診率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	5 既存	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16 ～39	基準 該当者	1	- 参加者数 400人 - 評価検査データ改善率3%超50%以上(BMI) - 生活行動変容を伴う運動習慣等の定着率50%以上	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	2, 5 既存	ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	多くの人が参加できるような効果的な周知を検討	従来からの事業を継続	BMI減少率等の効果検証を実施し事業継続及び見直しを検討	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来からの事業を継続	従来からの事業を継続
	4, 5, 6 既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型(宿泊・日帰り)の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	- 参加者数 70人 - HbA1cコントロール割合 6.5%未満 50%以上 SMBG・CGM等で血糖の変動を把握し、運動や食事が血糖値に及ぼす影響を体感できる教育を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	4, 6 既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病並びに糖尿病性腎症重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	- 参加割合 90%以上 - HbA1c減少割合 50%以上	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	4,6 既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・案内発送数 1,000通 (イバウンド) ・受診率(架電) 40%以上 ・受診率(書面) 30%以上 受診につながる 効果的な案内と なるよう検討	従来通りの事業 を継続	従来通りの事業 を継続 これまでの実施 結果を検証し、 運用・目標を見 直す。	・従来通りの事 業を継続 令和8年度の検 討内容に基づき 事業を実施	・従来通りの事 業を継続	・従来通りの事 業を継続
	4 既存	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・案内発送数 7,500通 ・受診率 30%以上 受診につながる 効果的な案内と なるよう検討	従来通りの事業 を継続	従来通りの事業 を継続 これまでの実施 結果を検証し、 運用・目標を見 直す。	・従来通りの事 業を継続 令和8年度の検 討内容に基づき 事業を実施	・従来通りの事 業を継続	・従来通りの事 業を継続
	4 既存	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	基準 該当者	1	・案内発送数 7,500通 ・受診率 20%以上 受診につながる 効果的な案内と なるよう検討	従来通りの事業 を継続	従来通りの事業 を継続 これまでの実施 結果を検証し、 運用・目標を見 直す。	・従来通りの事 業を継続 令和8年度の検 討内容に基づき 事業を実施	・従来通りの事 業を継続	・従来通りの事 業を継続
	2,4,5,6 既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	64 ～74	基準 該当者	1	・参加者数 500人 ・生活目標(食事/運動)の実践状況 目標達成割合 80%以上	・参加者数 300人 その他は従来通りの事業を継続	従来通りの事業 を継続 これまでの実施 結果を検証し、 運用・目標を見 直す。	・従来通りの事 業を継続 令和8年度の検 討内容に基づき 事業を実施	・従来通りの事 業を継続	・従来通りの事 業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	8 既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗野球大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8 既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・遊園施設内でのウォーキング奨励健歩大会の開催年2回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・遊園施設内でのウォーキング奨励健歩大会の開催年3回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8 既存	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・親子で参加するサッカー教室の開催年6回	・従来通りの事業を継続	・親子で参加するサッカー教室の開催年5回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8 既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗フットサル大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8 既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1	・ウォーキング大会の開催年7回	・ウォーキング大会の開催年6回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8 既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ戦後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗テニス大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	8	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・ハイキング大会の開催 年1回	・ハイキング大会の開催 年3回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・事業所及び家族対抗ボウリング大会の開催 年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人及び事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・個人及び事業所対抗ゴルフ大会の開催 年2回 (個人対抗年1回、事業所対抗年1回)	・従来通りの事業を継続	・個人及び事業所対抗ゴルフ大会の開催 年3回 (個人対抗年1回、事業所対抗年2回)	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	ゴルフ利用補助	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ～74	全員	1	・ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・夏冬期の屋外スポーツの奨励 プール・スケート利用券の配布 年2回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	8	既存	乗馬レッスン利用補助	【目的】健康増進 【概要】心身に有効な効果がある乗馬体験の奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・乗馬体験の奨励	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	健康増進セミナーの開催	【目的】健康増進 【概要】心肺機能や体力の向上による疾病予防やストレス解消などの効果を期待した講習会を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・歩行の機械測定や正しい歩き方の講習会等を開催。	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
直営保養所	8	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュを目的とした宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・直営保養所の宿泊利用	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
契約保養所	8	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】心身のリフレッシュを目的とした提携契約施設の宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・提携契約施設の宿泊利用	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

STEP 3-2

目標

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
特定健康 診査事業	3	既存	特定健診 （被扶養者と任意継続被保険者を除く）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・ 健診実施の促進（実施率93.2%以上）	・ 内臓脂肪症候群該当者割合（13.0%未満）
	3	既存	特定健診 （被扶養者と任意継続被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・ 健診実施の促進（実施率50.0%以上）	・ 内臓脂肪症候群該当者割合（13.0%未満）
特定保健 指導事業	4	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	基準 該当者	1	・ 指導実施の促進（実施率34.6%以上） （被保険者：35.0%、被扶養者：23.0%）	・ 特定保健指導対象者の割合（21%以下）

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

3-2 保健事業の目標

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
保健指導 宣伝	1, 5	既存	ITSコラボヘルス	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	- 事業所の健康課題を共有し、個別に事業所と共同して課題、目標を達成する。 - コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への提示 - 特定保健指導対象者などの健康情報の共同利用の推進（協定締結） - 健康経営優良法人認定に係る制度情報の提供	- 健康情報を共同利用する事業所数 1,000社 - 健康経営優良法人認定を受ける事業所数 320社 - 特定保健指導の実施率の向上 - 重症化予防事業の参加率の向上 - 受診勧奨事業の医療機関受診率の向上
	1, 5	既存	健康経営サポート事業	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	- 健康づくりの企業風土への定着 - 組合員のヘルスリテラシーの向上 - サポート事業説明会を年1回開催	- 健康経営サポート事業を利用する事業所数 60社 - 健康経営優良法人認定を受ける事業所数 320社
	1, 5	既存	健康企業宣言	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	- 健康企業宣言の推進 - 健康優良企業認定に向けたサポート実施（健診情報の提供、提出書類の内容確認） - 健康企業宣言未参加事業所向けに年2回説明会を開催	1,100社以上が健康企業宣言を実施 - 健康経営優良企業（銀の認定/金の認定）の事業所数 銀の認定 700社 金の認定 30社
	2	既存	機関誌発行	被保険者	全て	男女	16～74	全員	1	- 機関誌の年1回発行 - 機関誌のWEB閲覧 - 機関誌の配布部数の変更、停止を受け付け - 内容の変更はWEB版で補完	紙での発行は縮小予定
	2, 4, 5, 7	既存	健康ポータルサイトの運営	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16～74	全員	1	- 機関誌、ホームページ及び共同利用を活用した周知広報 - 健康ポータルサイト 登録者割合 25%	被扶養者の特定健診受診率 50.0%

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
保健指導 宣伝	2,5 新規	ポリファーマシー通知	【目的】重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】多剤服用による有害事象リスク者へ通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・ 重複・多剤投与者への啓蒙リーフレット発送 通知数（年間） 5,000通	・ 薬剤の適正使用による薬剤費削減 見込まれる最大削減効果額（全ての薬剤が適正化された場合）のうち、20%の薬剤費削減
	2,5 既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減させる	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・ 禁煙啓蒙ポスターの配布（全事業所） ・ 健康診査（問診票）の回収（全受診者） ・ 禁煙セミナーの開催（年1回） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施 5,000人	・ 喫煙率の低下 全体 16.9%以下 男性 23.0%以下 女性 7.7%以下
	2,5 既存	受診促進事業	【目的】被扶養者健診の啓蒙 【概要】被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間受診履歴のない被扶養配偶者	1	・ 過去2年健診未受診者への受診促進 ・ 案内発送者数10,000人	・ 発送対象者の健診受診率26.0%
	2,7 既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・ 機関誌、ホームページを通じた制度広報 ・ 後発医薬品差額通知の閲覧機会増加を目的とした健康ポータルサイト 登録率の向上 ・ 健康ポータルサイト 登録者割合 25%	・ 後発医薬品の使用割合85%以上
	1,2,5 既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	・ 担当者向けセミナーの開催（年5回） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施(2回/年) ラインケア5,000人、セルフケア5,000人	・ セミナー効果（アンケートで満足度を確認） 内容についての満足度 90%以上 事業所での活用可能性 90%以上

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
疾病予防	3 既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	被扶養者 （配偶者 と 30歳以上	1	・健診実施の促進（実施率本人90%以上、家族50%以上）	・受診者の健康維持（肥満解消率12%以上）
	3 既存	巡回女性健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	・健診実施の促進（受診者数25,000人以上） ・健康ポータルサイトによるeラーニングの実施5,000人	・受診者の健康維持（肥満解消率12%以上）
	3 既存	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間の健診未受診者	1	・過去2年健診未受診者への受診勧奨 ・生活習慣病検査の申込率（受診勧奨対象者の20%以上）	・受診勧奨対象者における、翌年度の健診受診率（10%以上）
	3 既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	・婦人科検査実施の促進（実施率本人70%以上、家族40%以上） ・健康ポータルサイトによるeラーニングの実施5,000人	・要検査率の減少 10%未満
	3 既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	偶数年齢	1	・健診実施の促進（検査機関の適正配置） ・受診者数4,000人	・要検査率の減少 脳MR 8%未満 / 肺CT 9%未満

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
	3	既存	胃がんリスク検査	【目的】胃がんリスク者への早期介入による重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	- 検査実施の促進 - 受診者数20,000人	胃癌罹患割合の減少（胃癌罹患率0.2%以下）
疾病予防	3, 4	既存	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	- 健診実施の促進 - 受診者数10,000人	歯科健診受診者の歯周炎罹患割合（8%以下）
	8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	予防接種者の増加（実施率20.0%以上）	重症患者の減少（重症化率0.1%未満）
	5	既存	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16 ～39	基準 該当者	1	- 参加者数 400人 - 効果的な選定基準の設定を検証。	- 評価検査データ改善率（選定時データ比）3%超が 50%以上（BMI） - 生活行動変容を伴う運動習慣等の定着（参加者の50%以上）
	2, 5	既存	ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	参加人数10,000人	BMI25以上該当者におけるBMI減少者の増加（参加者のBMI減少者率80%以上）

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
疾病予防	4, 5, 6 既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型(宿泊・日帰り)の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・参加者数 70人	・評価検査におけるHbA1cのコントロール割合 6.5%未満の割合 50%以上
	4, 6 既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病並びに糖尿病性腎症重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・案内発送数に対する参加割合 90%以上	・参加年度の健診において、HbA1cの値が選定時と比較して減少している割合 50%以上
	4, 6 既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数（電話勧奨） 750通 ・受診勧奨通知 案内発送数（文書勧奨） 1,000通	・医療機関への受診率（架電事業）40%以上 ・医療機関への受診率（書面送付）30%以上
	4 既存	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数 7,500通	・医療機関への受診率 30%以上
	4 既存	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	基準 該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数 7,500通	・医療機関への受診率 20%以上
	2, 4, 5, 6 既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	64 ～74	基準 該当者	1	・参加者数 500人（R6） ・参加者数 300人（R7～）	・支援実施後の生活目標（食事・運動）の実践状況 目標達成割合85%以上

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育奨励	8	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント 方式による事業所対抗 戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	8	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び 関西地区の遊園施設内 でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・年間2回実施	参加者の増加
	8	既存	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加す るサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・年間6回実施（R6～R7） ・年間5回実施（R8～）	参加者の増加
	8	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式 による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	8	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び 関西地区でのウォーキ ング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1	・年間7回実施（R6） ・年間6回実施（R7～）	参加者の増加

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育奨励	8	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ戦後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	8	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・年間1回実施（R6） ・年間3回実施（R7～）	参加者の増加
	8	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	8	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人及び事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間2回実施（R6～R7） （個人対抗年1回、事業所対抗年1回） ・年間3回実施（R8～） （個人対抗年1回、事業所対抗年2回）	参加者の増加
	8	既存	ゴルフ利用補助	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 （配偶者に限る）	全て	男女	16 ～74	全員	1	・通年実施	参加者の増加

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育 奨励	8	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・年間2回実施	利用者の増加
	8	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・通年実施	利用者の増加
	8	既存	乗馬レッスン利用補助	【目的】健康増進 【概要】心身に有効な効果がある乗馬体験の奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・通年実施	利用者の増加
	8	既存	健康増進セミナーの開催	【目的】健康増進 【概要】心肺機能や体力の向上による疾病予防やストレス解消などの効果を期待した講習会を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・年3回実施	参加者の増加
直営 保養所	8	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュを目的とした宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	健康増進の拠点として、より幅広い範囲の加入員に利用してもらう
契約 保養所	8	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】心身のリフレッシュを目的とした提携契約施設の宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	より幅広い範囲の加入員に利用してもらう

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

更新履歴

2024.02.06	初版 第111回組合会承認
2025.02.07	更新 第117回組合会承認
2026.02.06	更新 第121回組合会承認